

平成 23 年度 環境に関する市民意識調査

平成 23 年 11 月

横浜市

目次

調査の概要	1
調査結果	2

設問一覧

Q1	横浜の環境の現状について、どのように感じているか	2
Q2	横浜の環境は10年前と比べてどのようになったと感じているか	2
Q3	市内の環境への満足度	3
Q4	環境に対する関心や行動	8
Q5	関心のある環境問題や環境活動	9
Q6	環境にやさしい生活をするために実践していること、震災前後の意識や行動の変化	9
Q7	環境行動を実践するうえで難しい点、行動できない、行動しない理由	18
Q8	環境の保全と生活の便利さ・快適さについての考え方	18
Q9	地域の環境活動に参加したいと思うか	19
Q10	どんな活動や取組に参加したことがあるか、あるいは参加したいと思うか	19
Q11	どんな形態の活動に参加したことがあるか、あるいは参加したいと思うか	20
Q12	地域の環境活動に参加しない、あるいは参加できない理由	20
Q13	環境問題や環境活動に関して、必要な情報は得られているか	21
Q14	環境の情報を得る主な手段は何か	21
Q15	市のCO ₂ 排出量は家庭部門からが全国と比べ高い割合であることを知っているか	22
Q16	家庭でのCO ₂ 削減・省エネ行動を進めるための「環境家計簿」について	22
Q17	生物多様性という言葉を知っているか	23
Q18	近年、生物多様性の危機が問題として挙げられているが、身近な問題と思うか	23
Q19	本年4月策定の「ヨコハマbプラン」について、特に必要と思うもの	24
Q20	身近に緑を感じられる環境にあるか	24
Q21	公園や森林、水辺の広場など身近な自然環境に足を運ぶ頻度	25
Q22	「横浜みどり税」を活用しながら樹林地の保全等を進めていることの認知	25
Q23	市民が負担（横浜みどり税）することについての考え	26
Q24	市の中心部に緑や水辺が多くないことについて優先的に必要なこと	26
Q25	川や海などの身近な水環境を良くするために何をすべきだと思うか	27
Q26	横浜市が住宅用雨水浸透ますの設置に補助金制度を設けていることの認知	27
Q27	横浜産の野菜や果物のシンボルマーク「はま菜ちゃん」の認知	28
Q28	横浜産の農産物を購入したことがあるか	28
Q29	今後、どうすれば農産物直売所を利用したいと思うか	29
Q30	農産物直売所やその他の場所で横浜産農産物を購入しようと思う理由	29
Q31	市民利用型農園で農作業を体験してみたいと思うか	30
Q32	市の取組状況・姿勢への関心	30
Q33	今後、横浜市に優先的に取り組んで欲しい事項	39
Q34	東日本大震災を受けて	40

調査の概要

1 調査目的

今後の環境分野の市政運営や政策立案の基礎資料として活用するため、市民の環境に関する意識や市政に対する満足度、要望等を把握することを目的としてアンケート調査を実施した。

2 調査地域

横浜市在住者

3 調査の方法・対象者

インターネット調査（登録モニターによるWEB調査）により実施した。

「平成21年中の人口動態と平成22年1月1日現在の年齢別人口」より、人口構成比に基づき、性別・年代別に割付け、横浜市在住の合計1,000人から回答を得た。

(人)

	20代	30代	40代	50代	60代以上	合計
男性	82	105	100	81	137	505
女性	74	102	93	78	148	495
合計	156	207	193	159	285	1,000

グラフ中の地域の分けは、以下のとおり。

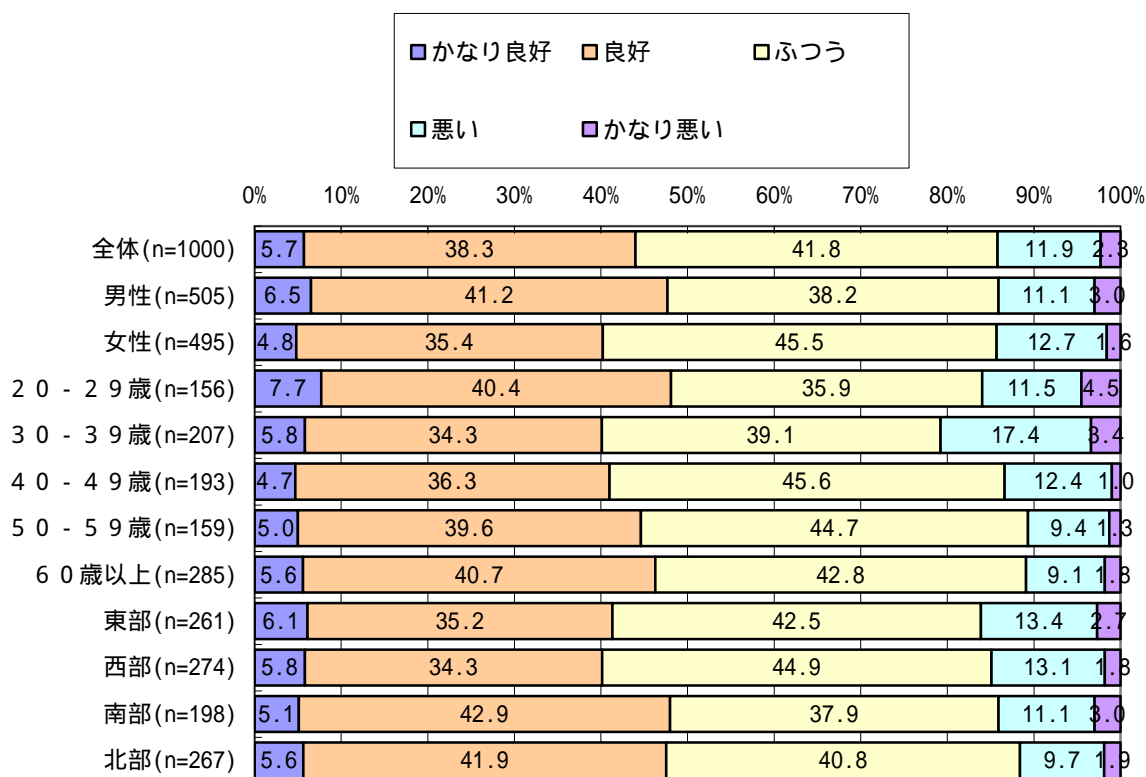
地域 東部（鶴見区、神奈川区、西区、中区、南区）
西部（保土ヶ谷区、旭区、戸塚区、泉区、瀬谷区）
南部（港南区、磯子区、金沢区、栄区）
北部（港北区、緑区、青葉区、都筑区）

4 実施時期

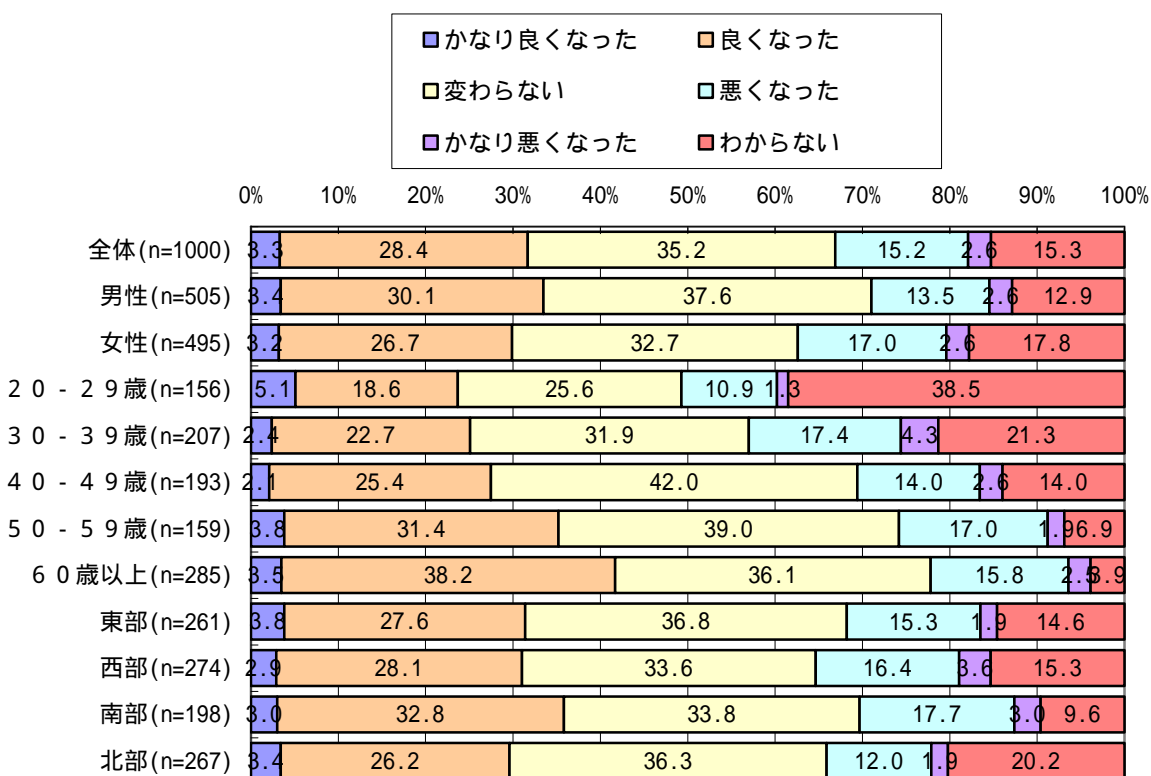
平成23年9月16日（金）～9月26日（月）

調査結果

Q1.横浜の環境の現状について、どのように感じていますか。次のうち、あてはまるものを1つお選びください。

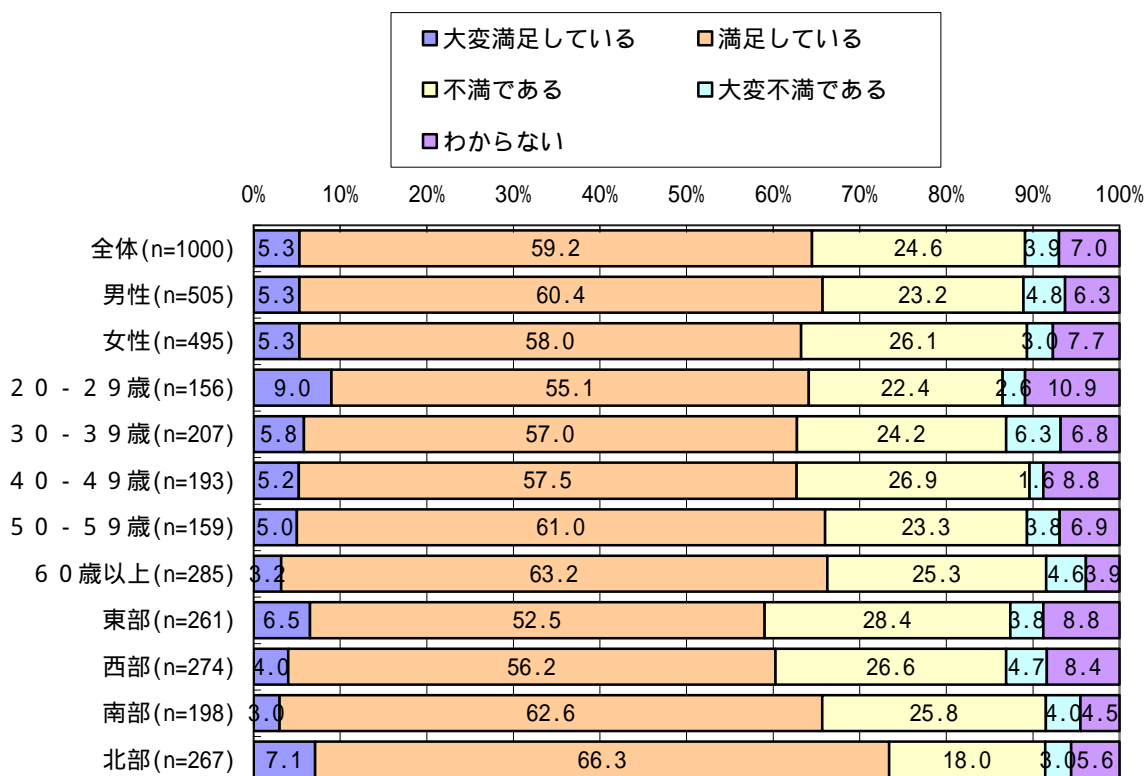


Q2.横浜の環境は10年前と比べてどのようになったと感じていますか。次のうち、あてはまるものを1つお選びください。

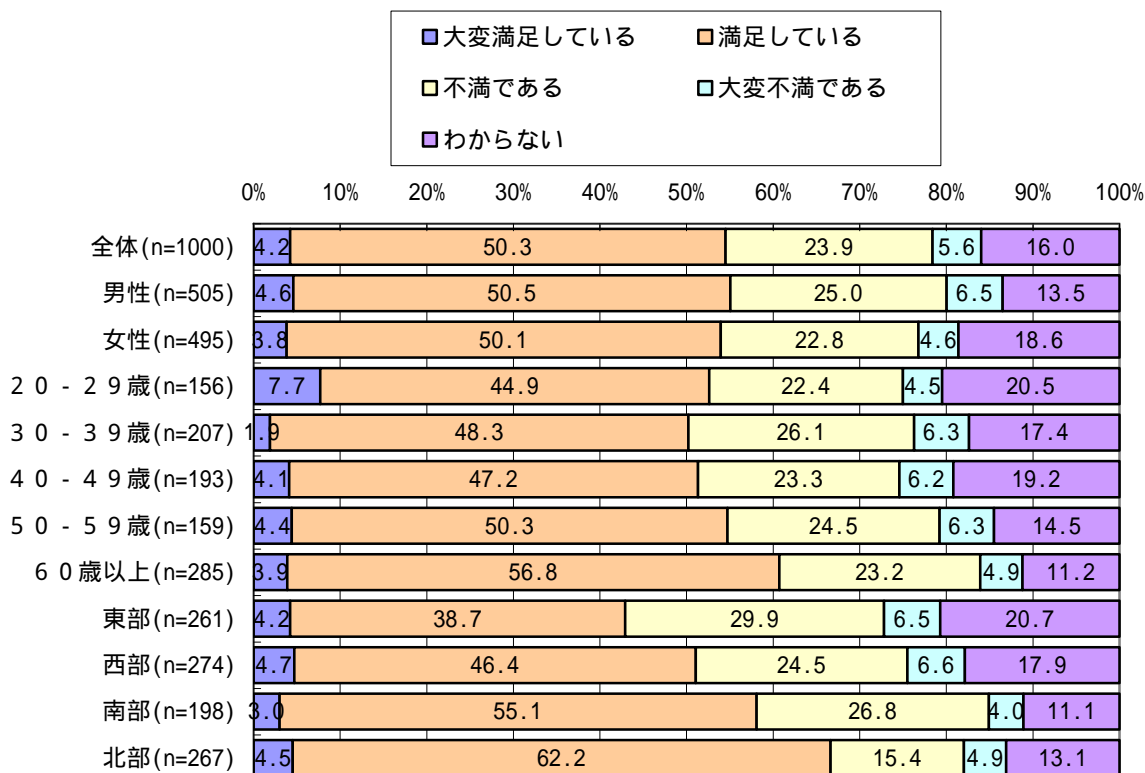


Q3. 横浜市内の、次の1~11について、どのように感じていますか。項目ごとに、最も近いものを1つお選びください。

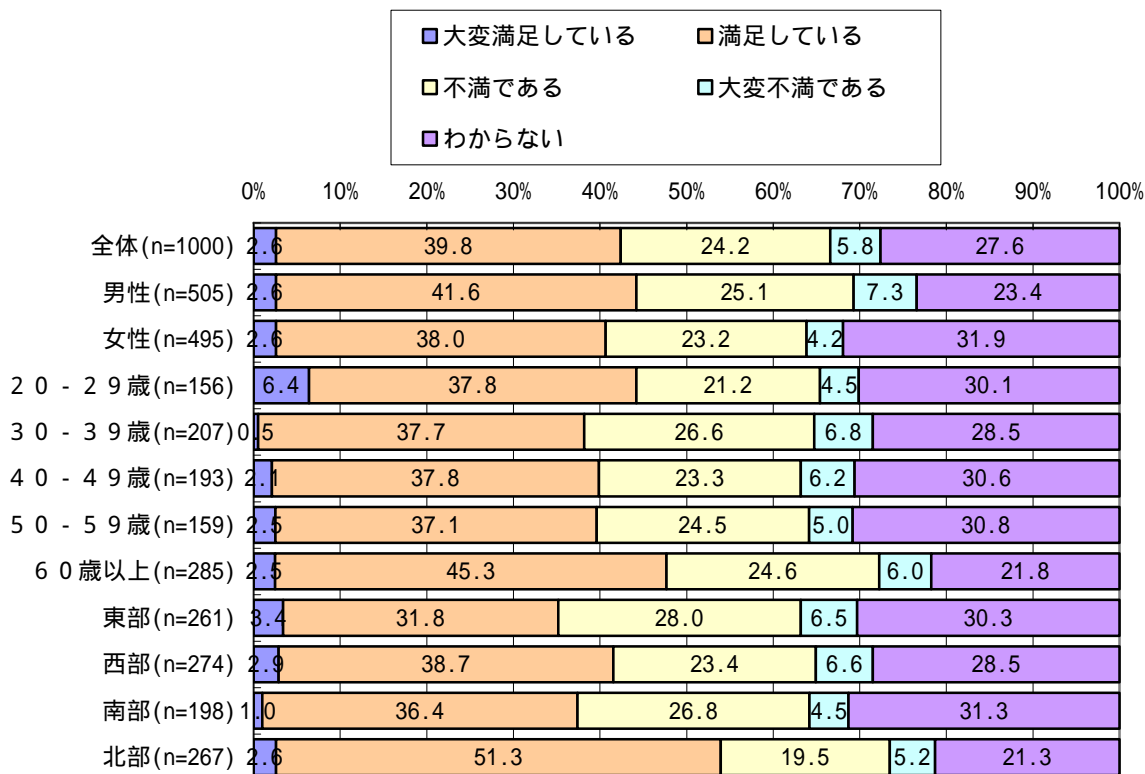
1. 公園や街路樹などの緑



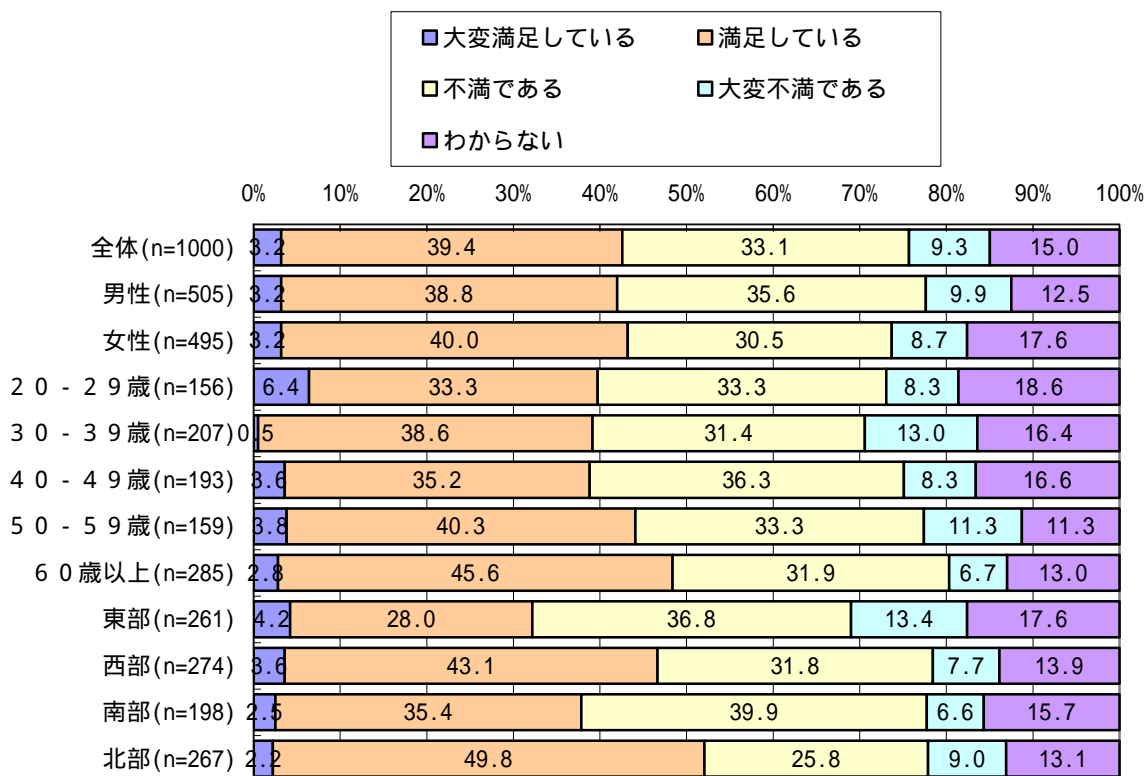
2. 里山や森林などの緑



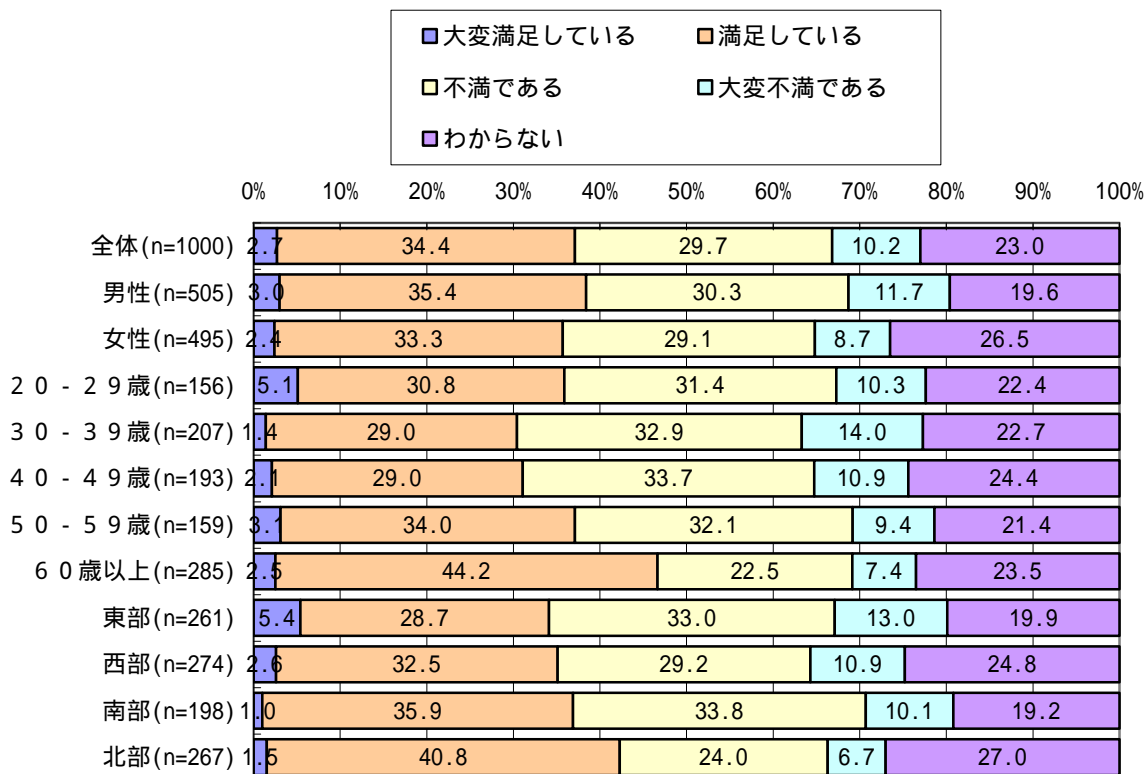
3.農地等の緑



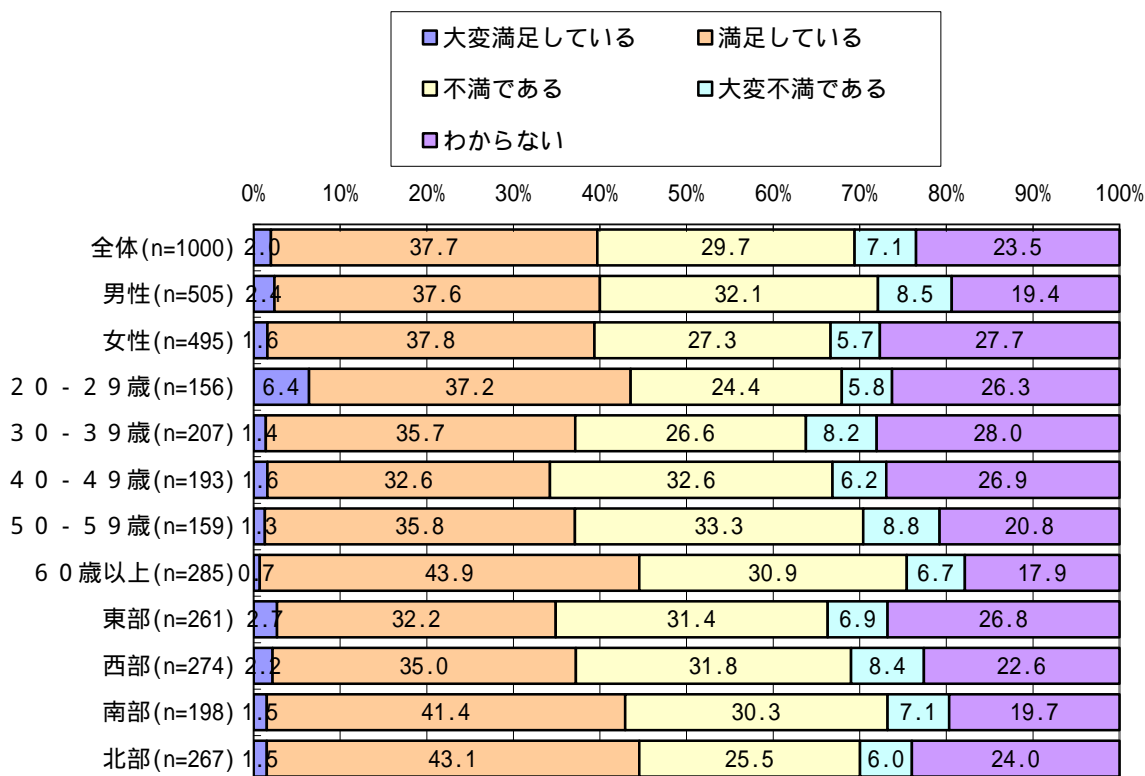
4.河川や池などの水辺



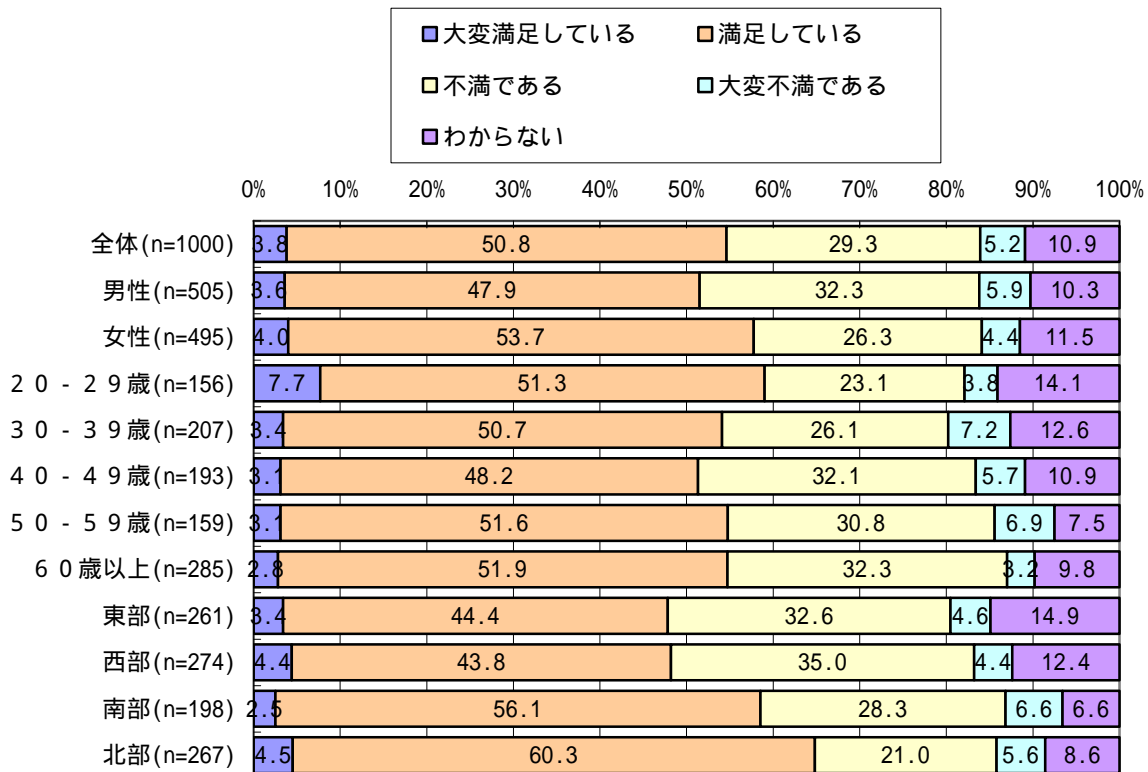
5. 横浜港の水質の状況



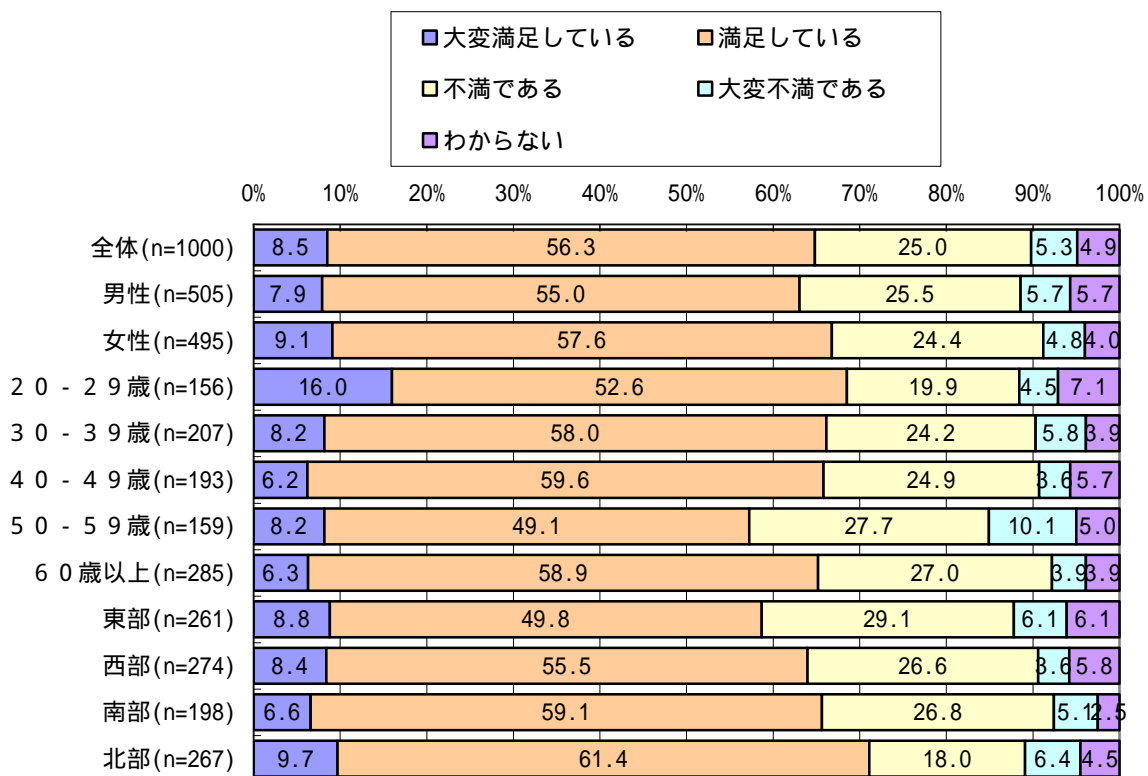
6. 昆虫や魚、鳥などの自然の中の生き物の状況



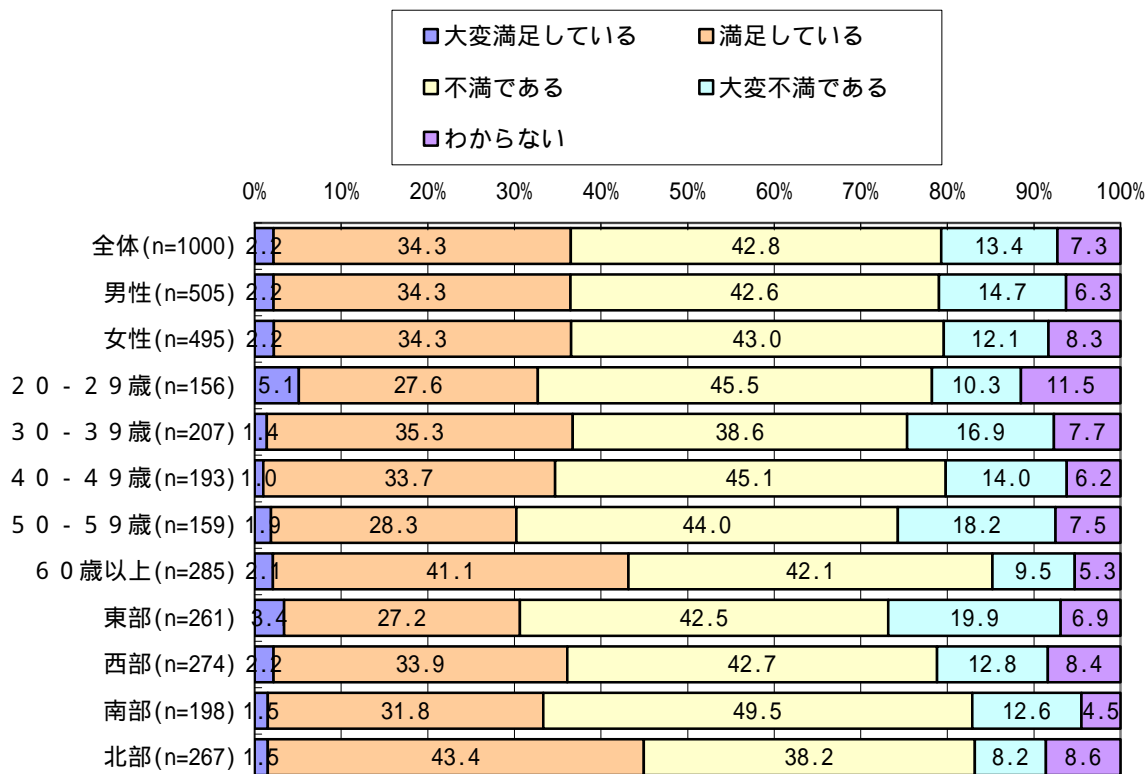
7.市街化と自然とのバランス



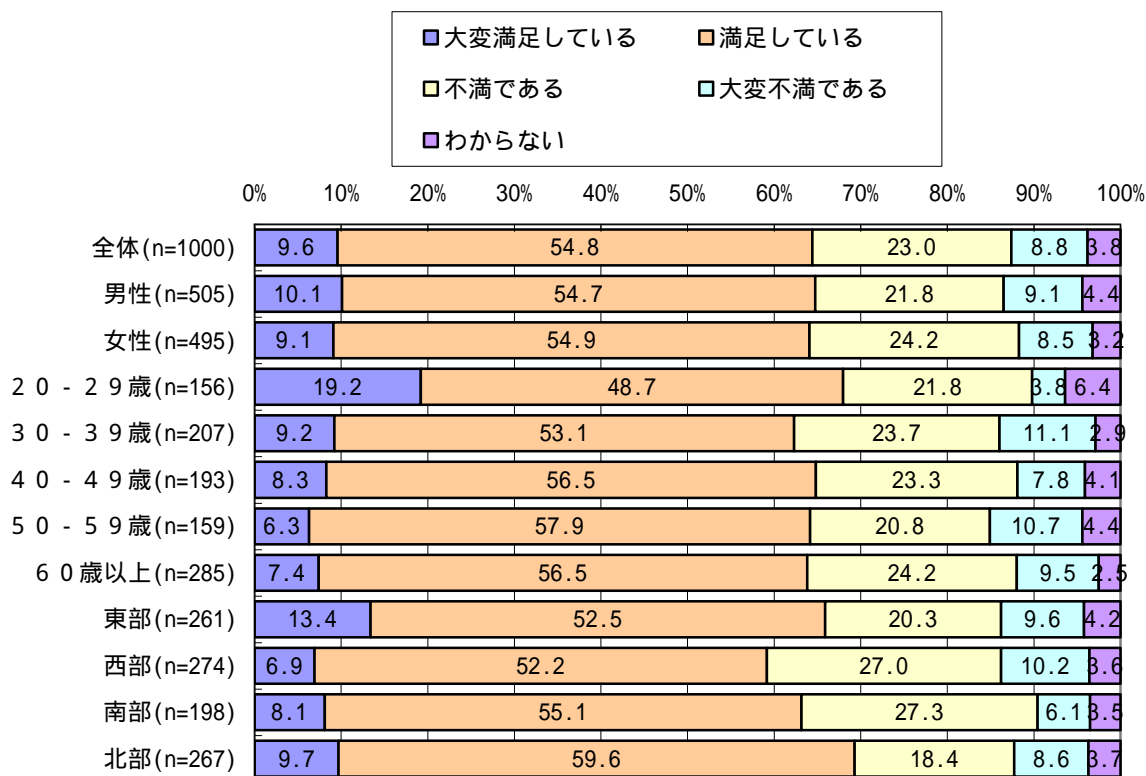
8.街並み、景観



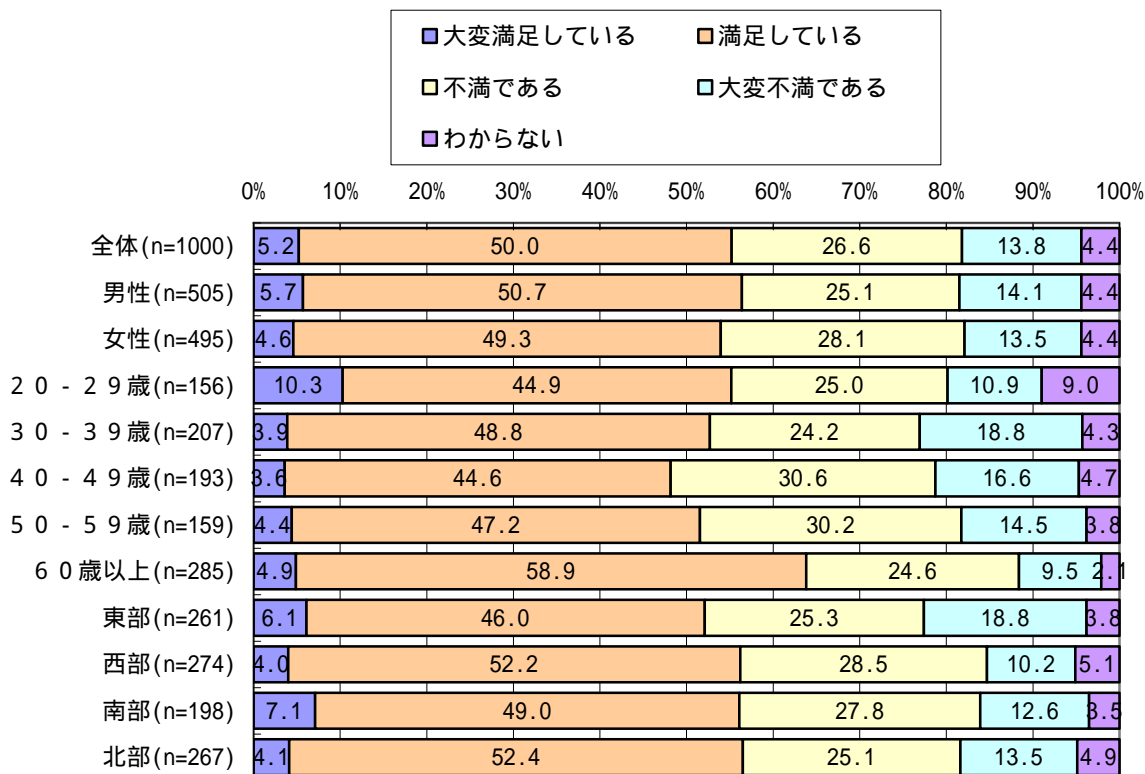
9. 大気や騒音・振動などの状況（生活環境の状況）



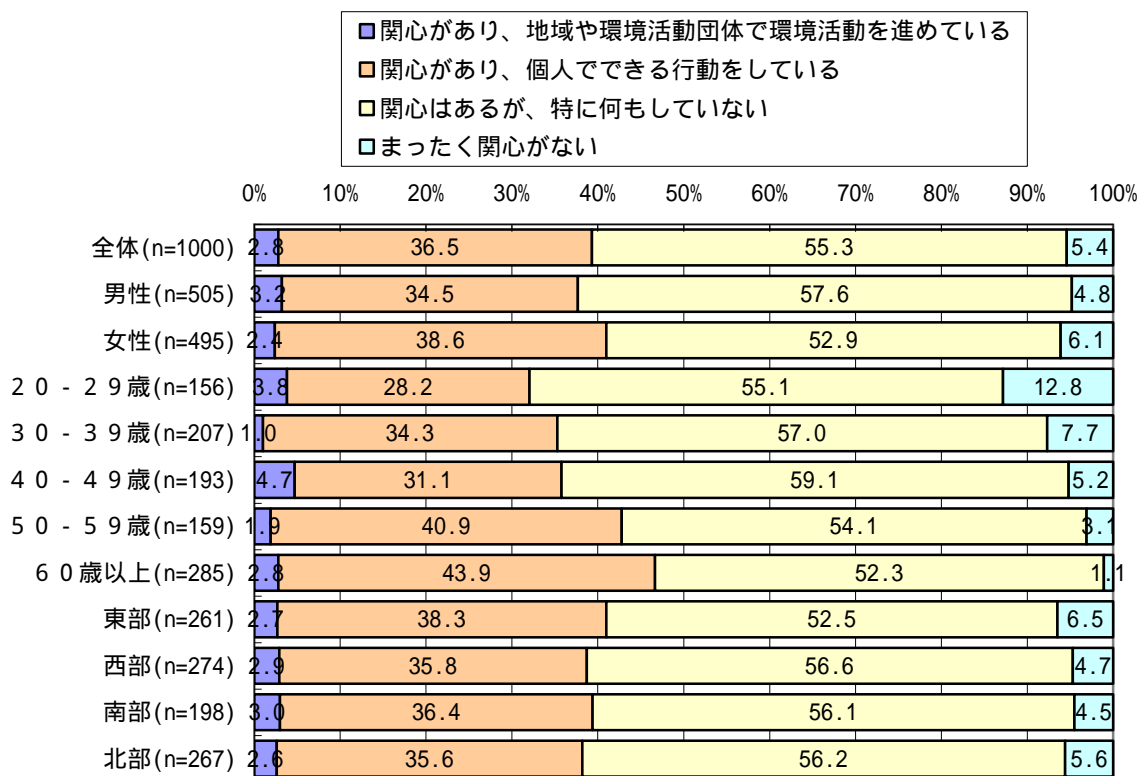
10. 鉄道やバスなど、公共交通の使いやすさ



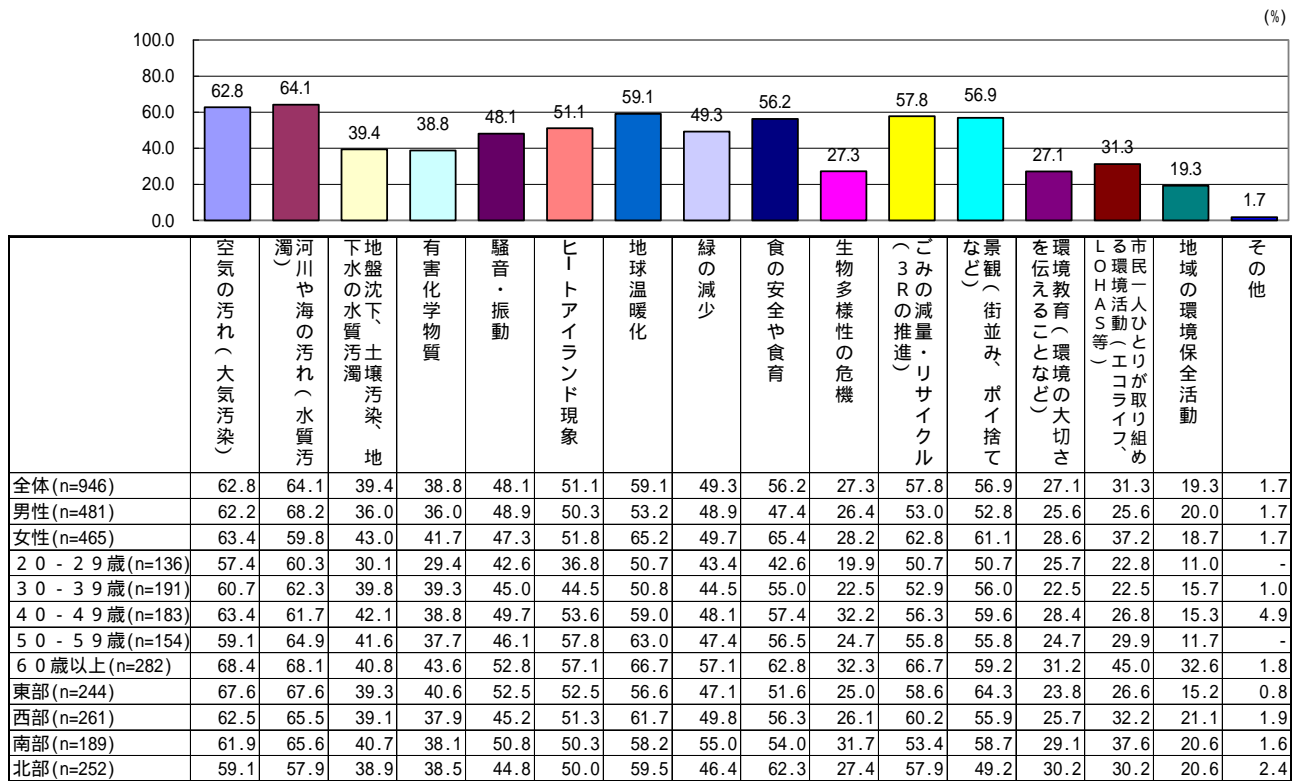
11.ごみ処理（資源回収や分別収集など）の状況



Q4.環境に対する関心や行動について伺います。最も近いものを1つお選びください。



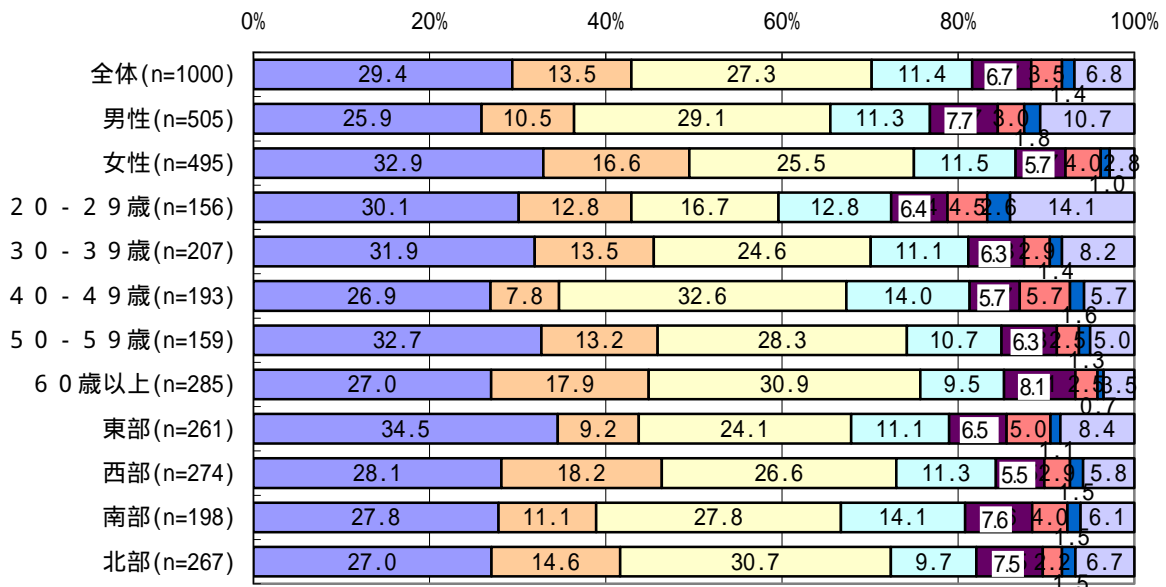
Q5. 次の環境問題や環境活動について、関心のあるものをすべて選んでください。(複数選択)
 [Q4 で「まったく関心がない」以外を選んだ方のみ回答]



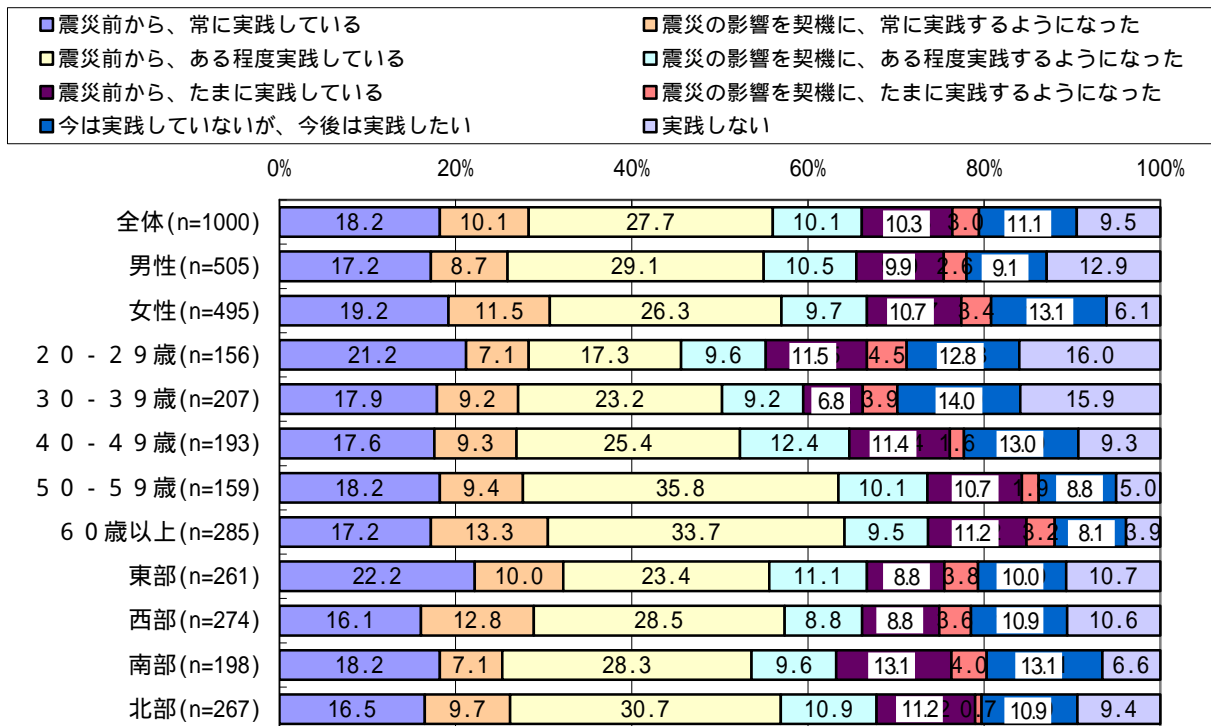
Q6. 環境にやさしい生活をするために、実践していることはありますか。また、本年3月11日に発生した東日本大震災の前と比較して、日常生活において意識や行動に変化がありましたか。項目ごとに、最も近いものを1つお選びください。

1. 家庭で省エネルギーをつくり、電気やガス、水のムダづかいに気をつける(こまめにコンセントを抜く、冷暖房の適切な温度設定など)

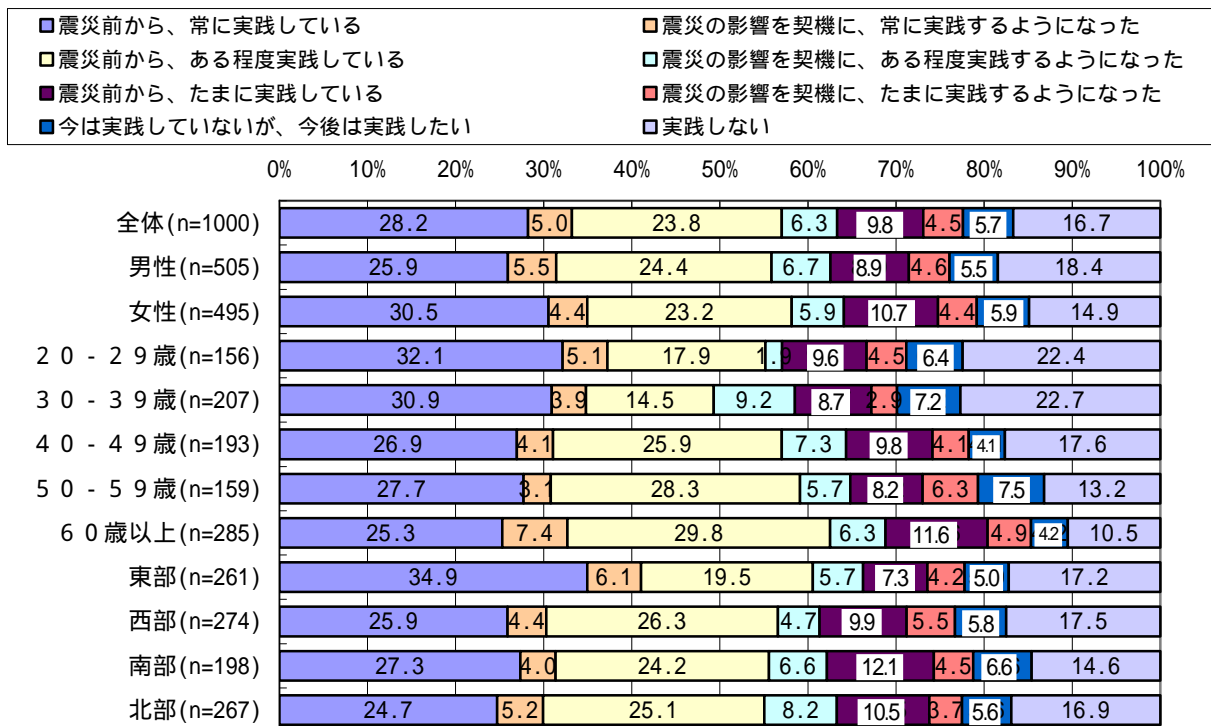
- 震災前から、常に実践している
- 震災前から、ある程度実践している
- 震災前から、たまに実践している
- 今は実践していないが、今後は実践したい
- 震災の影響を契機に、常に実践するようになった
- 震災の影響を契機に、ある程度実践するようになった
- 震災の影響を契機に、たまに実践するようになった
- 実践しない



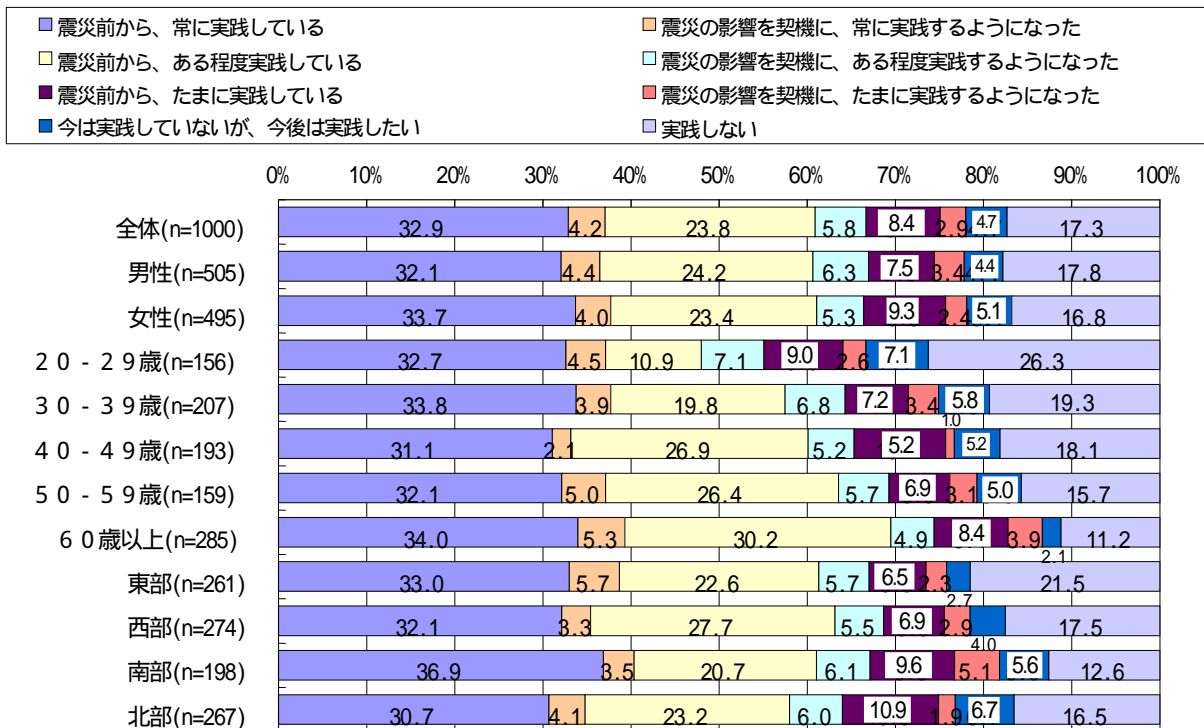
2. エネルギー効率のよい製品等を選択して購入する（買い替え時に省エネ型製品を選択するなど）



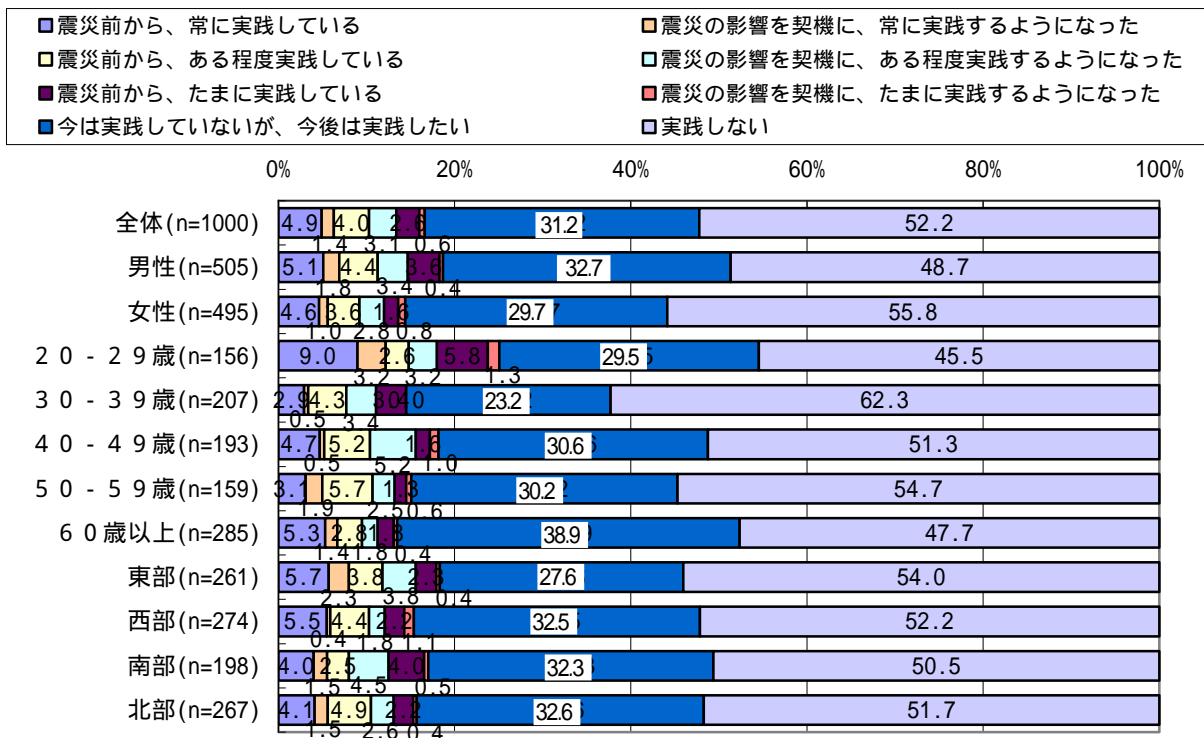
3. 自家用車の利用を減らし、公共交通機関の利用や徒歩や自転車での移動を増やす



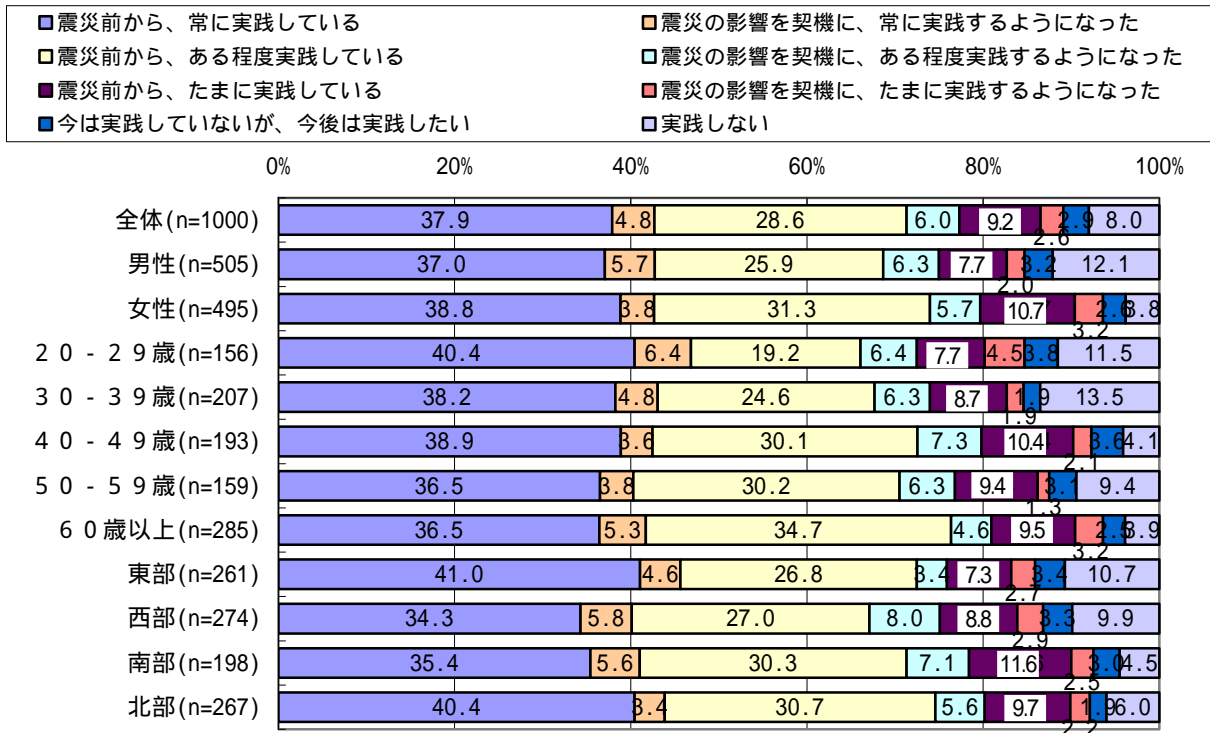
4.車に乗るときは、エコドライブ（急発進、急加速を避けるなど環境に配慮した運転）に気をつける



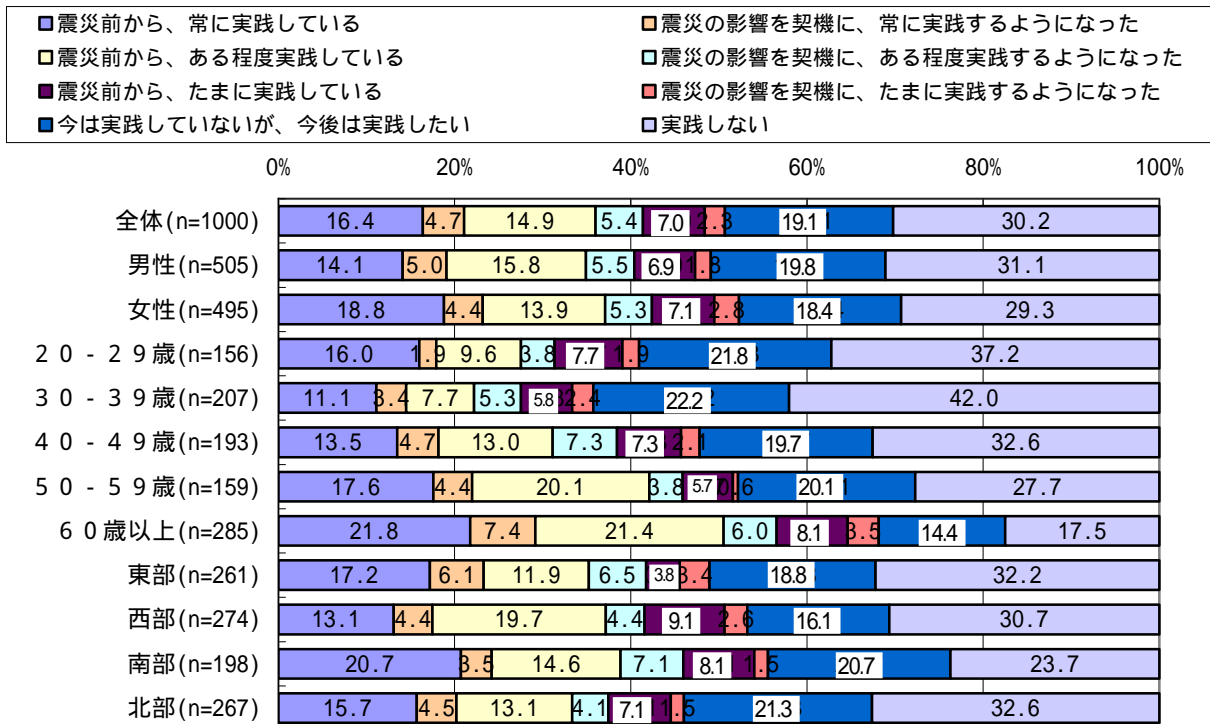
5.太陽熱やヒートポンプ技術を利用した給湯設備、太陽光を利用した発電設備などを自宅に設置する



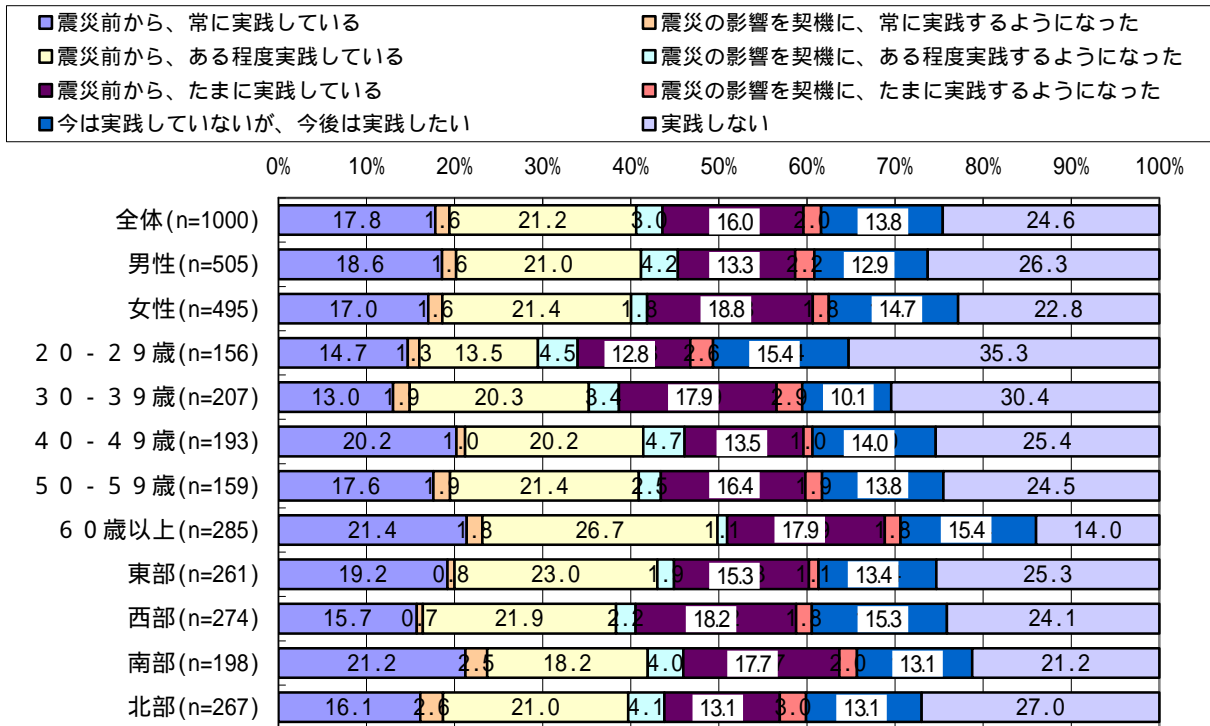
6. クールビズやウォームビズなど、適温冷房・適温暖房にあわせた服装を選択する



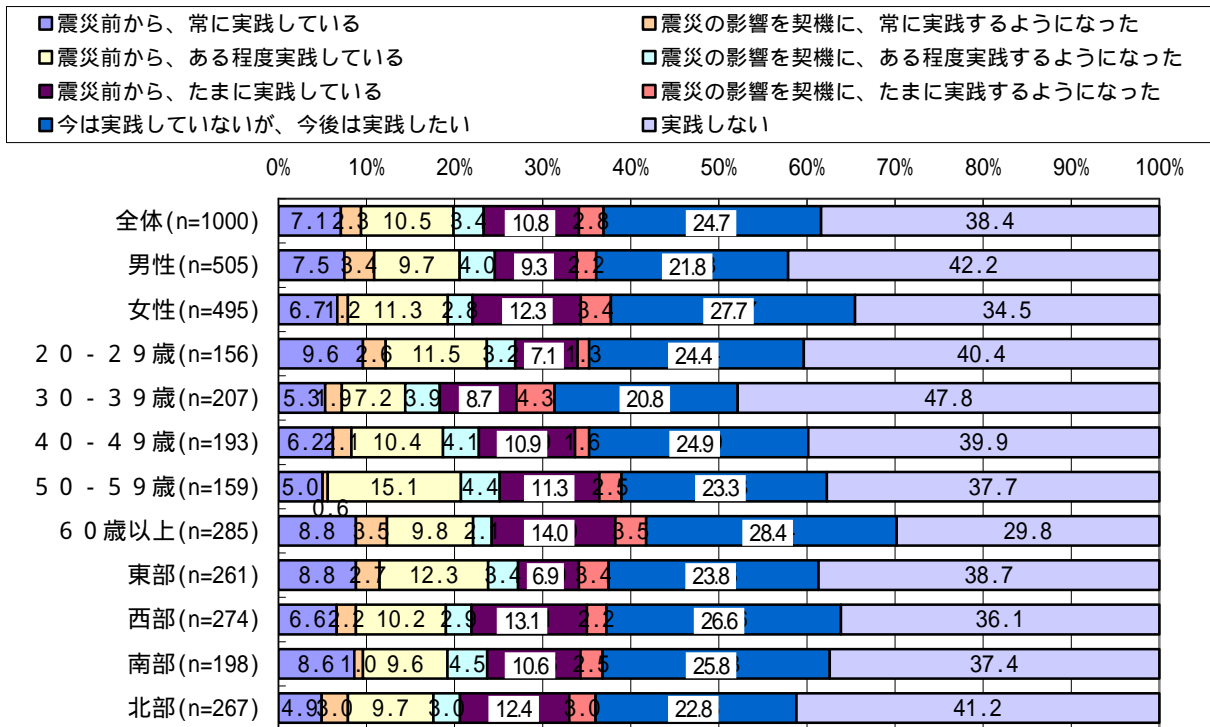
7. 緑のカーテンを取り入れたり、生け垣や庭、ベランダなどで緑を育てる



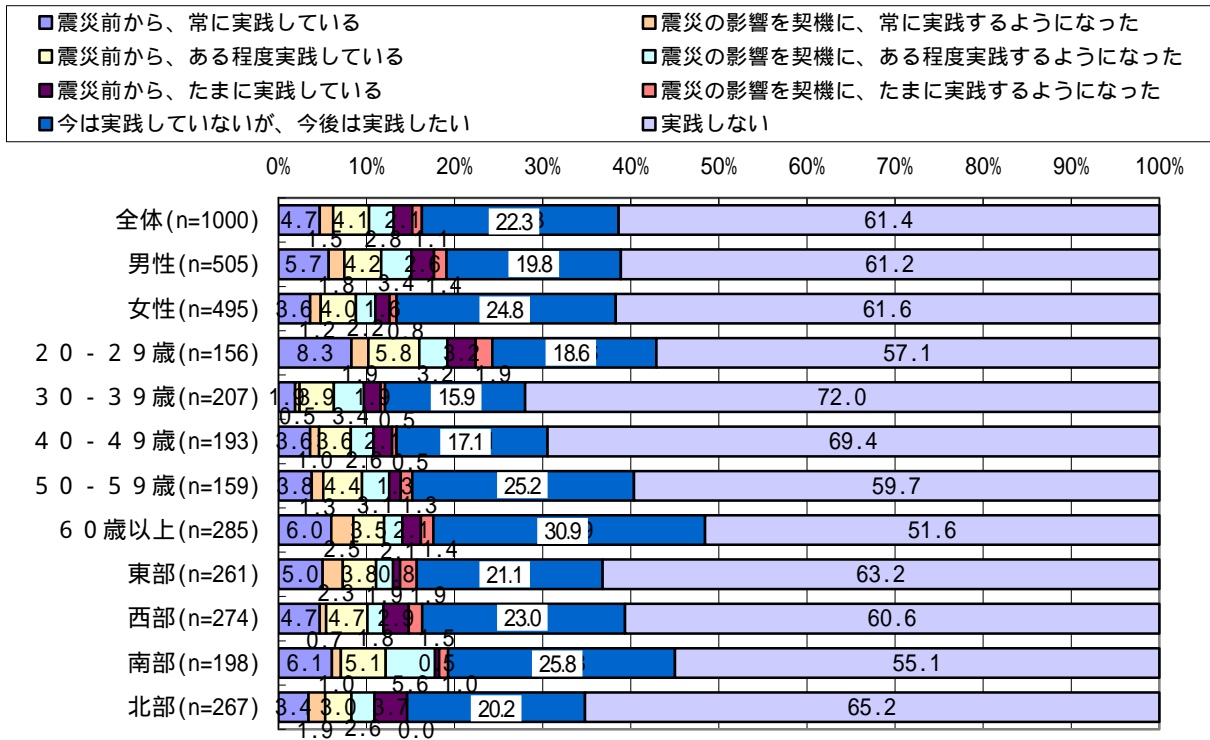
8. 近くの川や公園・森や里山などに出かけ自然環境に触れ合う



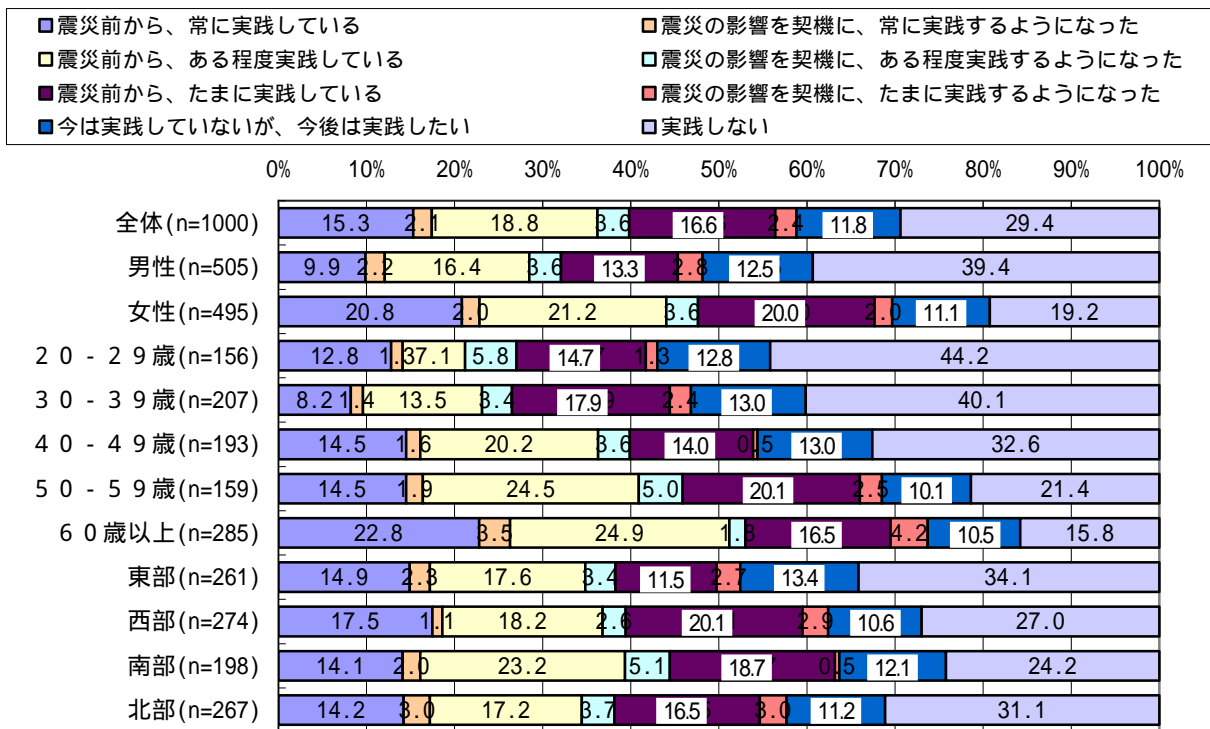
9. 水辺や緑の保全と創造のための募金などに応じる



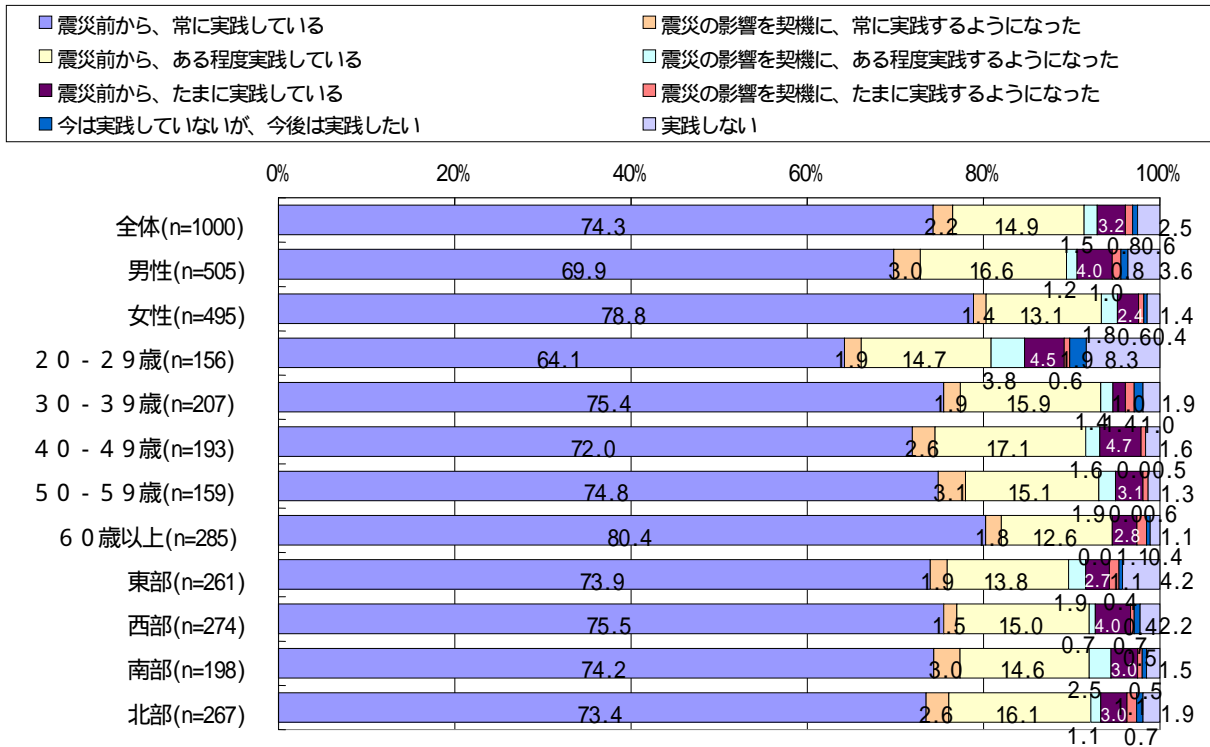
10. 雨水浸透ますや雨水貯留タンクを設置する



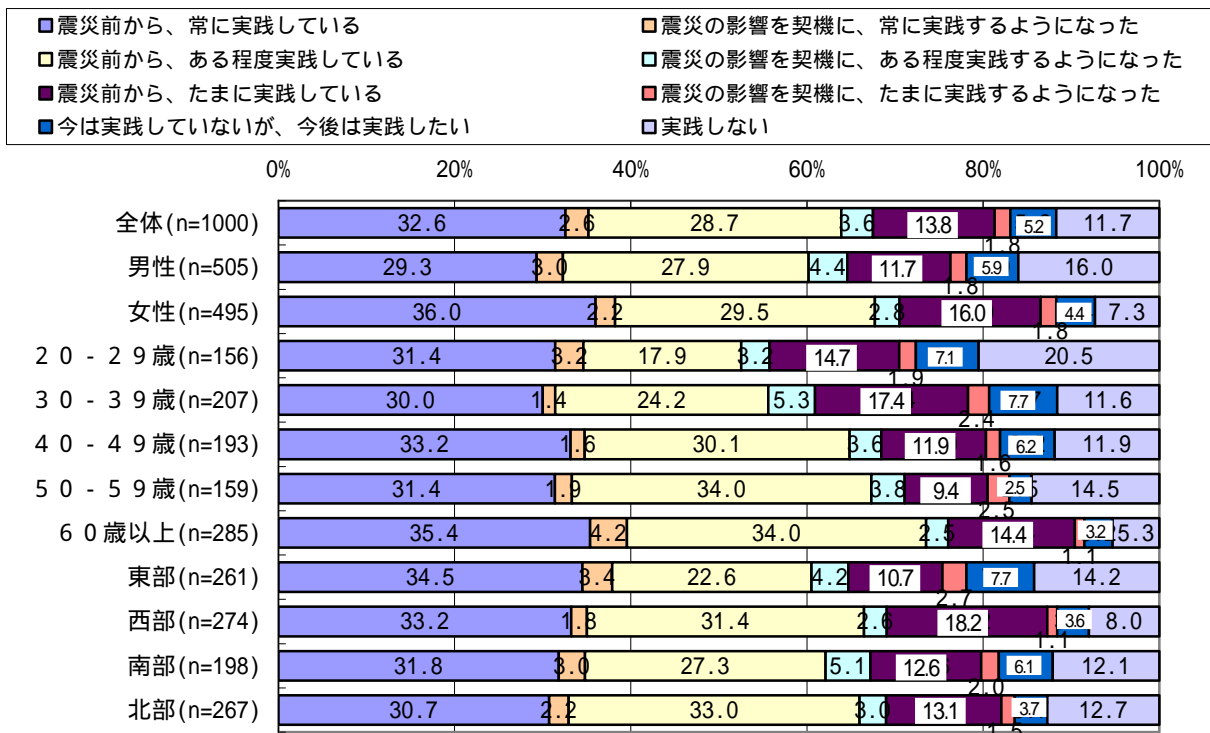
11. 横浜産の野菜や果物を選んで買う



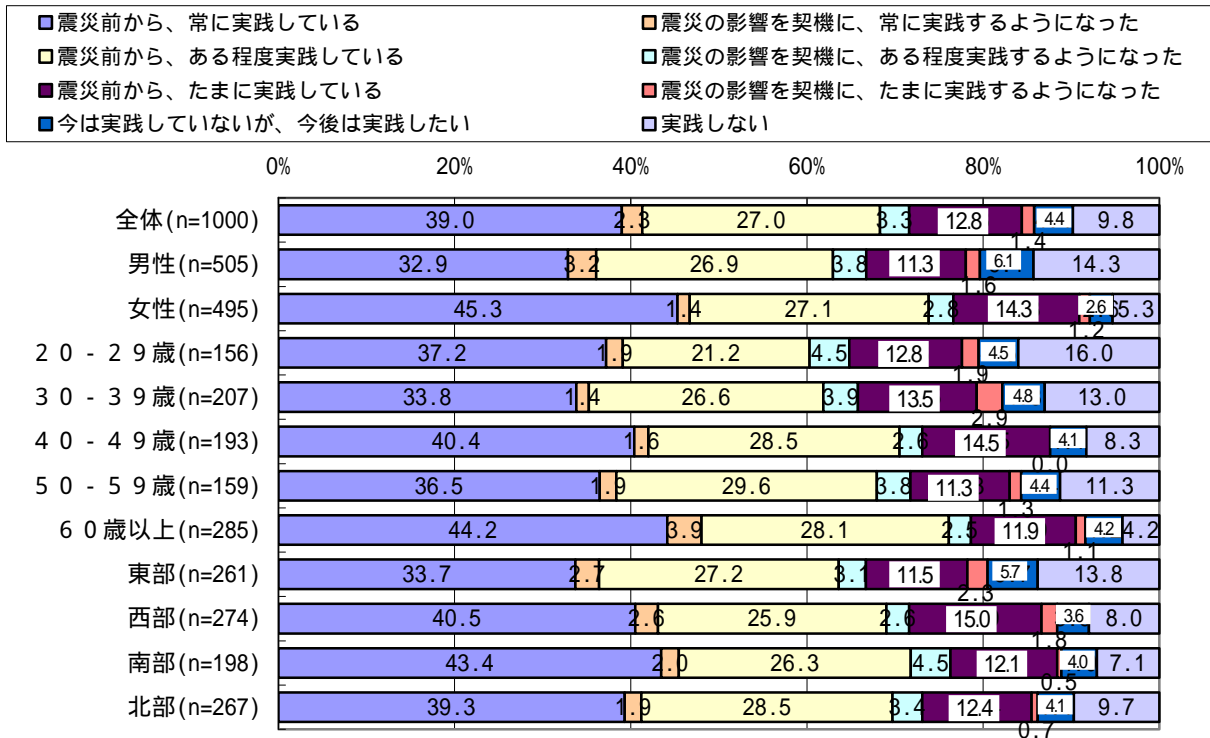
12.ごみは分別して出す



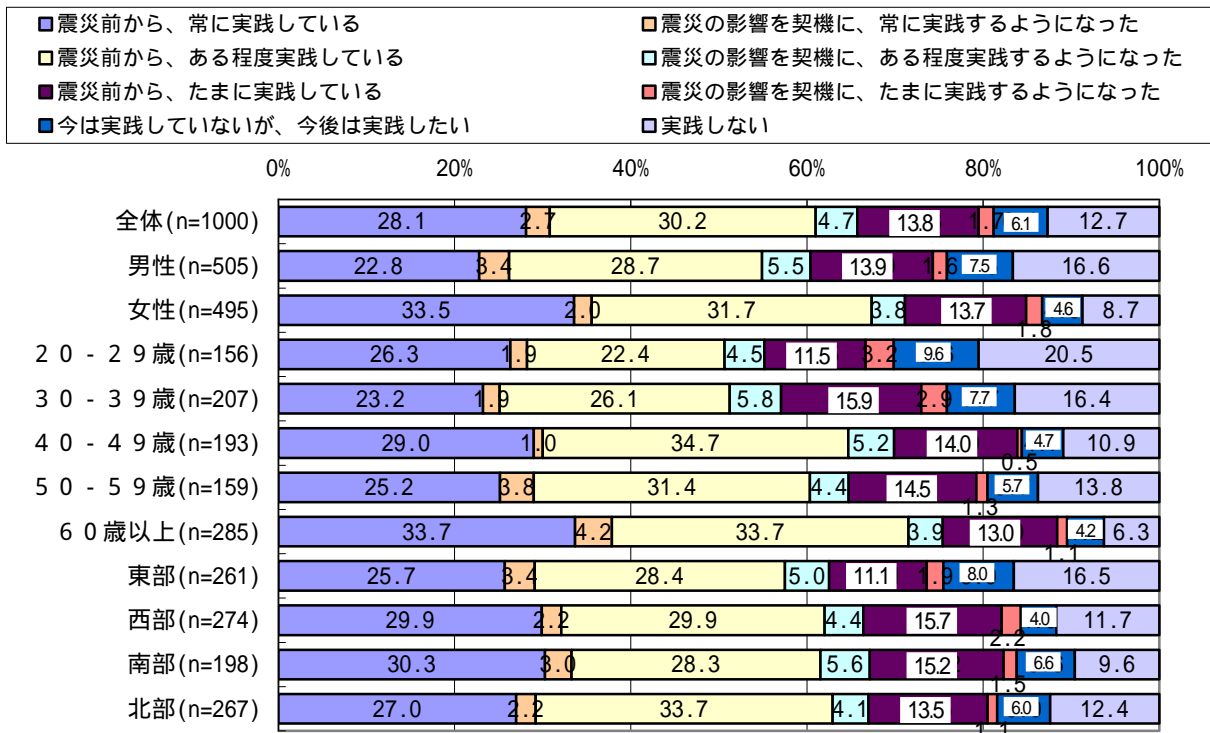
13.資源を大切に使うためにもなるべく使い捨てのものは使わない



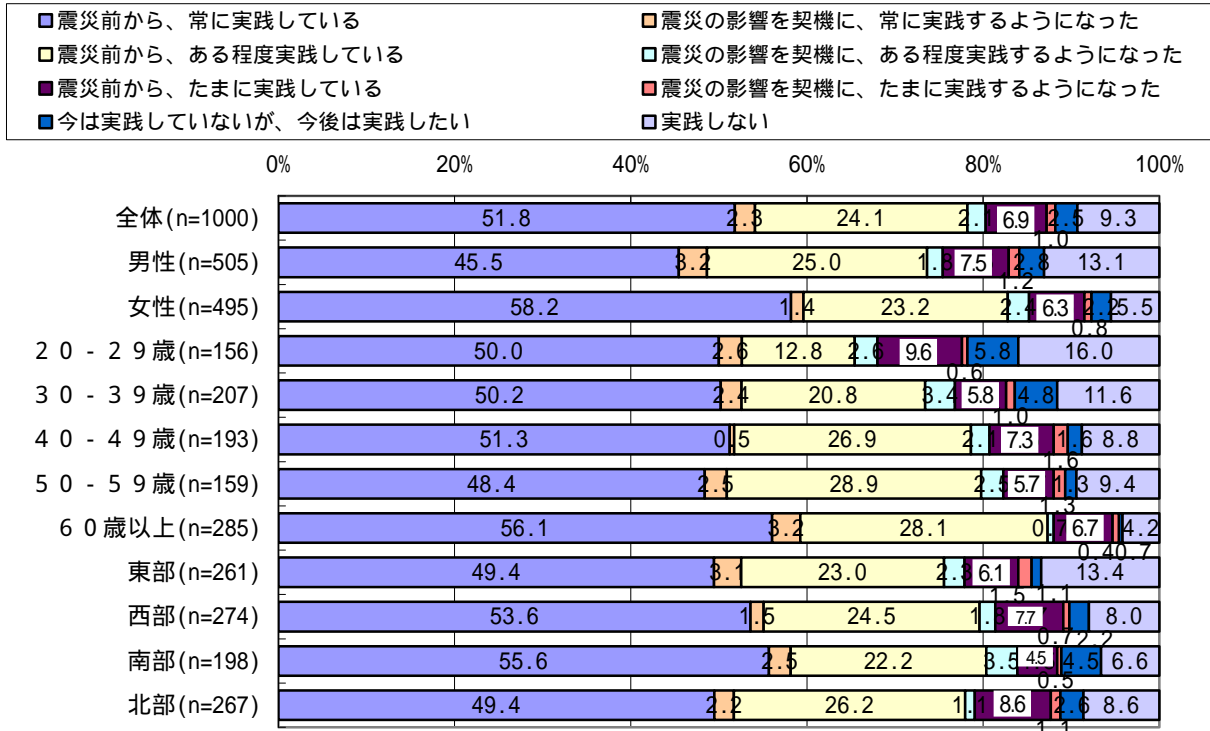
14. 買い物では商品の過剰な包装は断っている、あるいはレジ袋をなるべくもらわない



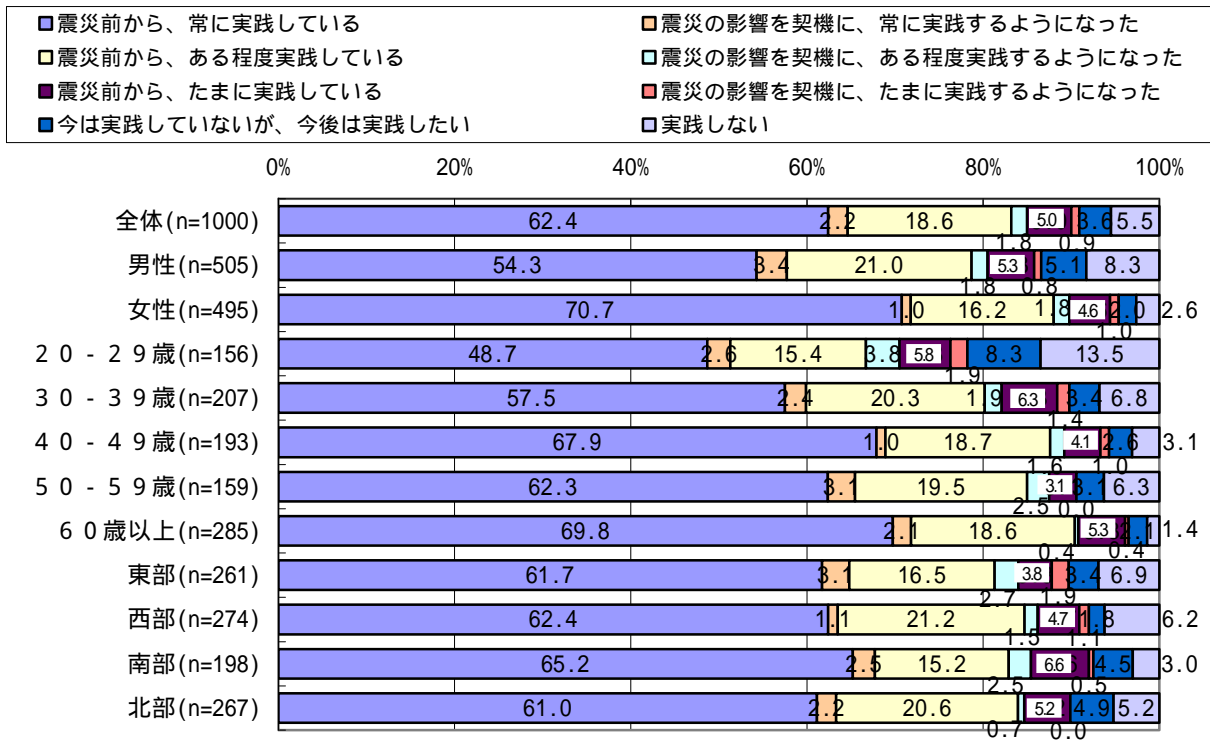
15. 環境にやさしい原材料を使用した製品やリサイクルしやすい製品などを選んで買う（詰替え商品、再生材を用いた商品など）



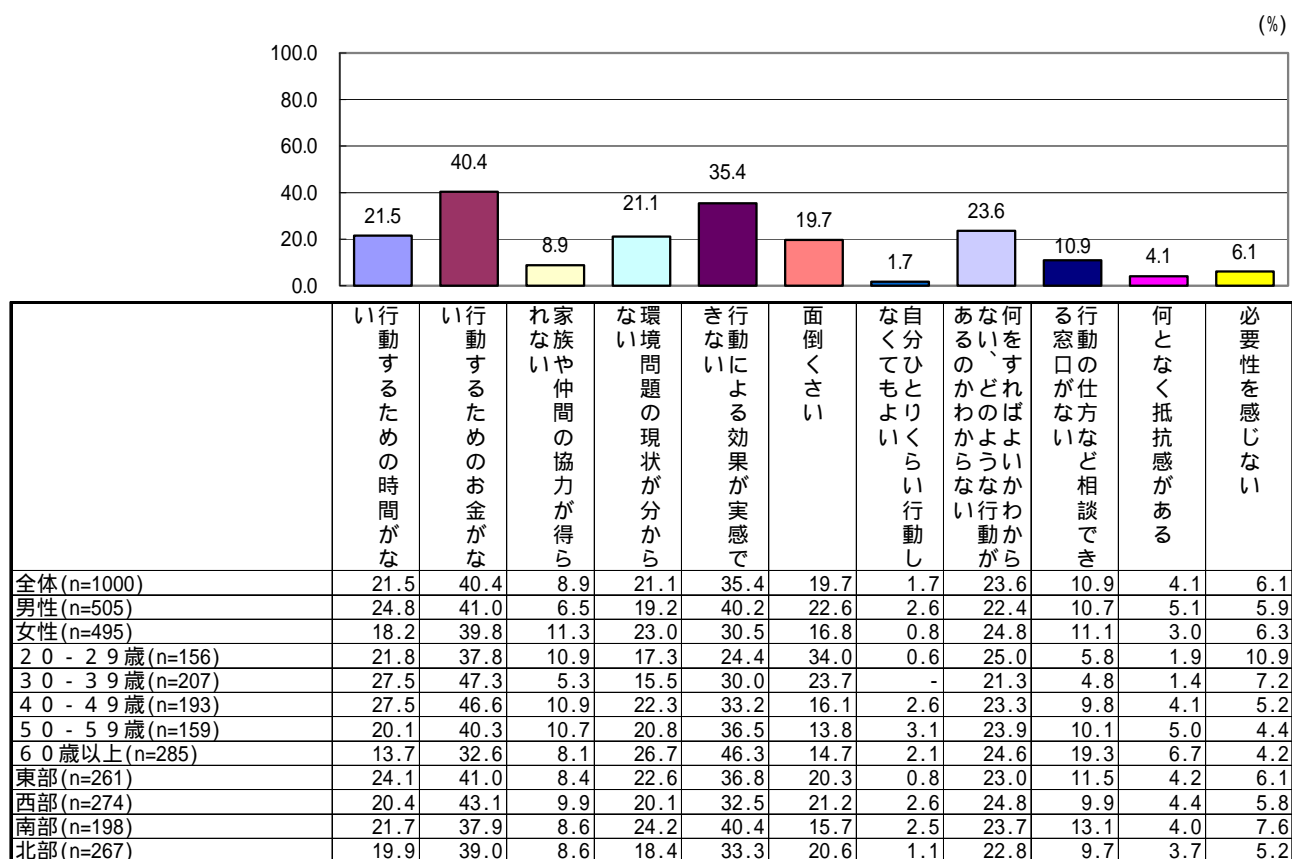
16. 自動車の運転や音響装置（楽器、ステレオなど）の使用にあたって、騒音を出さない



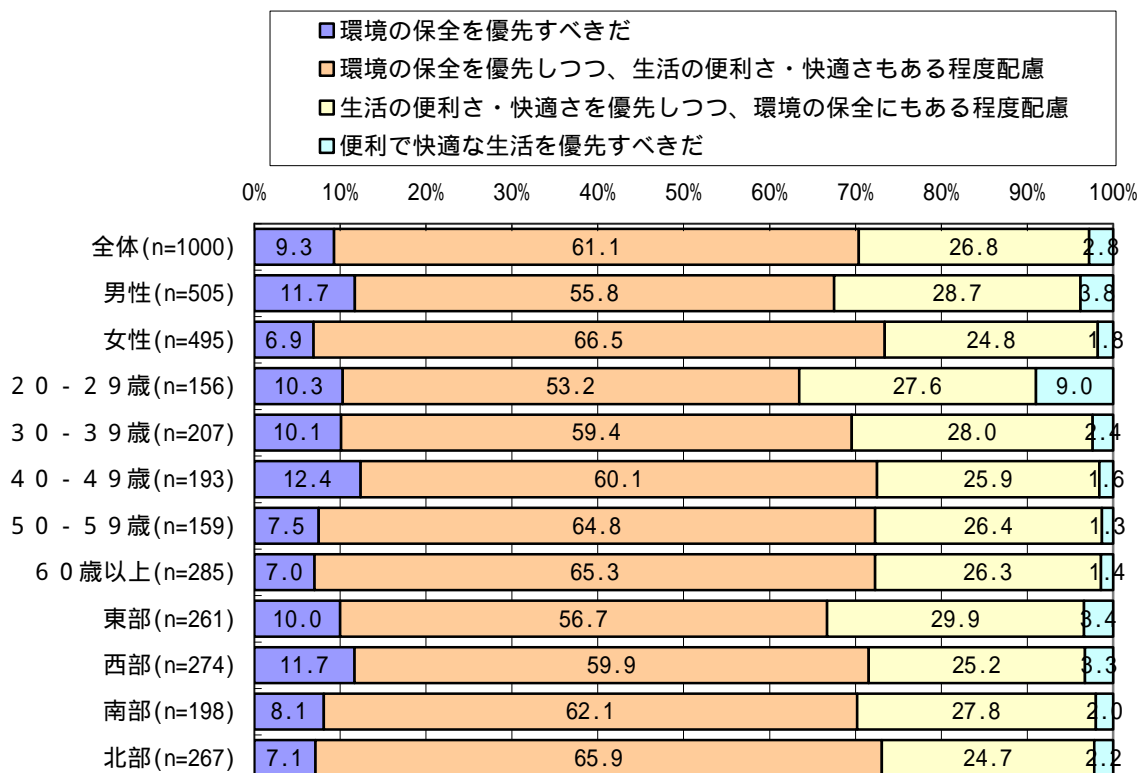
17. 食用油を排水溝（下水）に流さない



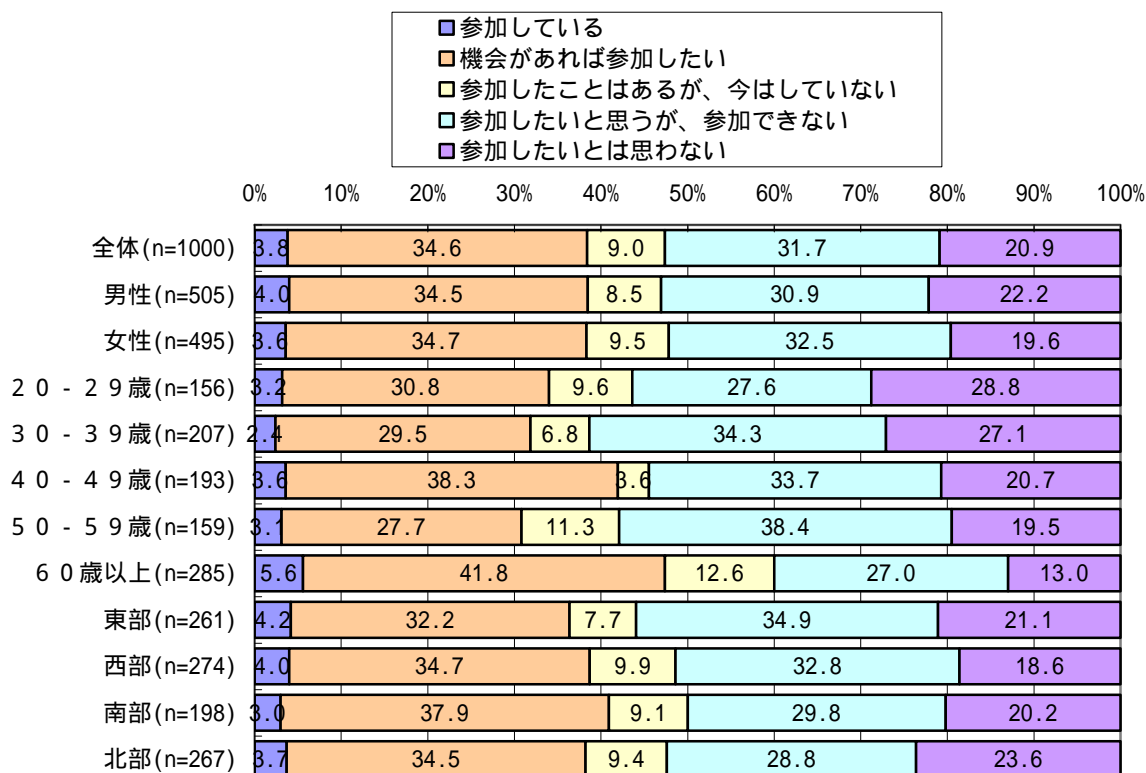
Q7.Q6 で示したような様々な環境行動がありますが、実践するうえで難しい点、行動できない、あるいは行動しない理由は何ですか。1～11の中でああなたの考えに近いものを3つまでお選びください。



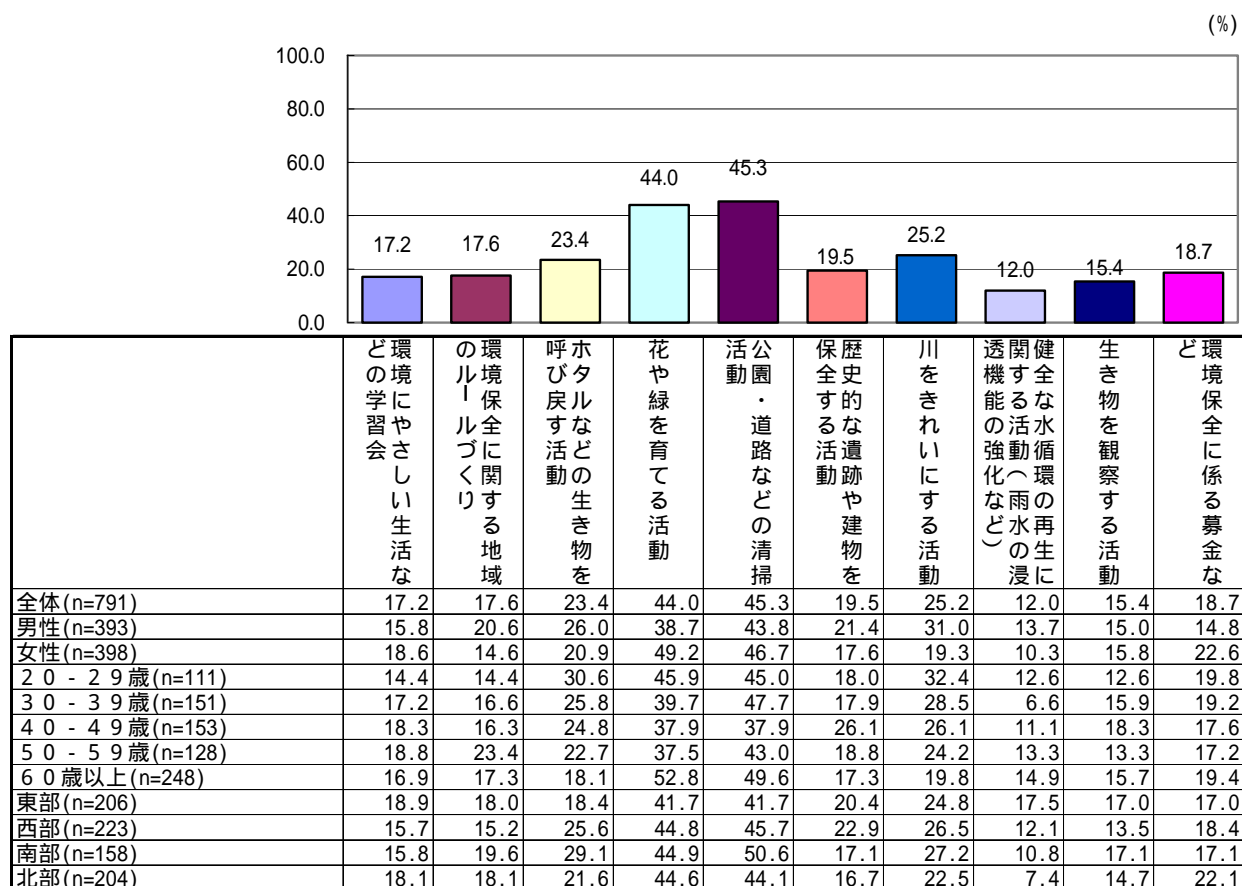
Q8. 環境の保全と生活の便利さ・快適さについて、あなたの考えに最も近いものはどれですか。次のうち、あてはまるものを1つお選びください。



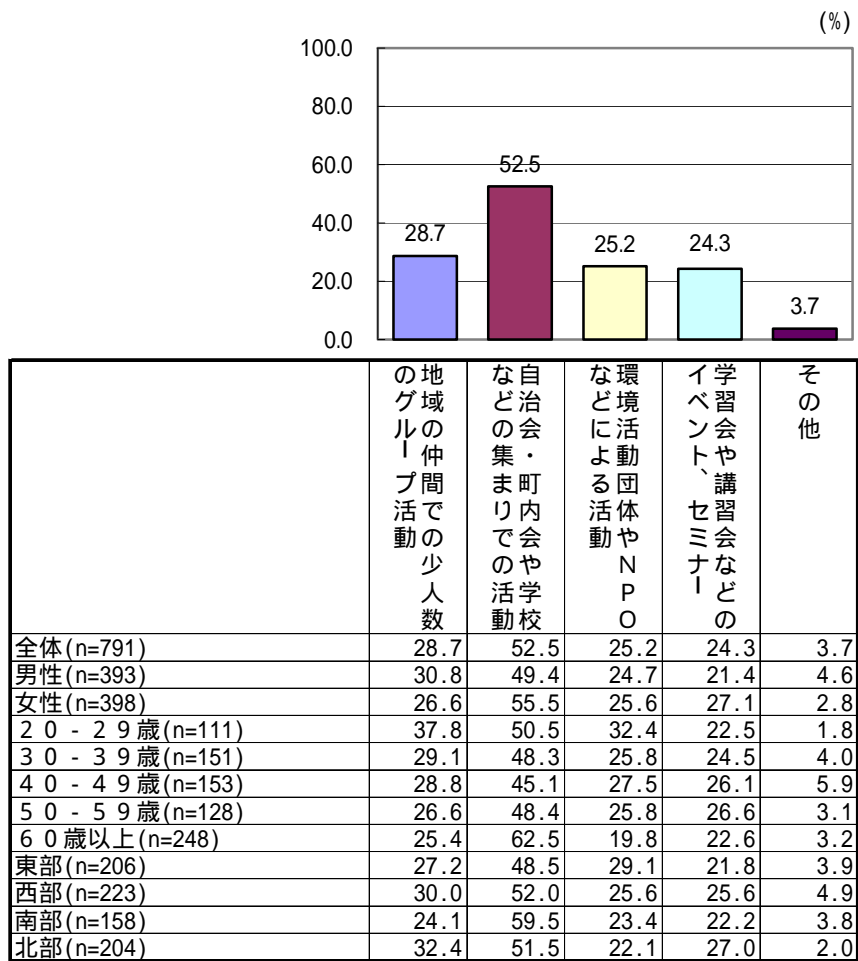
Q9.地域の環境活動に参加したいと思いますか。次のうち、あてはまるものを1つお選びください。



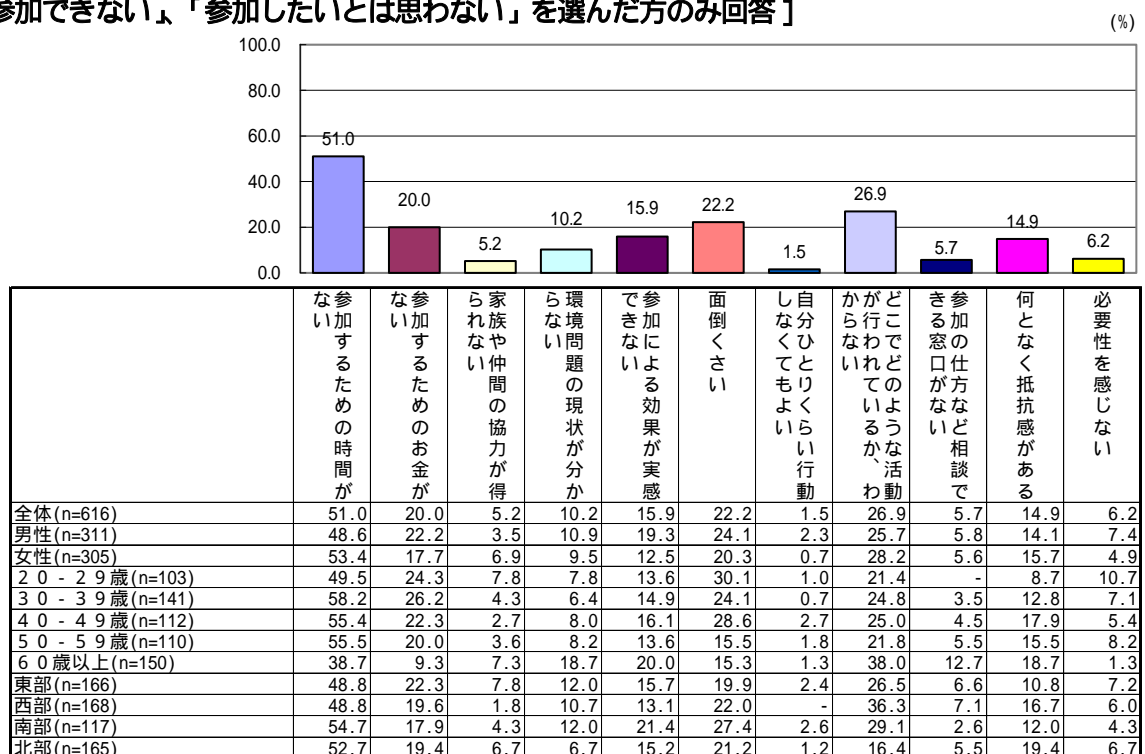
Q10.どのような活動や取組に参加したことがありますか、あるいは参加したいと思いますか。次のうち、あてはまるものをすべてお選びください。(複数選択)[Q9で「参加したいとは思わない」以外を選んだ方のみ回答]



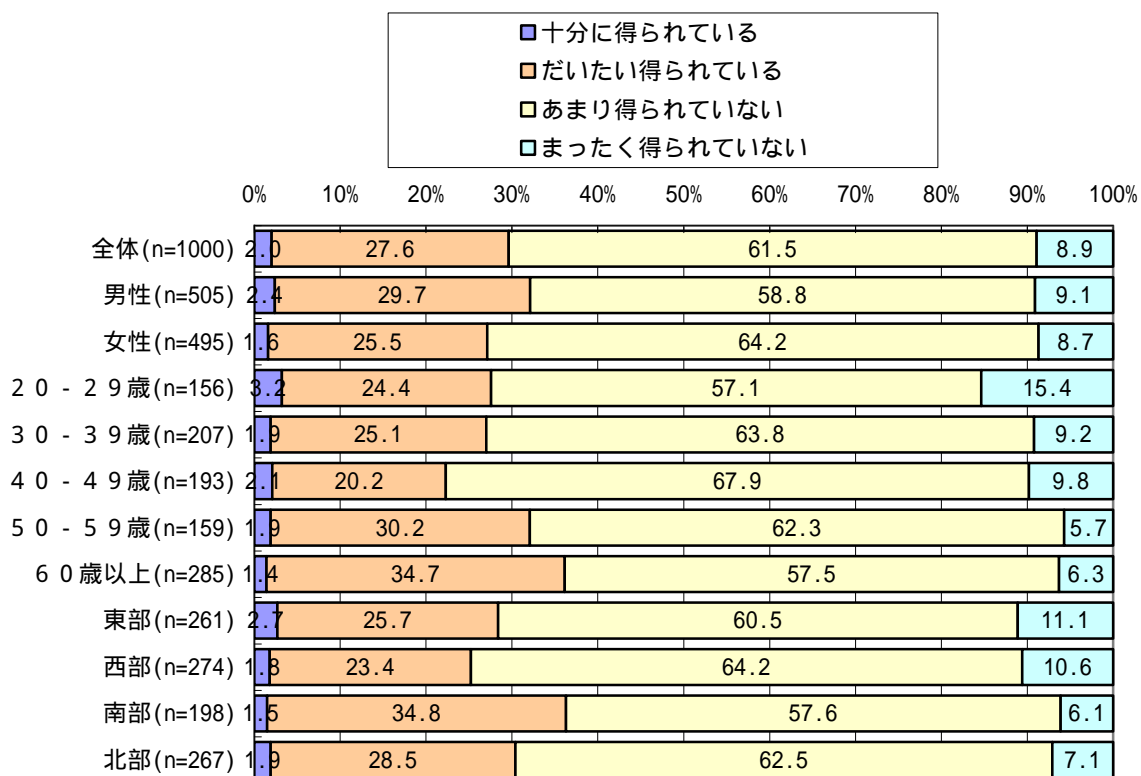
Q11.どのような形態の活動に参加したことがありますか。あるいは参加したいと思いますか。次のうち、あてはまるものをすべてお選びください。(複数選択)[Q9で「参加したいとは思わない」以外を選んだ方のみ回答]



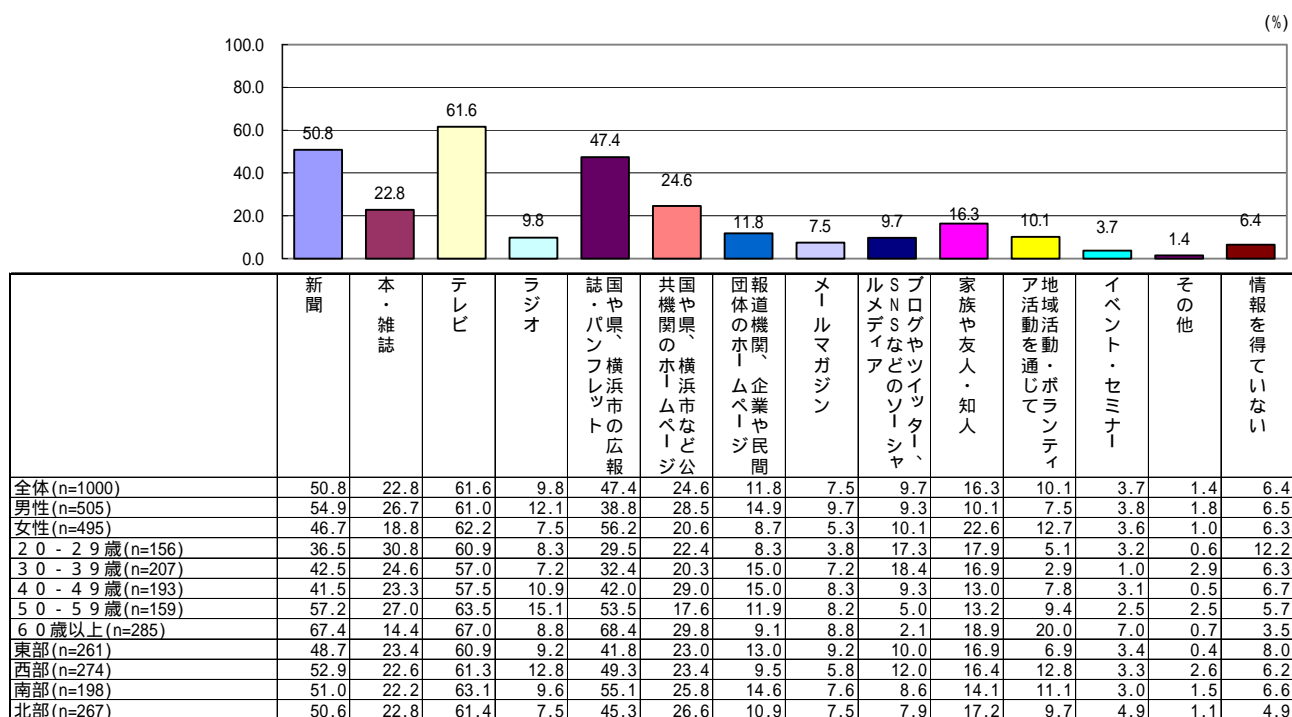
Q12.地域の環境活動に参加しない、あるいは参加できない理由は何ですか。1~11の中であなたの考えに近いものを3つまでお選びください。[Q9で「参加したことはあるが今はしていない」、「参加したいと思うが、参加できない」、「参加したいとは思わない」を選んだ方のみ回答]



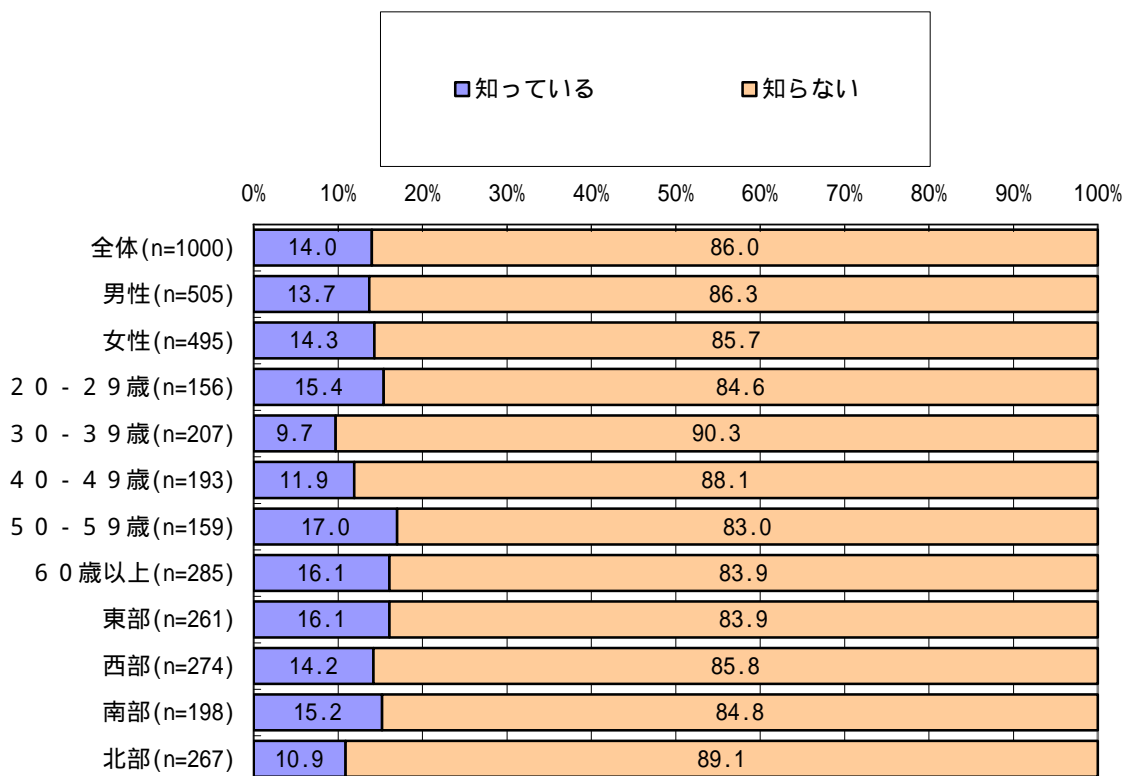
Q13. 環境問題や環境活動に関して、必要な情報は得られていますか。次のうち、あてはまるものを1つお選びください。



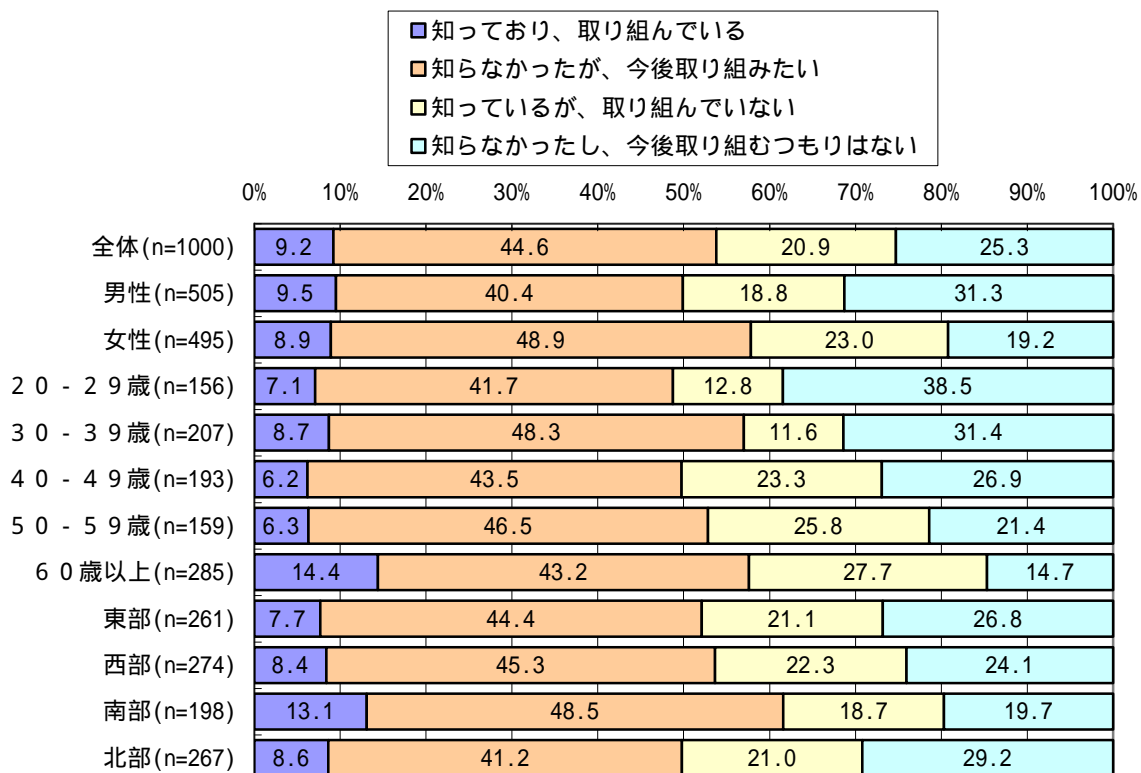
Q14. あなたが環境の情報を得る主な手段は何ですか。次のうち、あてはまるものをすべてお選びください。（複数選択）



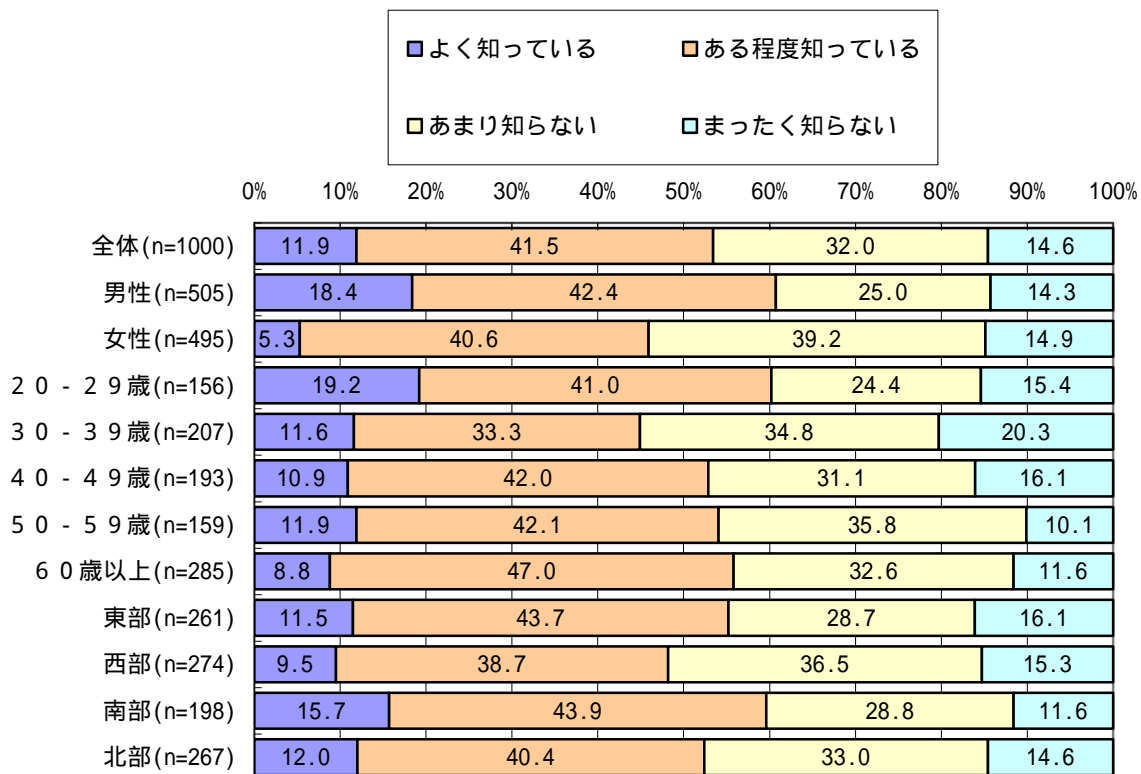
Q15. 横浜市の CO2 排出量の内訳では、家庭部門からの排出量が全国と比べると高い割合 となっていることを知っていますか。(2009 年度は全国 = 14.1%、横浜市 = 22.3%) 次のうち、あてはまるものを 1 つお選びください。



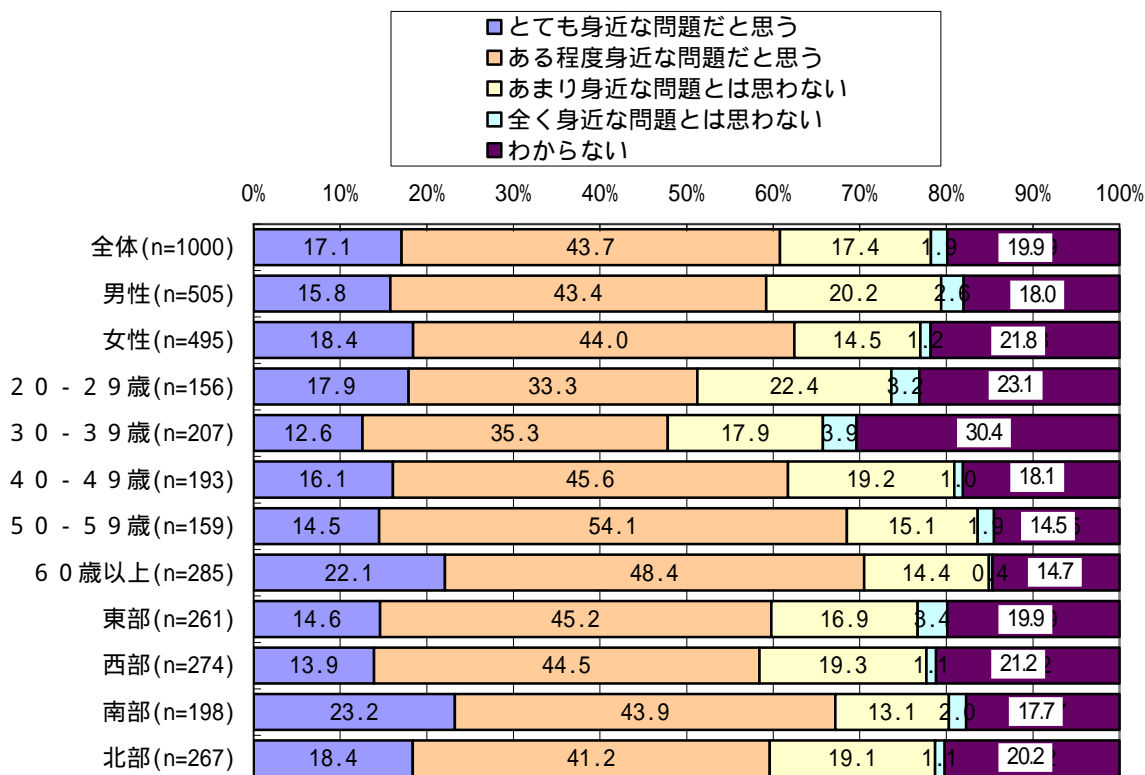
Q16. 家庭での CO2 削減・省エネ行動を進めるために、電気やガスなどの使用量を記録する「環境家計簿」について伺います。 次のうち、あてはまるものを 1 つお選びください。



Q17. 生物多様性という言葉を知っていますか。次のうち、あてはまるものを1つお選びください。

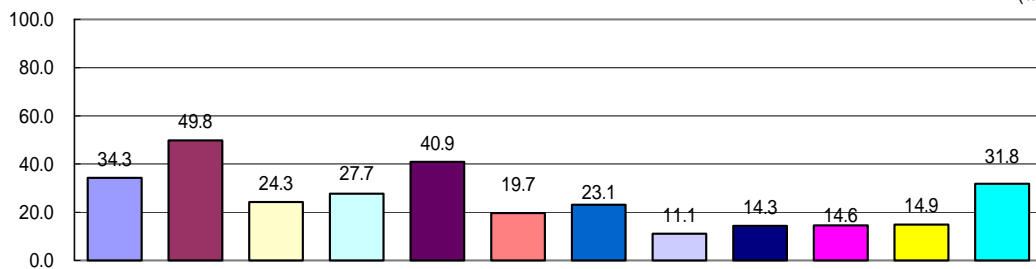


Q18. 近年、生物多様性の危機が問題として挙げられています。次のうち、あてはまるものを1つお選びください。



Q19. 横浜市では、生物多様性を守るための計画として、「ヨコハマb(ビー)プラン(生物多様性横浜行動計画)」を本年4月に策定しました。横浜市の取組のうち、特に必要だと思うものは何ですか。次のうち、あてはまるものをすべてお選びください。(複数選択)

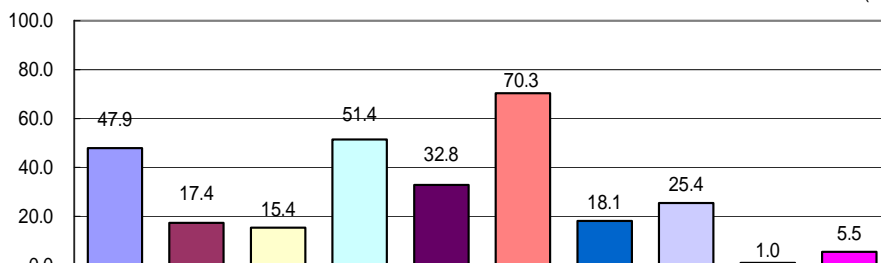
(%)



	都市部の緑の創造	生き物のすみか、水辺	開発を規制する制度の充実	環境の保全	土地の購入や契約など	外来生物への対策	情報発信の充実	教育、普及啓発の充実	行事・イベントの充実	市民活動への支援の充実	市民・企業との協働	減税など	企業への支援(助成や)	生物多様性に配慮した	知らない	ヨコハマbプランを知
全体(n=1000)	34.3	49.8	24.3	27.7	40.9	19.7	23.1	11.1	14.3	14.6	14.9	31.8				
男性(n=505)	34.3	51.5	23.4	25.7	40.2	19.8	22.4	12.5	14.7	13.7	13.9	30.1				
女性(n=495)	34.3	48.1	25.3	29.7	41.6	19.6	23.8	9.7	13.9	15.6	16.0	33.5				
20 - 29歳(n=156)	28.8	40.4	14.7	23.7	30.1	17.9	21.2	16.0	8.3	12.2	14.7	37.8				
30 - 39歳(n=207)	28.0	41.5	16.9	18.8	32.9	18.8	21.7	7.2	11.1	14.5	9.2	42.0				
40 - 49歳(n=193)	34.7	52.3	23.3	28.5	38.9	17.6	20.7	9.8	11.4	13.0	14.0	33.7				
50 - 59歳(n=159)	35.2	52.8	26.4	27.0	45.9	19.5	23.9	10.1	14.5	20.8	14.5	27.0				
60歳以上(n=285)	41.1	57.5	34.4	36.1	51.2	22.8	26.3	12.6	21.8	13.7	20.0	22.5				
東部(n=261)	37.9	46.7	22.2	24.5	37.2	19.9	21.1	11.9	10.7	11.5	10.7	31.8				
西部(n=274)	30.3	48.5	21.9	26.6	40.1	18.6	19.3	10.2	15.3	15.7	16.1	34.3				
南部(n=198)	33.3	57.6	27.3	29.3	44.9	18.7	25.3	11.6	19.2	14.6	13.6	27.3				
北部(n=267)	35.6	48.3	26.6	30.7	42.3	21.3	27.3	10.9	13.1	16.5	18.7	32.6				

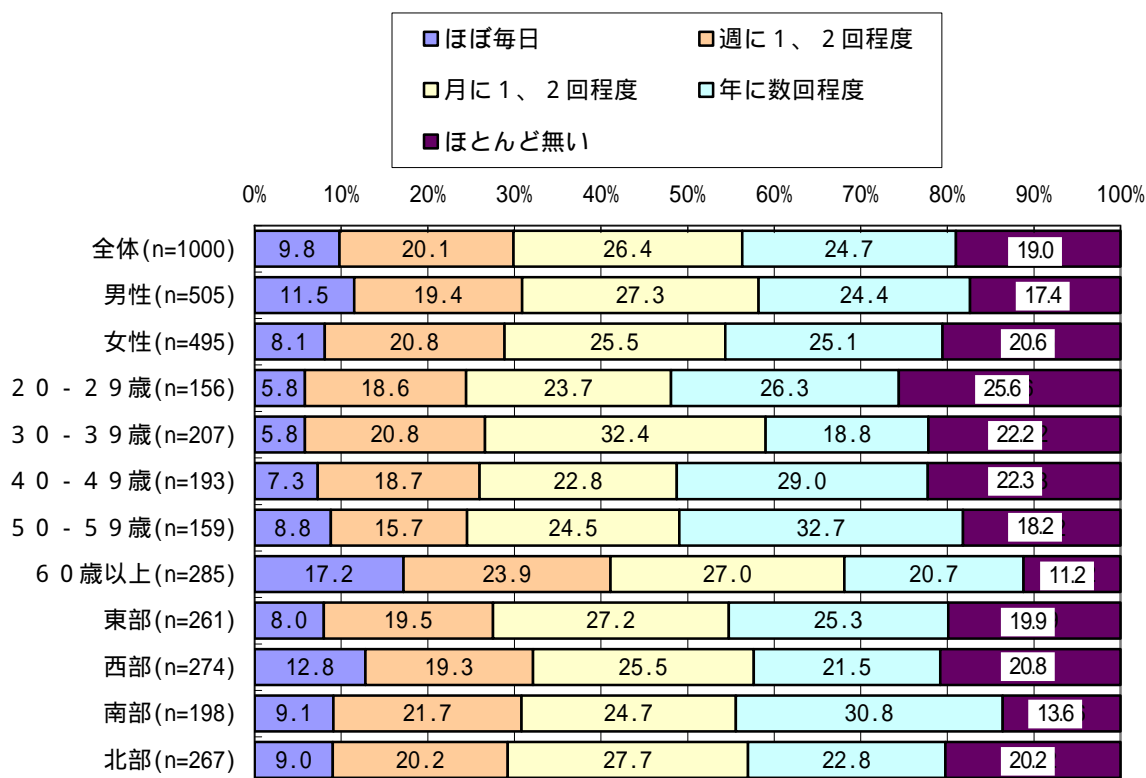
Q20. 身近に緑を感じられる環境はありますか。次のうち、あてはまるものをすべてお選びください。(複数選択)

(%)

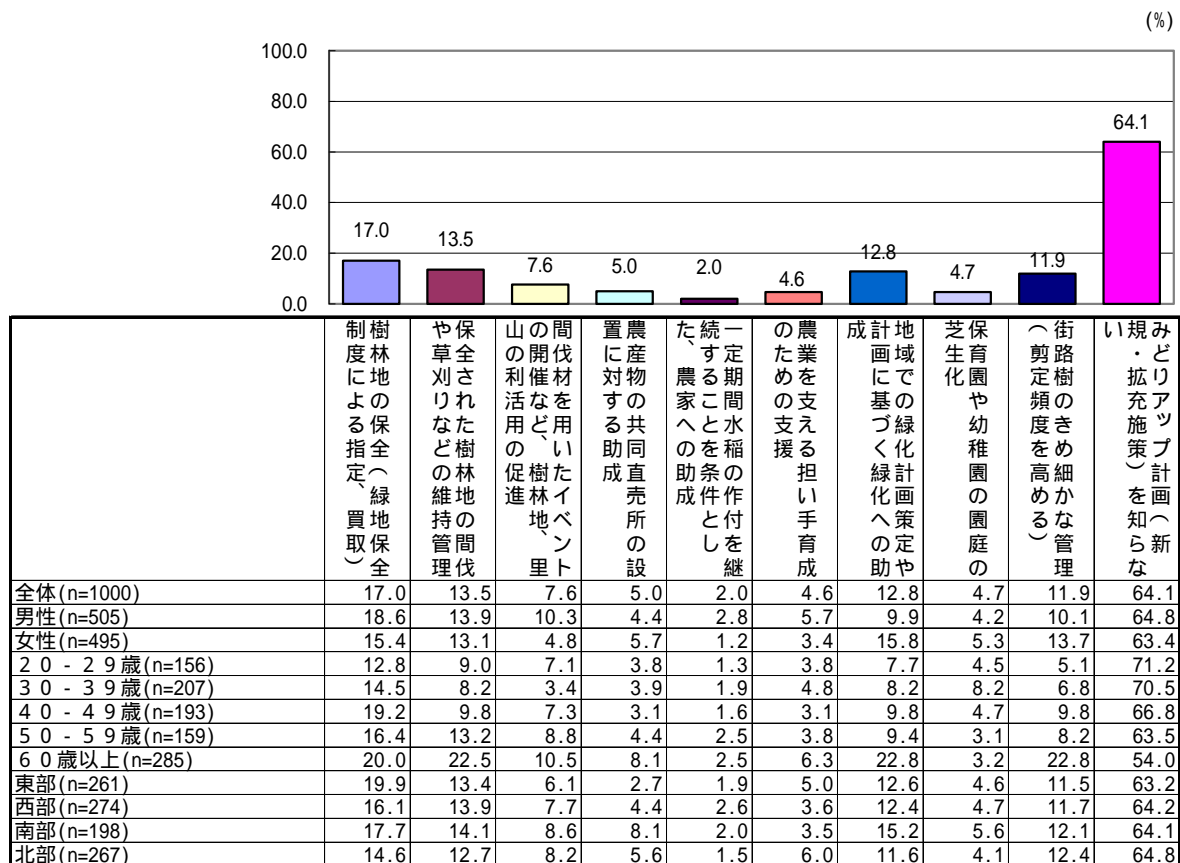


	自宅の庭やベランダ	幼稚園の校庭や保育園	壁面緑化	屋上緑化	公共施設や民間施設	街路樹や生垣	遊歩道	公園	農地	森林	その他	あてはまるものはない
全体(n=1000)	47.9	17.4	15.4	51.4	32.8	70.3	18.1	25.4	1.0	5.5		
男性(n=505)	44.8	16.6	14.3	46.5	28.7	66.3	20.2	28.3	0.2	6.9		
女性(n=495)	51.1	18.2	16.6	56.4	37.0	74.3	16.0	22.4	1.8	4.0		
20 - 29歳(n=156)	35.3	17.9	18.6	44.2	21.2	60.9	15.4	21.2	-	10.3		
30 - 39歳(n=207)	34.8	19.3	15.5	41.1	30.0	71.5	12.6	20.3	1.4	5.3		
40 - 49歳(n=193)	47.7	21.8	18.7	48.7	31.6	70.5	19.2	29.5	1.6	5.2		
50 - 59歳(n=159)	47.2	15.7	15.7	56.6	34.6	67.3	17.6	24.5	-	4.4		
60歳以上(n=285)	64.9	13.7	11.2	61.8	41.1	76.1	23.2	29.1	1.4	3.9		
東部(n=261)	43.3	19.9	16.1	44.4	24.1	64.4	6.5	13.8	1.9	8.8		
西部(n=274)	51.8	17.5	16.1	48.9	32.5	74.8	27.4	35.0	-	3.3		
南部(n=198)	52.0	16.7	15.7	59.1	37.4	73.7	13.1	36.9	0.5	5.1		
北部(n=267)	45.3	15.4	13.9	55.1	38.2	68.9	23.6	18.4	1.5	4.9		

Q21.どれくらいの頻度で、公園や森林、水辺の広場など身近な自然環境に足を運んでいますか。次のうち、あてはまるものを1つお選びください。

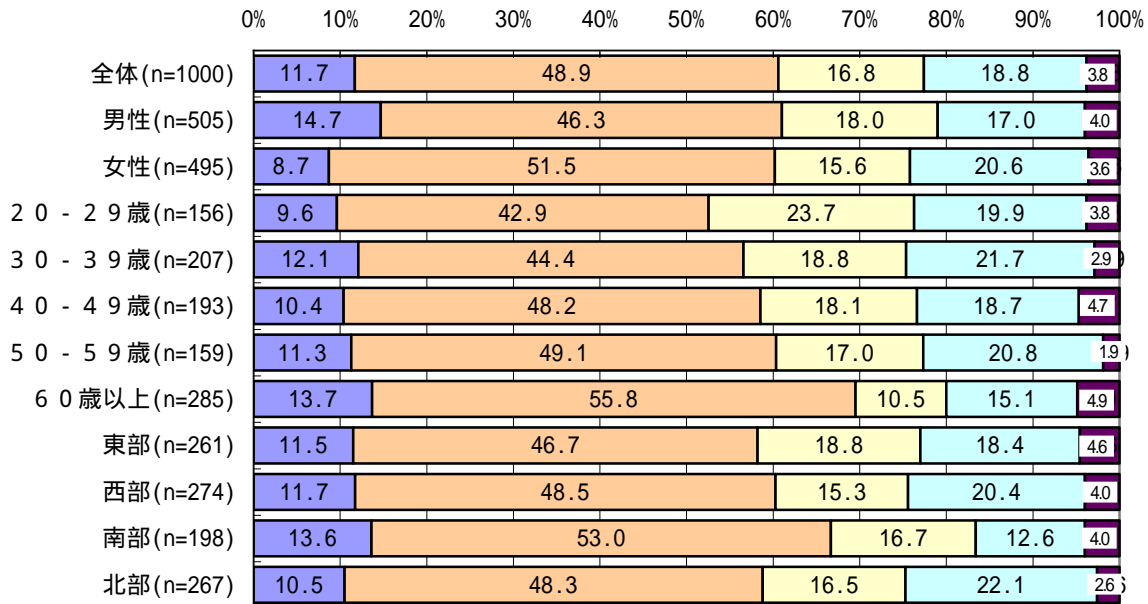


Q22.横浜市が「横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）」に基づき、「横浜みどり税」も活用しながら樹林地の保全などを進めていることを知っていますか。次のうち、知っている項目をすべてお選びください。（複数選択）

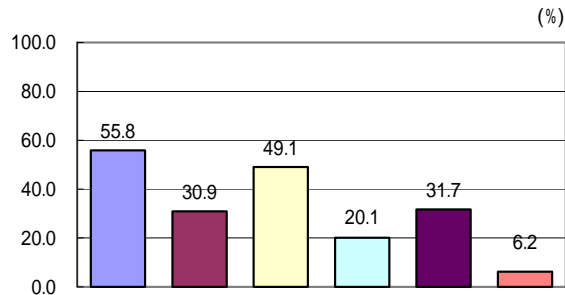


Q23. 横浜の緑の環境を「守り」「つくり」「育てる」ためには、多くの費用が必要となります。これらの取組を進めるために、市民の皆様には負担（みどり税）をいただいています。このことについて、どうお考えですか。次のうち、あてはまるものを1つお選びください。

- 環境を良くするためには、負担は必要である
- 環境を良くするためには、負担はやむを得ない
- 負担する必要性は感じられない
- どちらともいえない
- その他

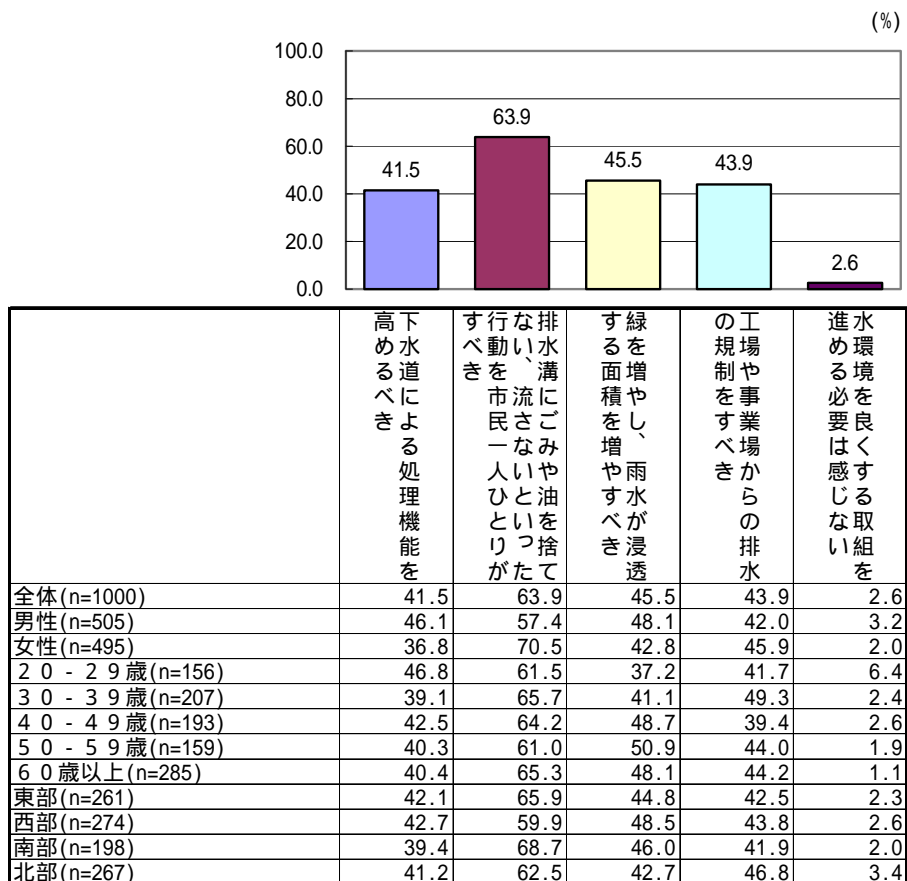


Q24. 横浜の中心部は、郊外部と比較して緑や水辺が多くはありません。このことについてどう考えますか。次のうち、あなたが特に優先的に必要だと考えるものを2つお選びください。

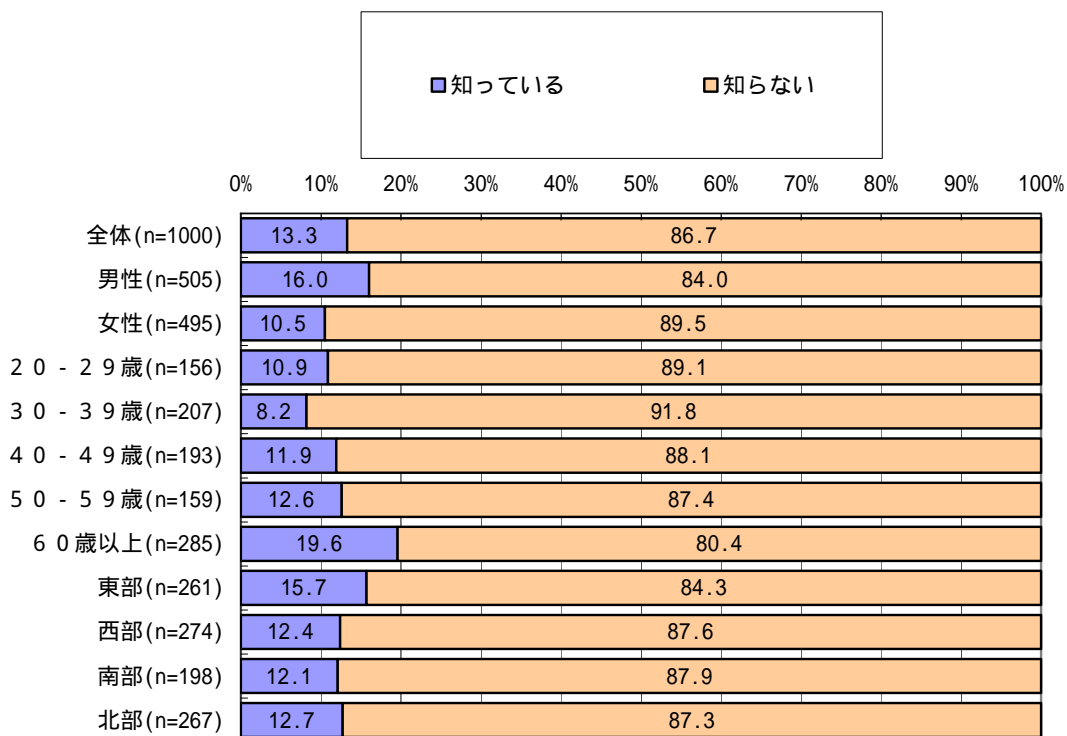


	水辺を増やす	公園を整備する	屋上緑化など	街路樹を増やす	緑地を増やす	河川や海辺を整る	緑地を増やす
全体 (n=1000)	55.8	30.9	49.1	20.1	31.7	6.2	
男性 (n=505)	56.6	29.5	45.7	17.8	37.2	6.5	
女性 (n=495)	54.9	32.3	52.5	22.4	26.1	5.9	
20 - 29 歳 (n=156)	50.6	32.1	48.1	20.5	25.6	11.5	
30 - 39 歳 (n=207)	58.0	38.2	43.0	18.4	27.1	7.7	
40 - 49 歳 (n=193)	54.9	28.5	44.6	26.9	33.7	5.7	
50 - 59 歳 (n=159)	48.4	28.3	52.8	18.2	40.9	5.7	
60 歳以上 (n=285)	61.8	28.1	55.1	17.5	31.9	2.8	
東部 (n=261)	58.2	29.5	48.7	18.8	32.6	6.1	
西部 (n=274)	54.0	32.8	48.9	25.5	27.0	5.8	
南部 (n=198)	57.1	29.8	50.5	18.2	35.4	4.5	
北部 (n=267)	54.3	31.1	48.7	17.2	33.0	7.9	

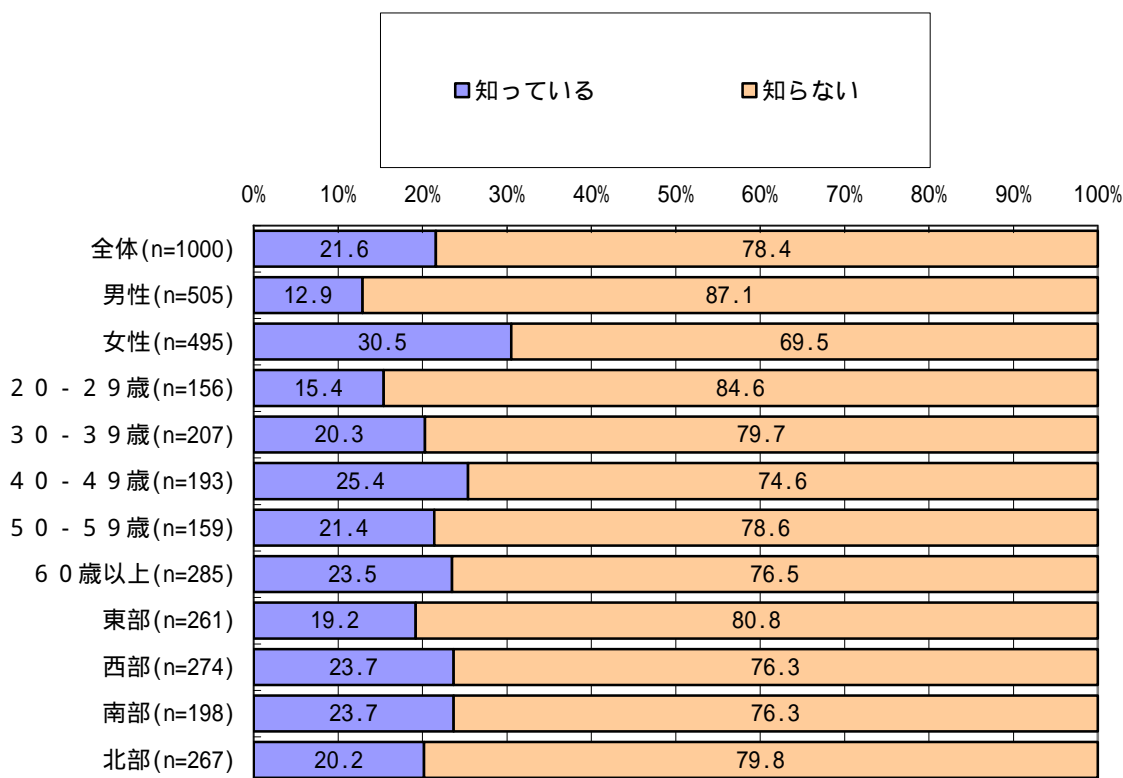
Q25.川や海などの身近な水環境を良くするために何をすべきだと思いますか。次のうち、あなたが特に優先的に必要だと考えるものを2つお選びください。



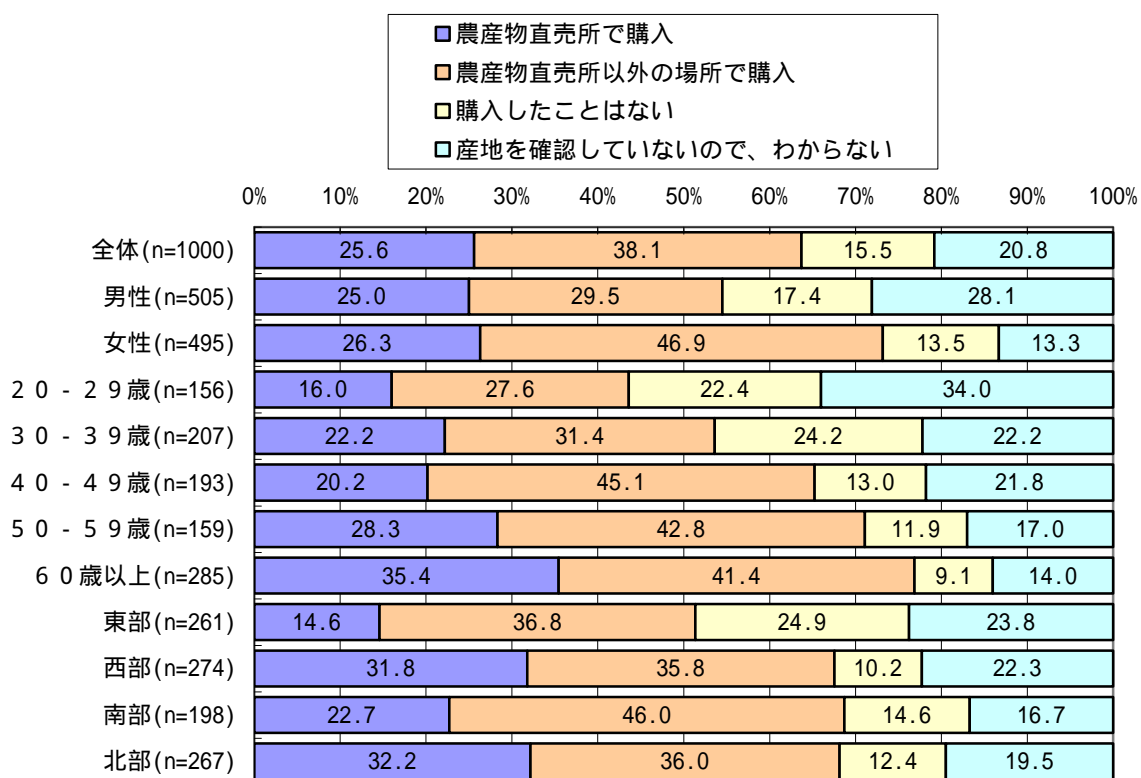
Q26.都市化の進展により地下への雨水浸透が低下し、水循環系が大きく変化しています。横浜市が住宅用雨水浸透ますの設置に、補助金を交付する制度を設けていることを知っていますか。次のうち、あてはまるものを1つお選びください。
雨水浸透ますは、設置することによって、雨水を地中にしみ込みやすくするものです。



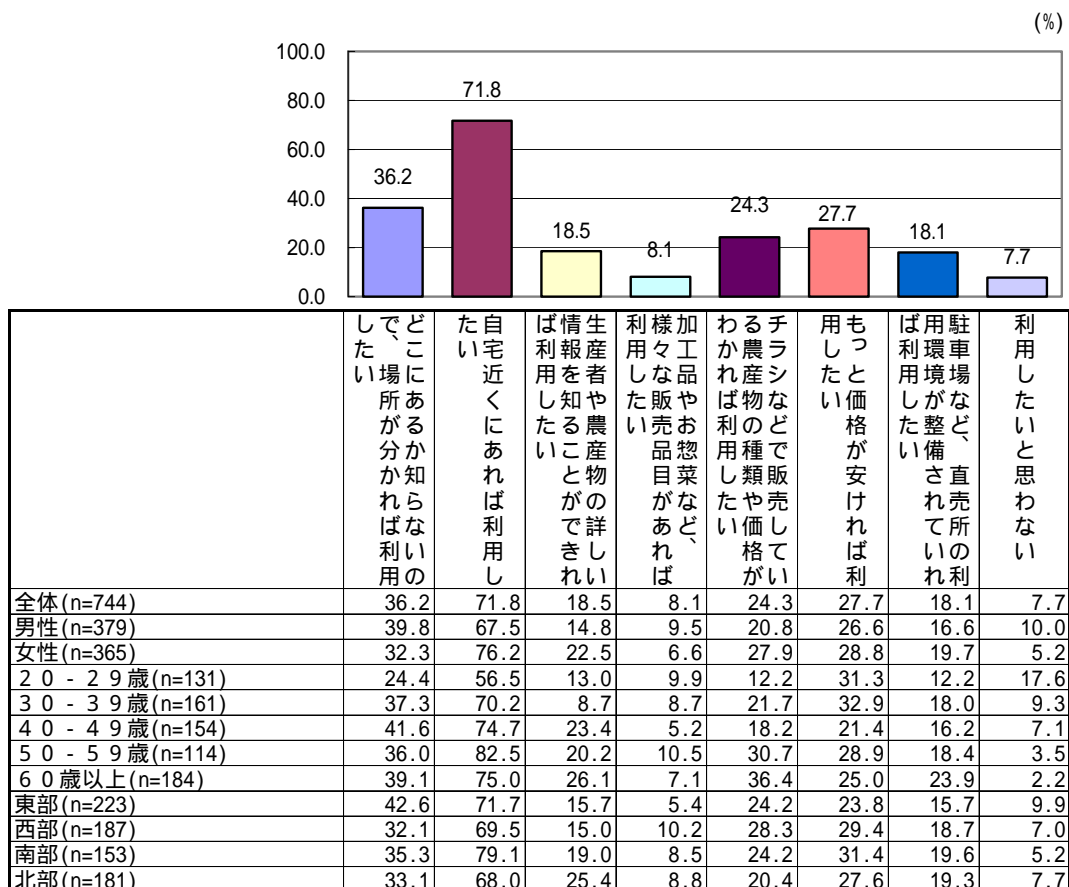
Q27. 横浜産の野菜や果物のシンボルマーク「はま菜ちゃん」を知っていますか。次のうち、あてはまるものを1つお選びください。



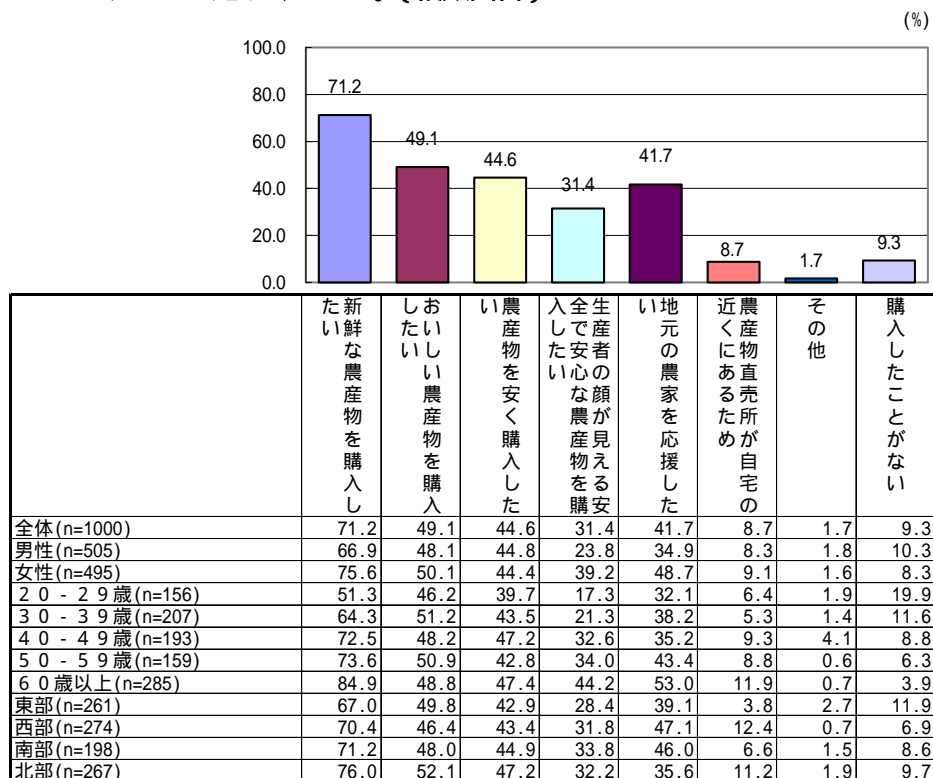
Q28. 横浜産の農産物を購入したことはありますか。次のうち、最も近いものを1つお選びください。



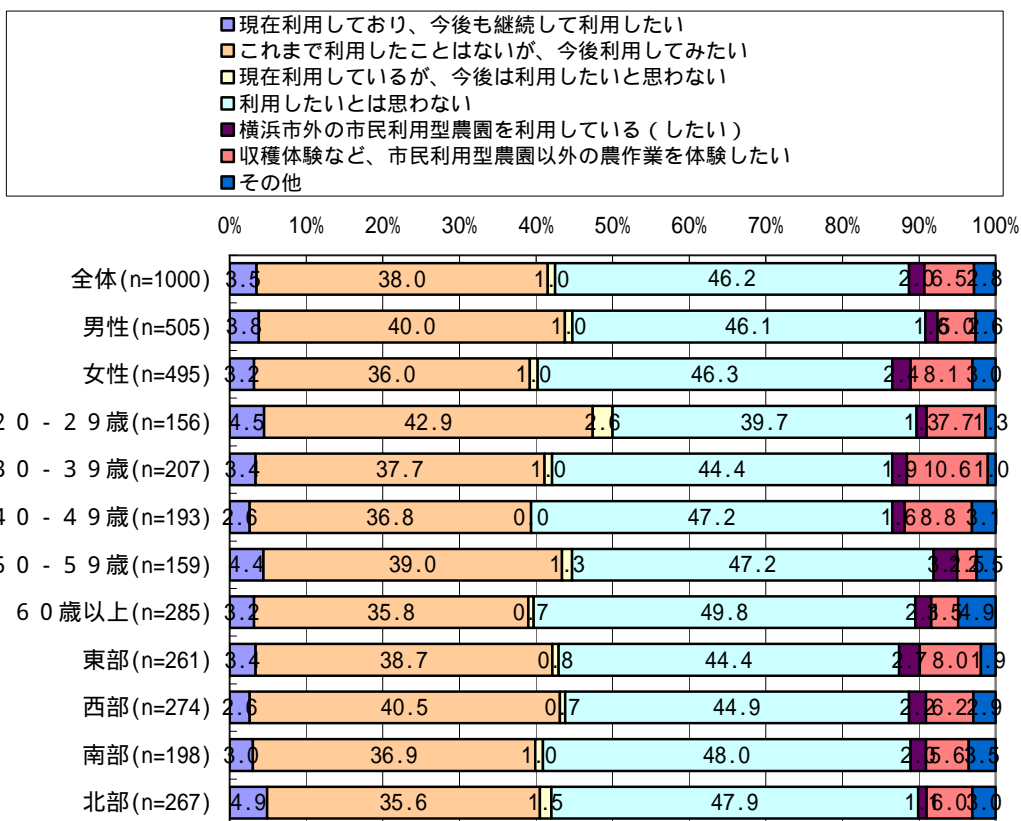
Q29. 今後、どうすれば農産物直売所を利用したいと思いますか。次のうち、最も近いものを3つまでお選びください。[Q28で「農産物直売所で購入」以外を選んだ方のみ回答]



Q30. 農産物直売所やその他の場所で、横浜産の農産物を購入しようと思う理由について伺います。次のうち、あてはまるものをすべてお選びください。(複数回答)

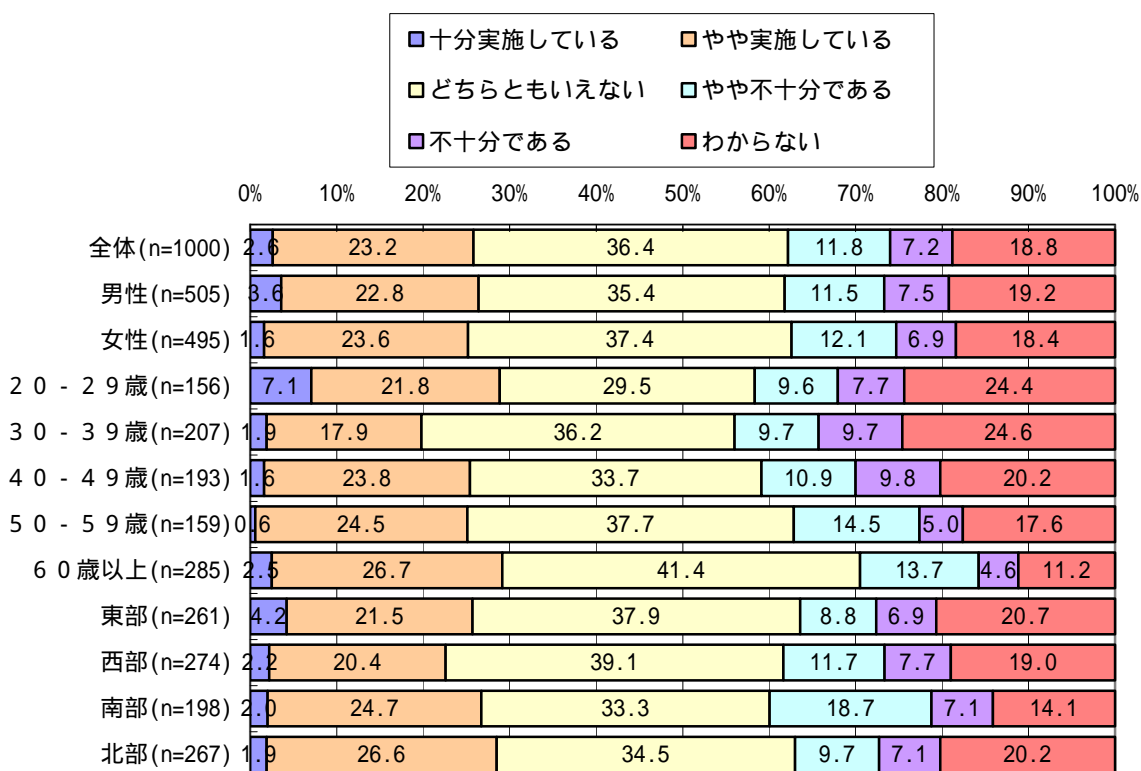


Q31.横浜市では様々なタイプの市民利用型農園が開設されています。このような場所で農作業を体験してみたいと思いますか。次のうち、あてはまるものを1つお選びください。

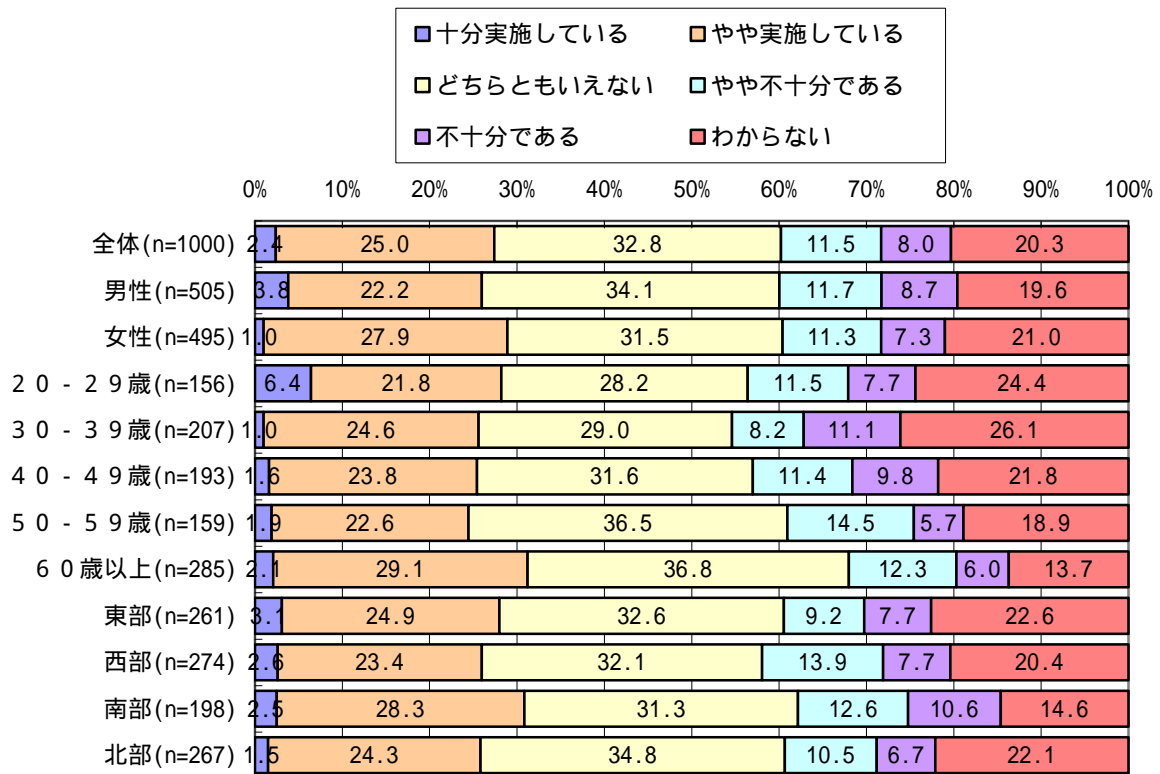


Q32.横浜市が現在行っている環境に関する以下の施策について、横浜市の取組状況・取組姿勢についてどのように感じていますか。項目ごとに、最も近いものを1つお選びください。

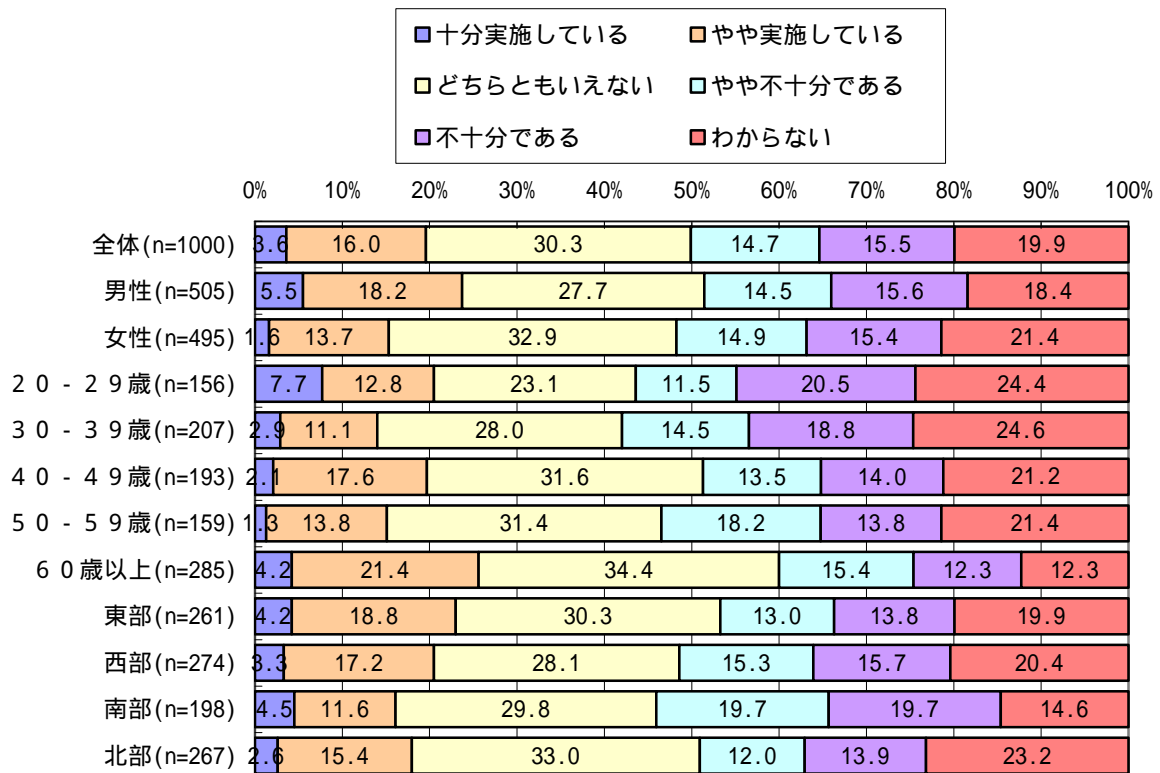
1.地球温暖化防止への取組



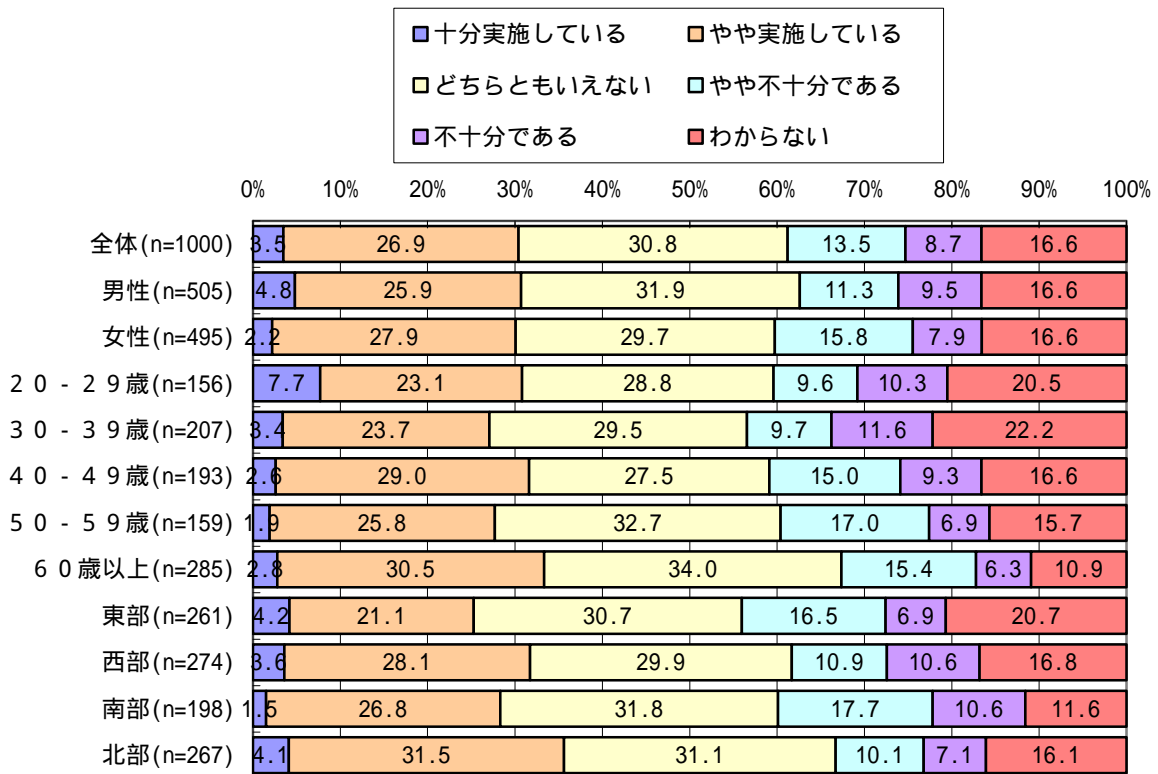
2. 省エネルギーや新エネルギーの利用の取組



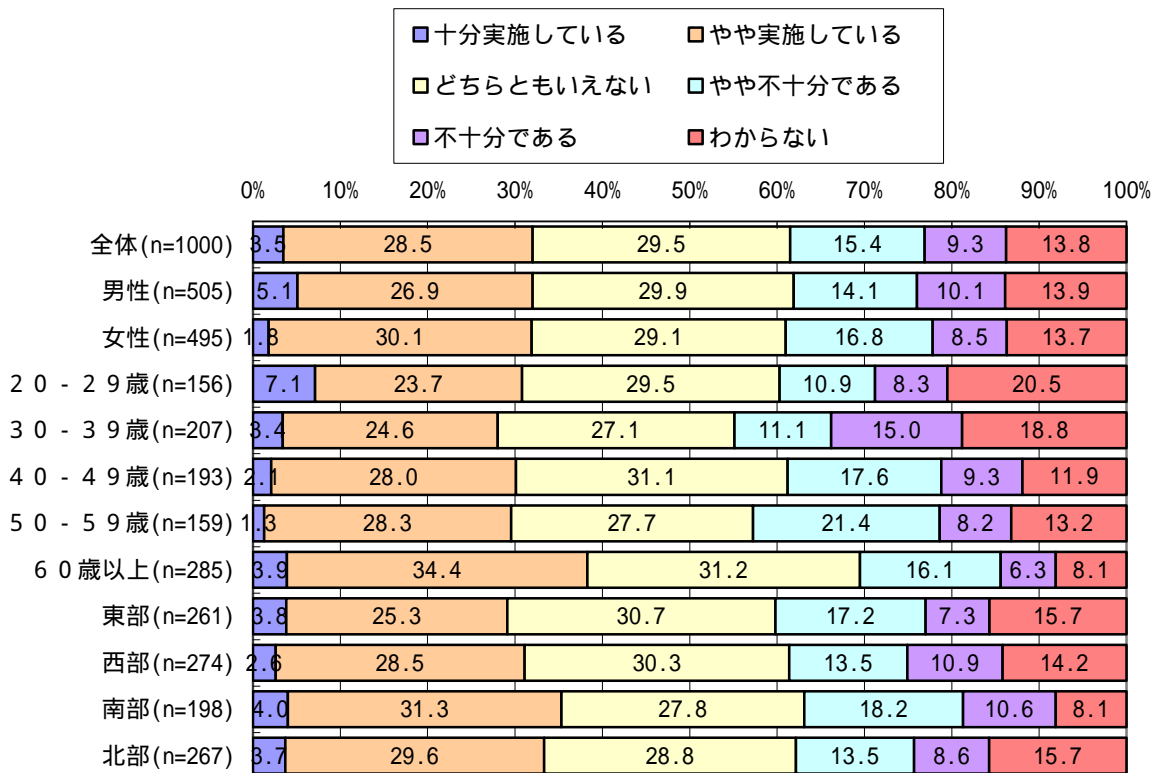
3. 電気自動車の普及



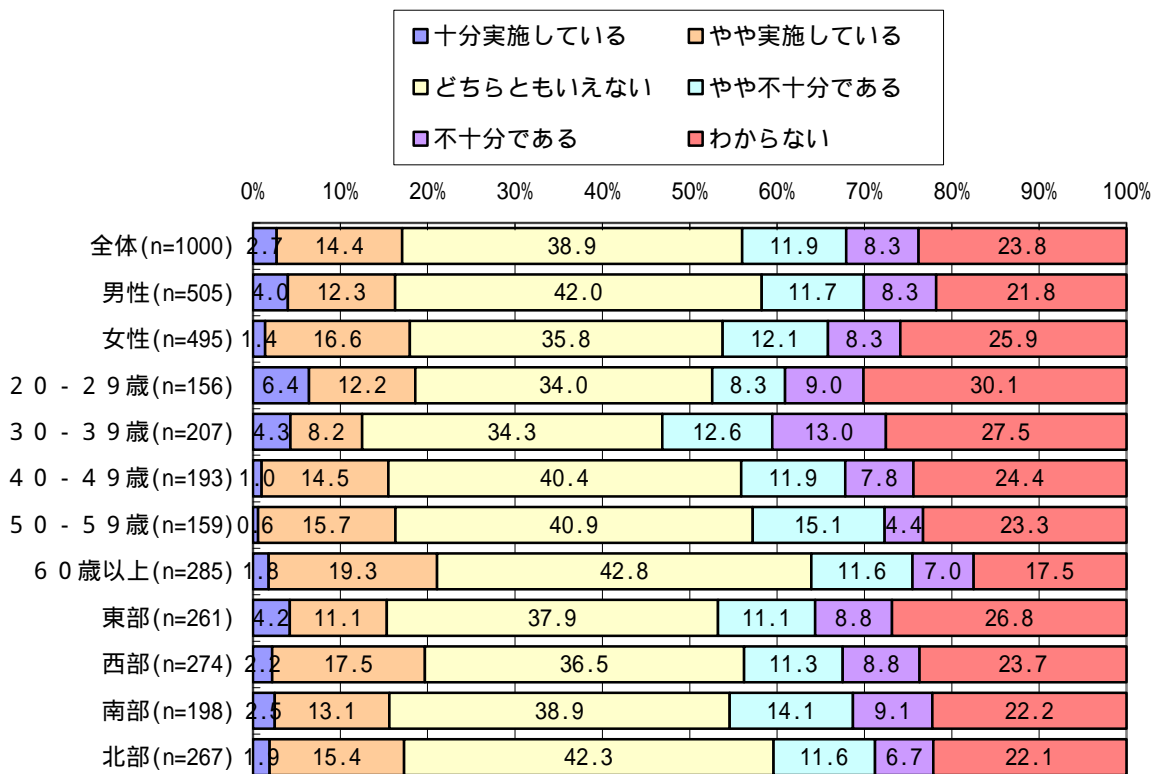
4. 郊外部のまとまった緑の保全



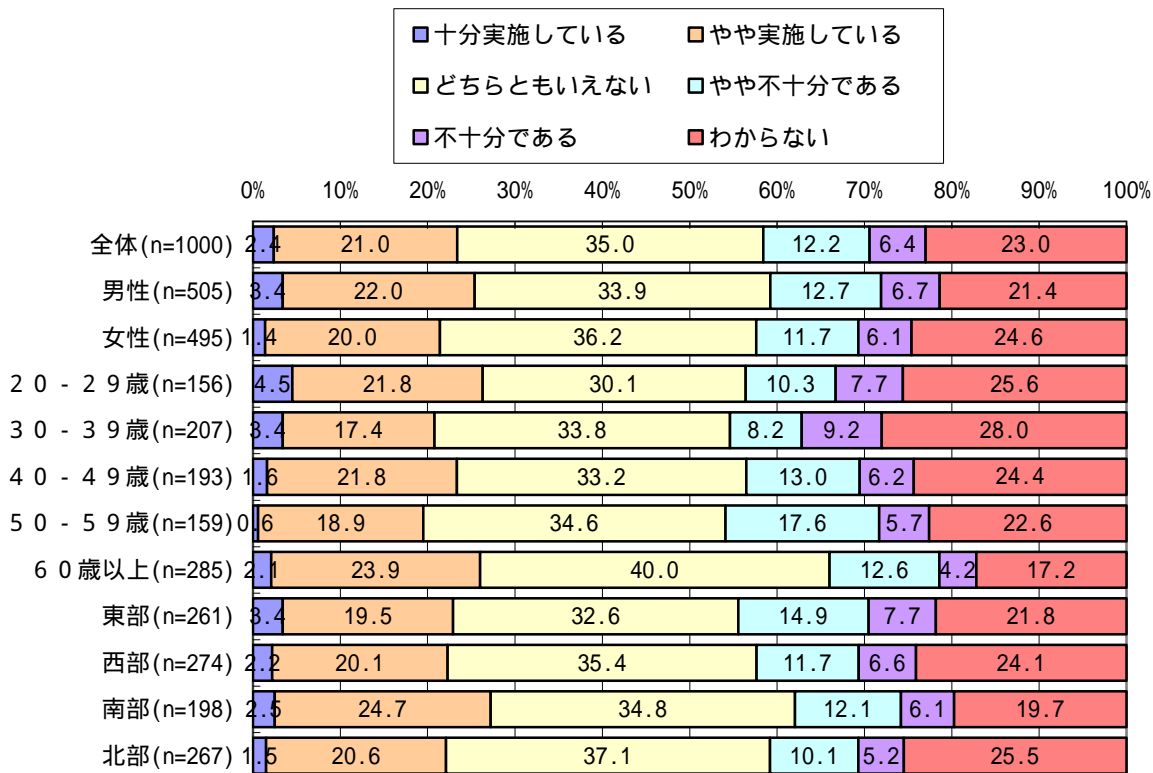
5. 市街地の公園や道路、河川沿いなどでのみどりの創造



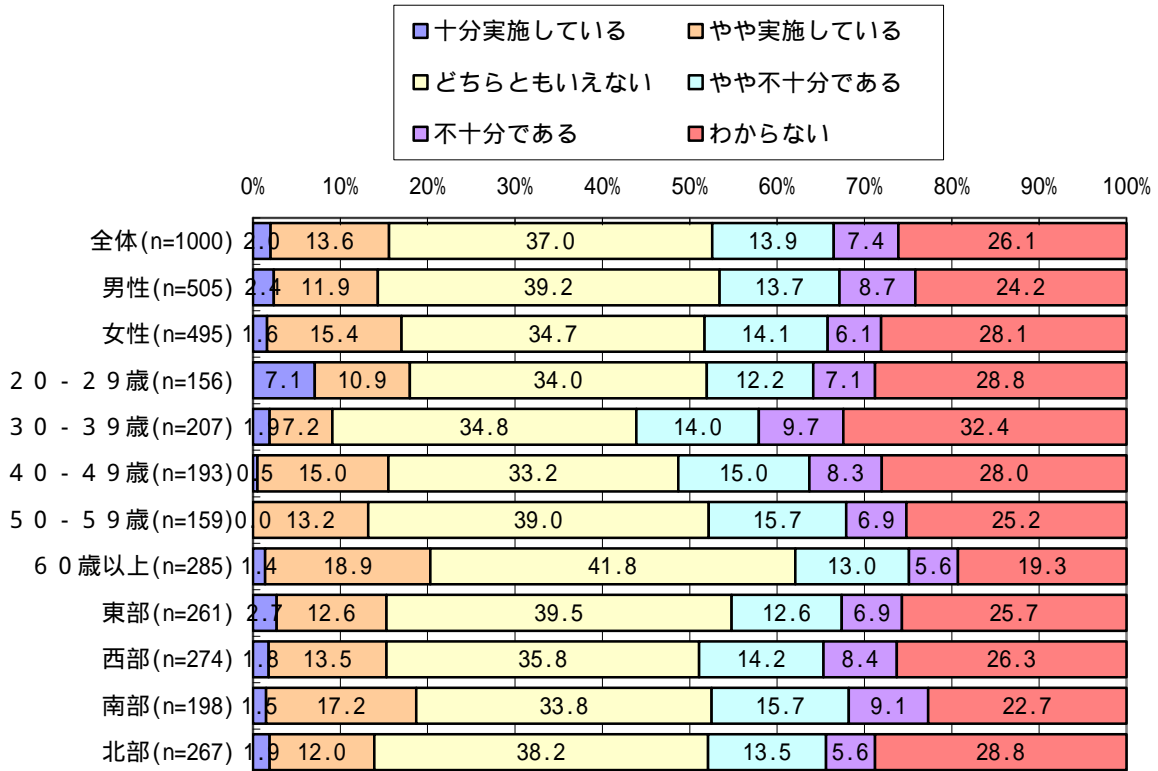
6.農地の保全



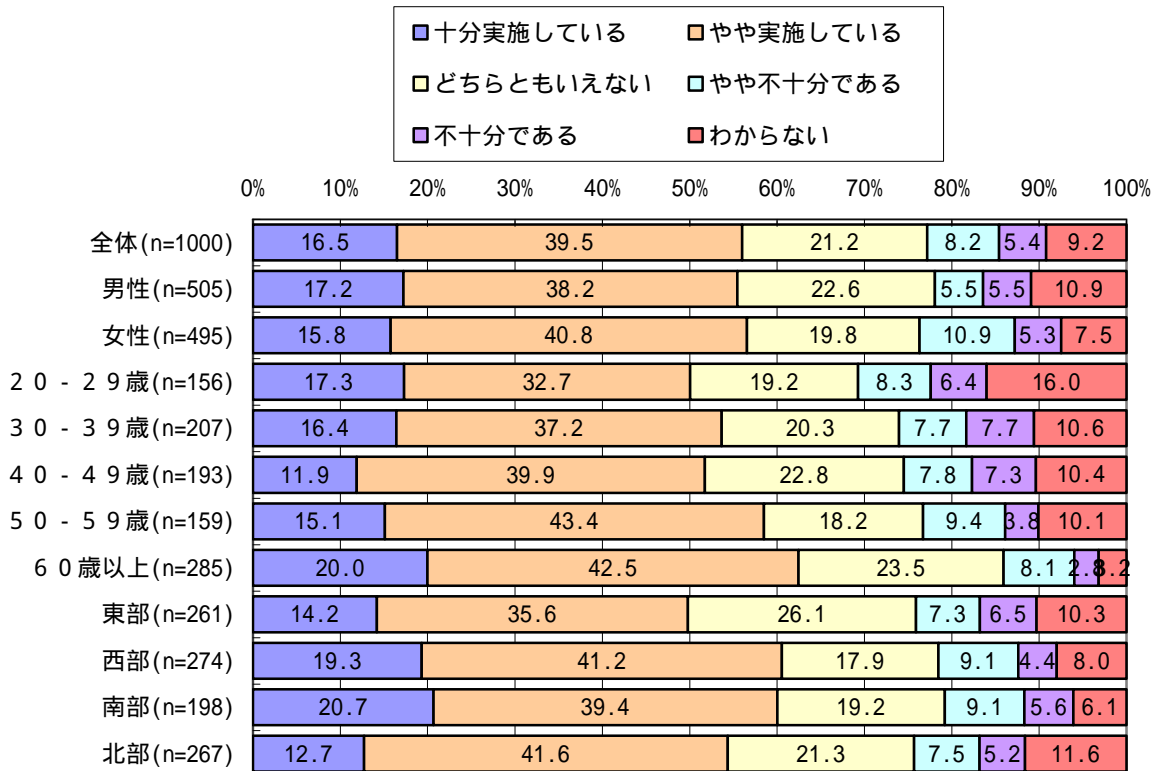
7.水の循環機能の強化



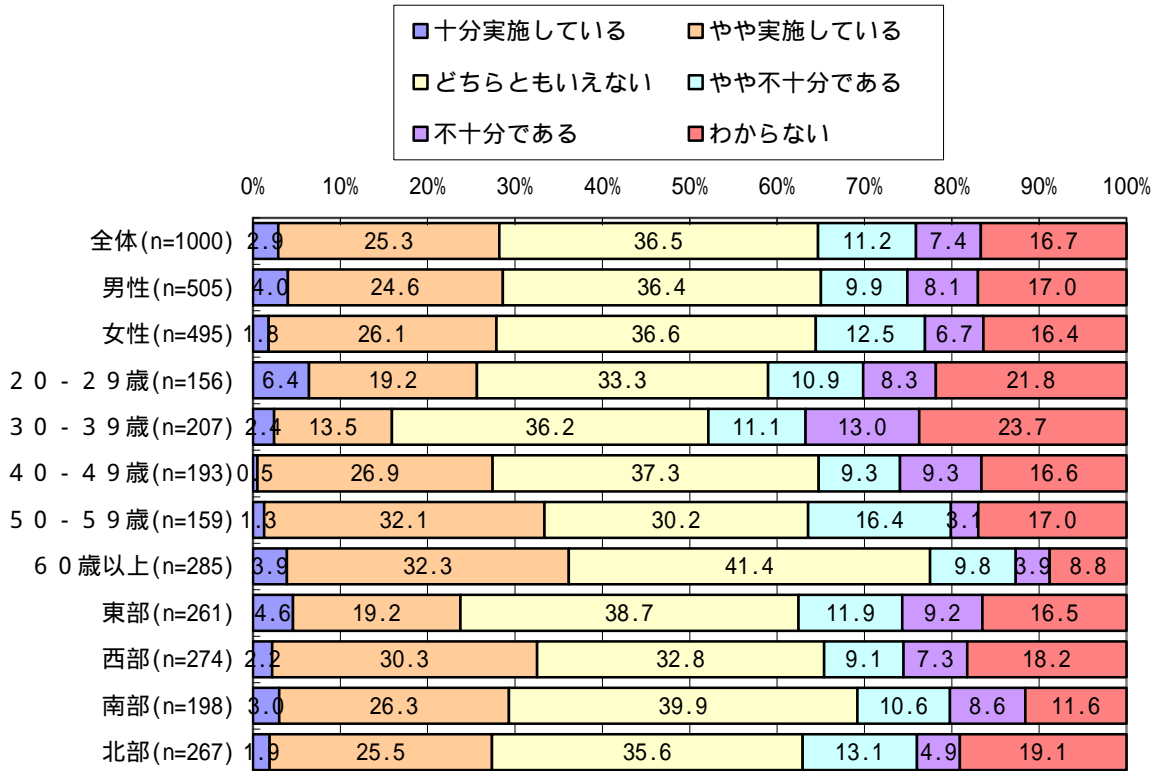
8. 生物多様性の保全や、外来生物対策



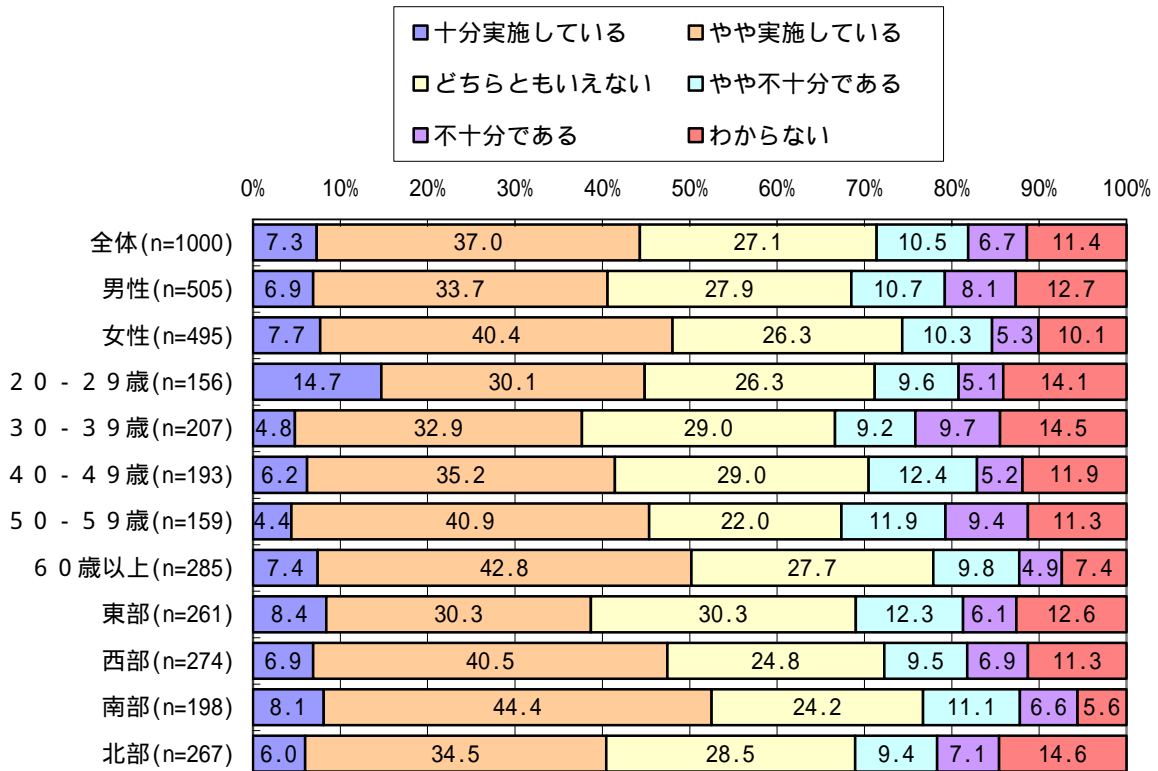
9. ごみの減量・リサイクル (3Rの推進)



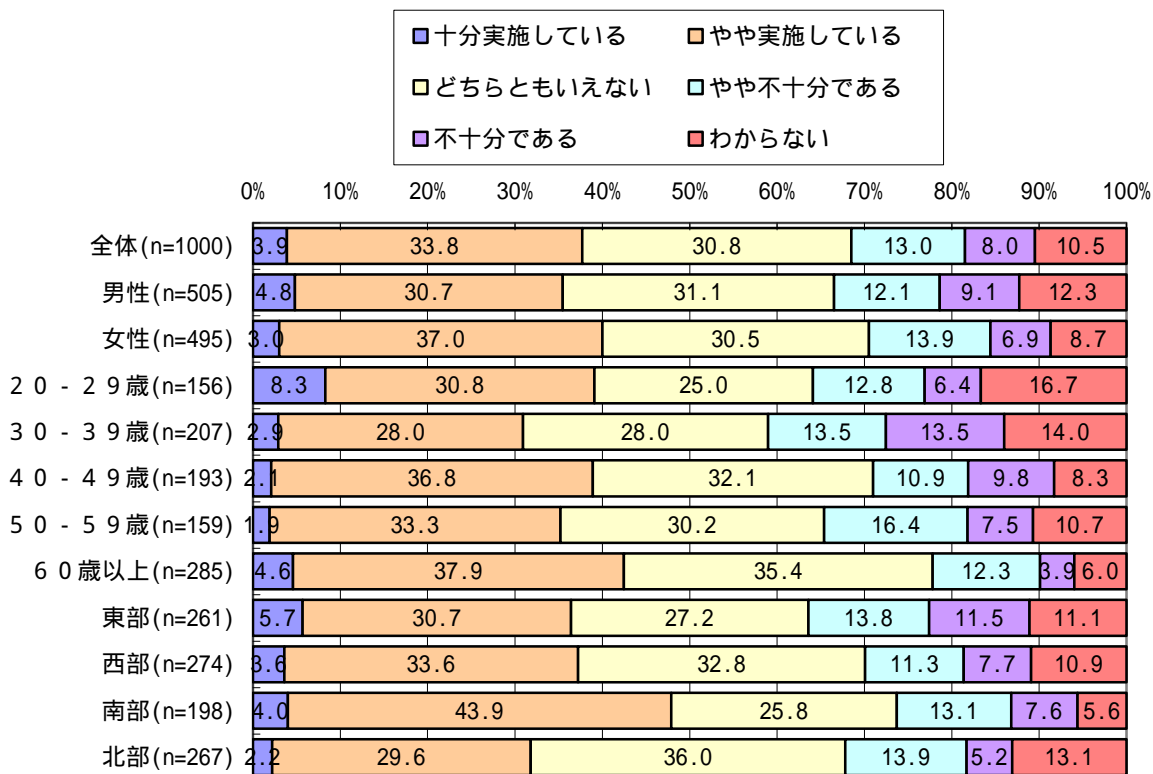
10. 生活環境の保全（公害対策）



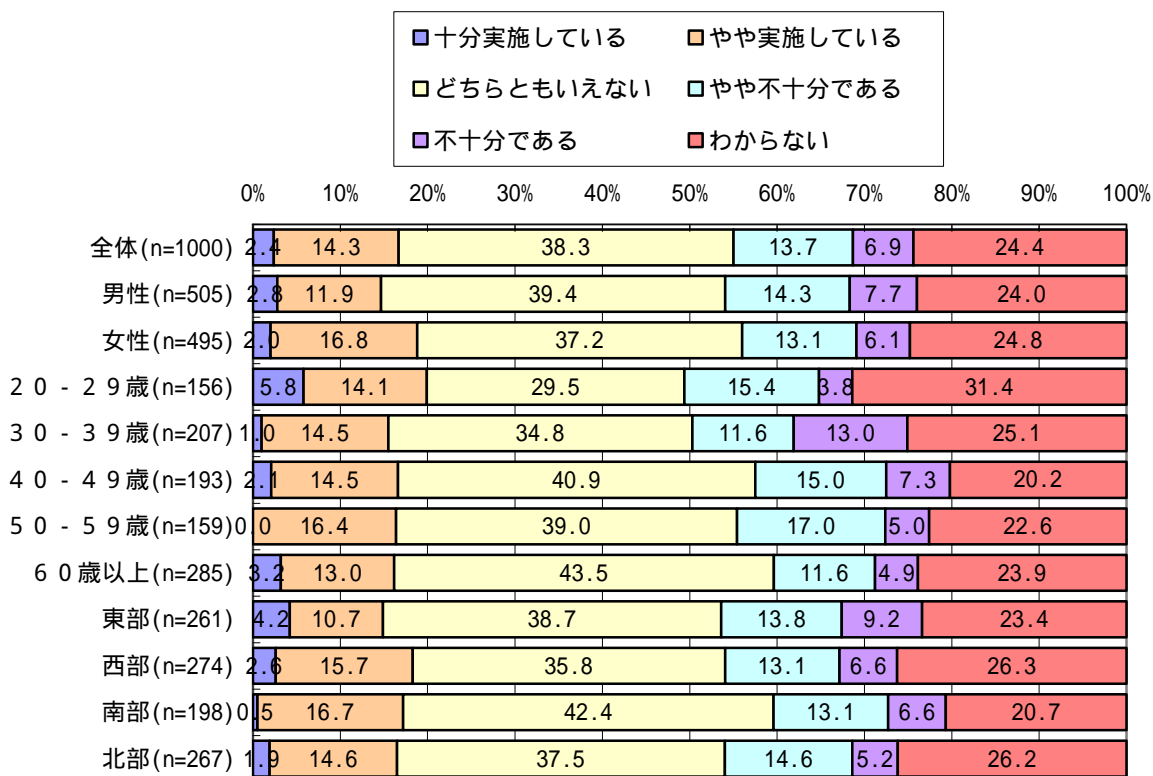
11. 横浜らしい景観の保全



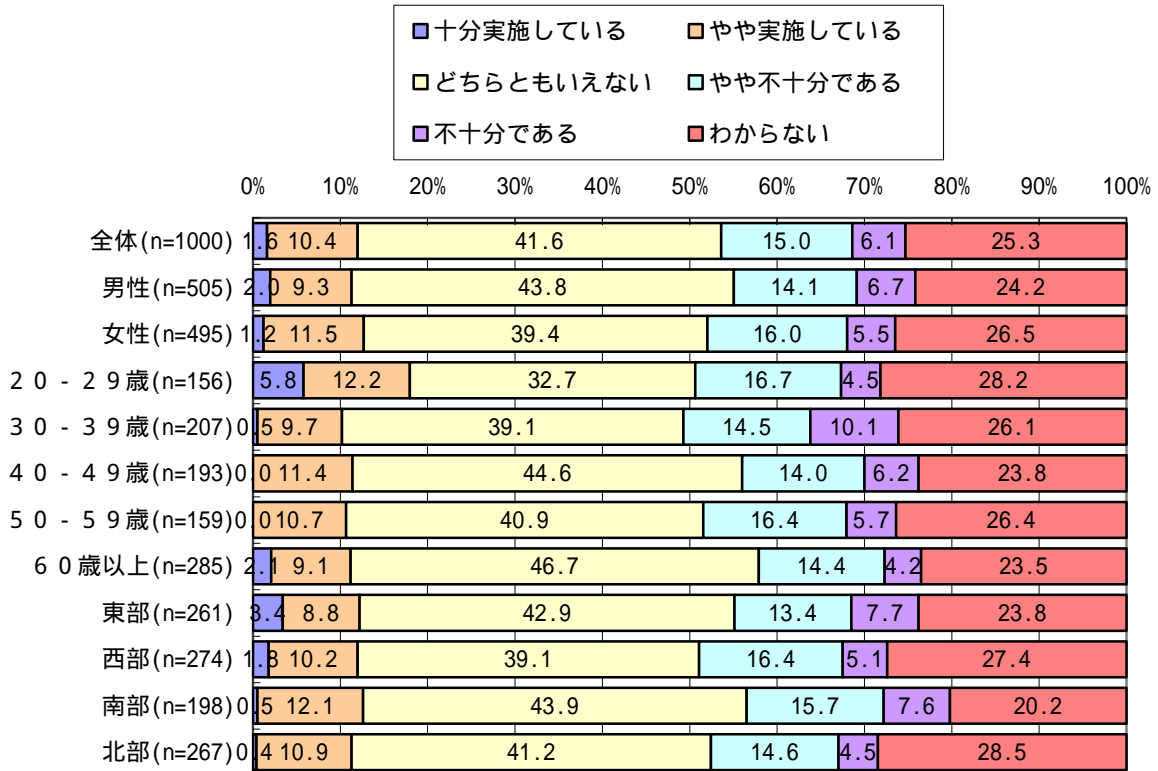
12. まちの美化



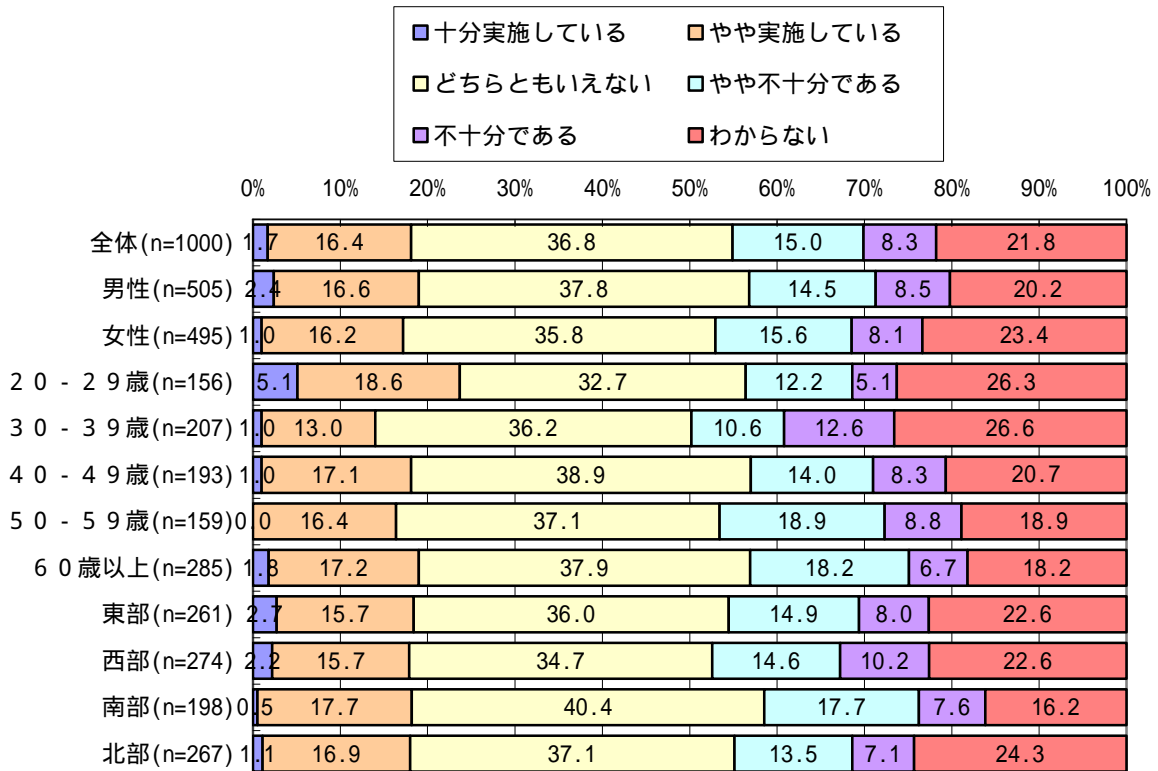
13. 環境教育・環境学習の推進



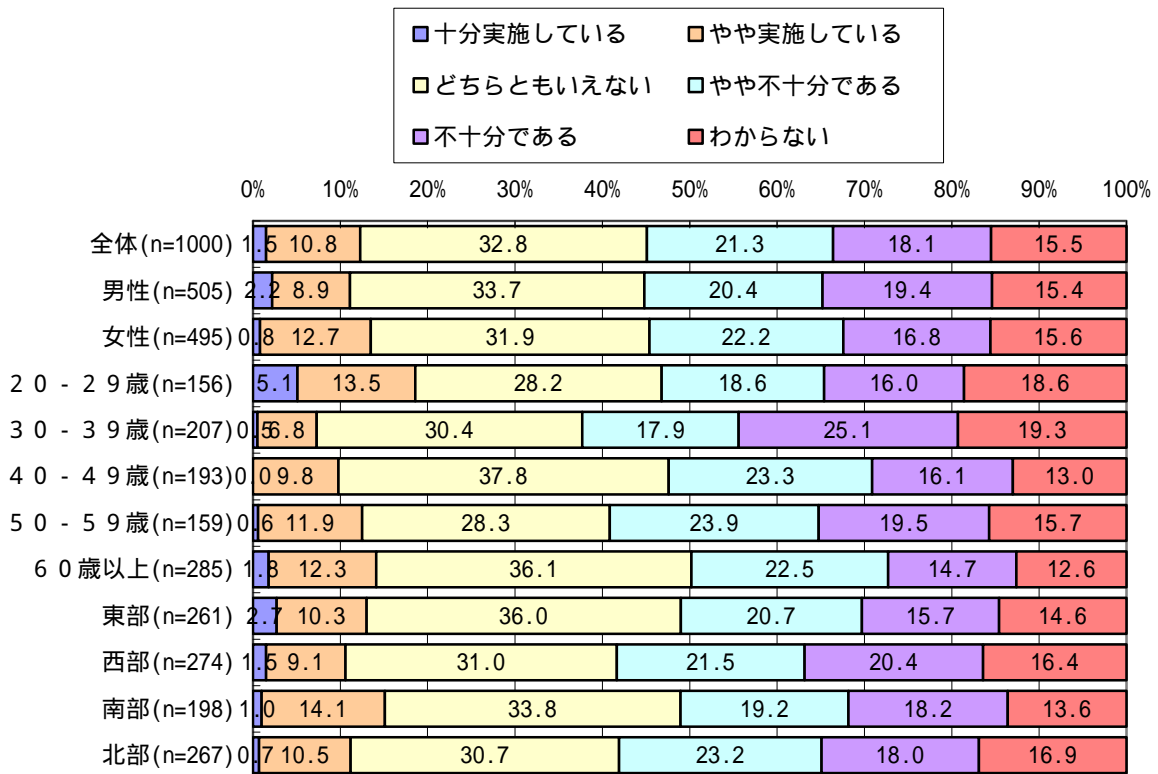
14. 環境配慮型製品の普及



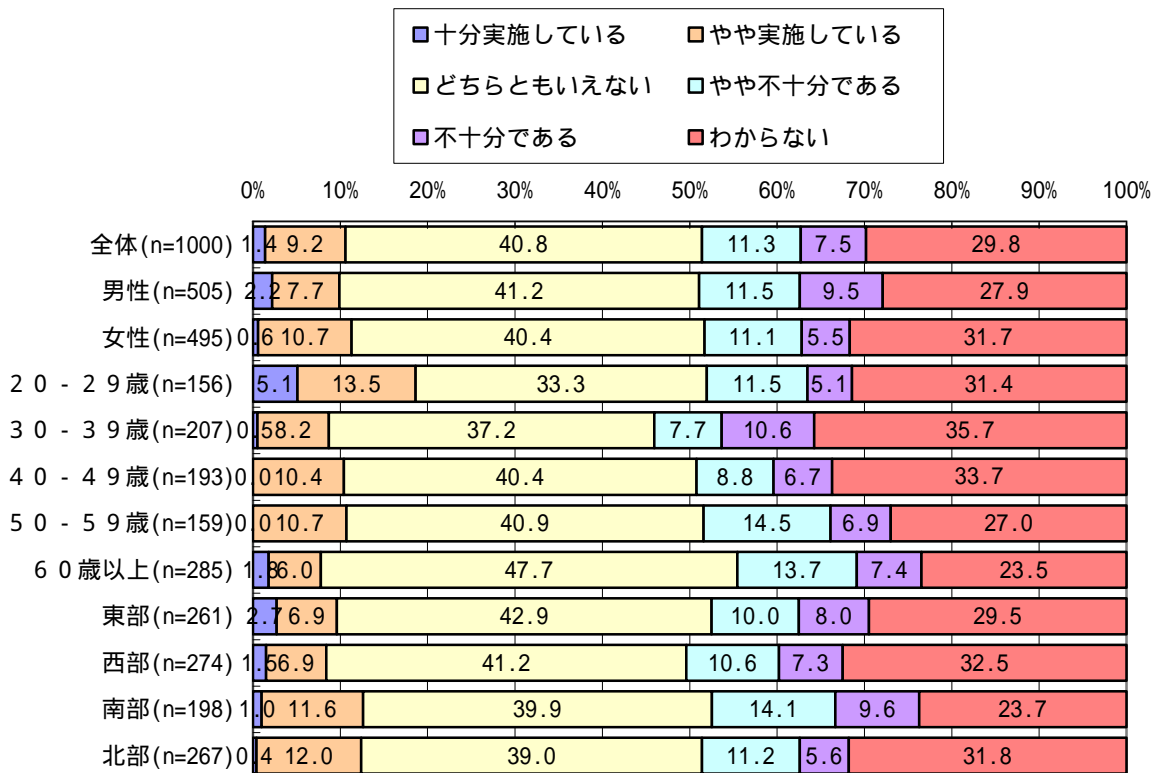
15. 道路整備や再開発事業等における環境配慮



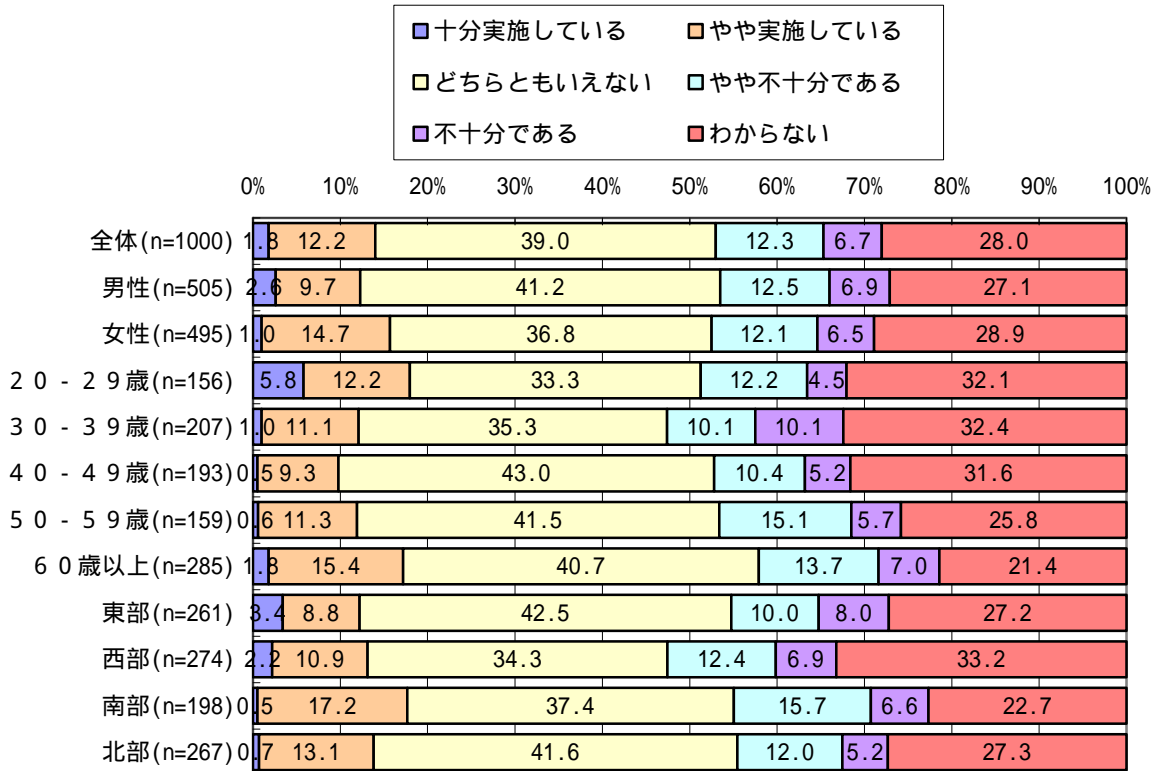
16. 情報の周知



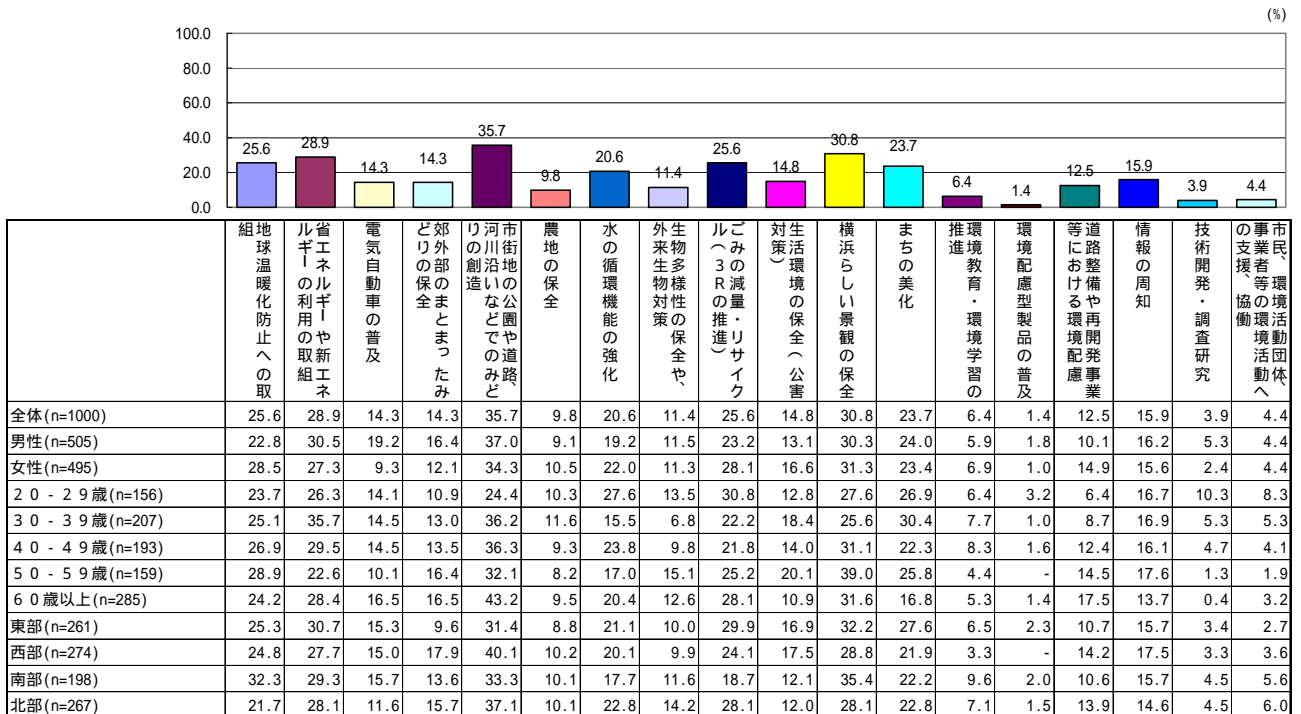
17. 技術開発、調査研究



18. 市民、環境活動団体、事業者等の環境活動への支援、協働

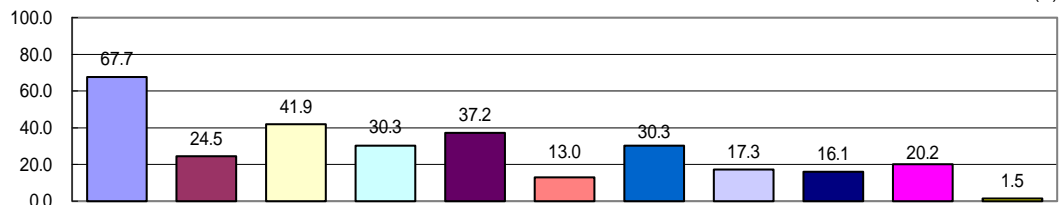


Q33.Q32の1~18のうち、今後、横浜市に優先的に取り組んで欲しい事項は何ですか。3つお選び下さい。



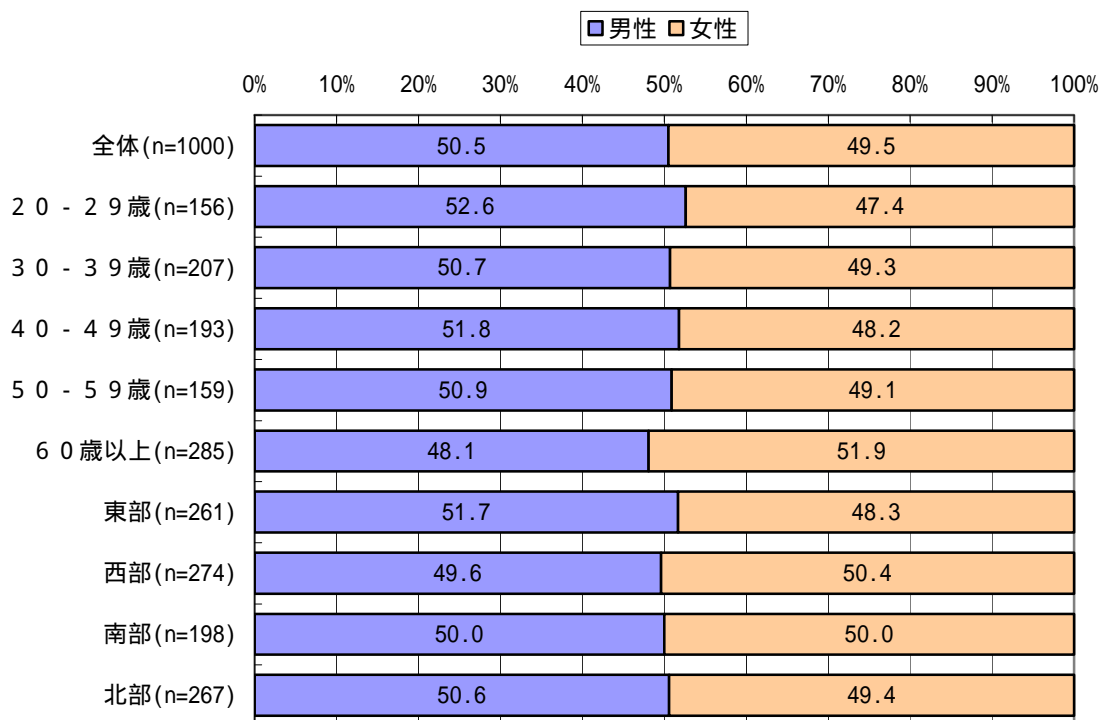
Q34.東日本大震災後、環境行政においても災害対策と連携した取組の必要性が高まっていますが、次のうち、優先的に取り組むべきと思われることを3つお選びください。

(%)

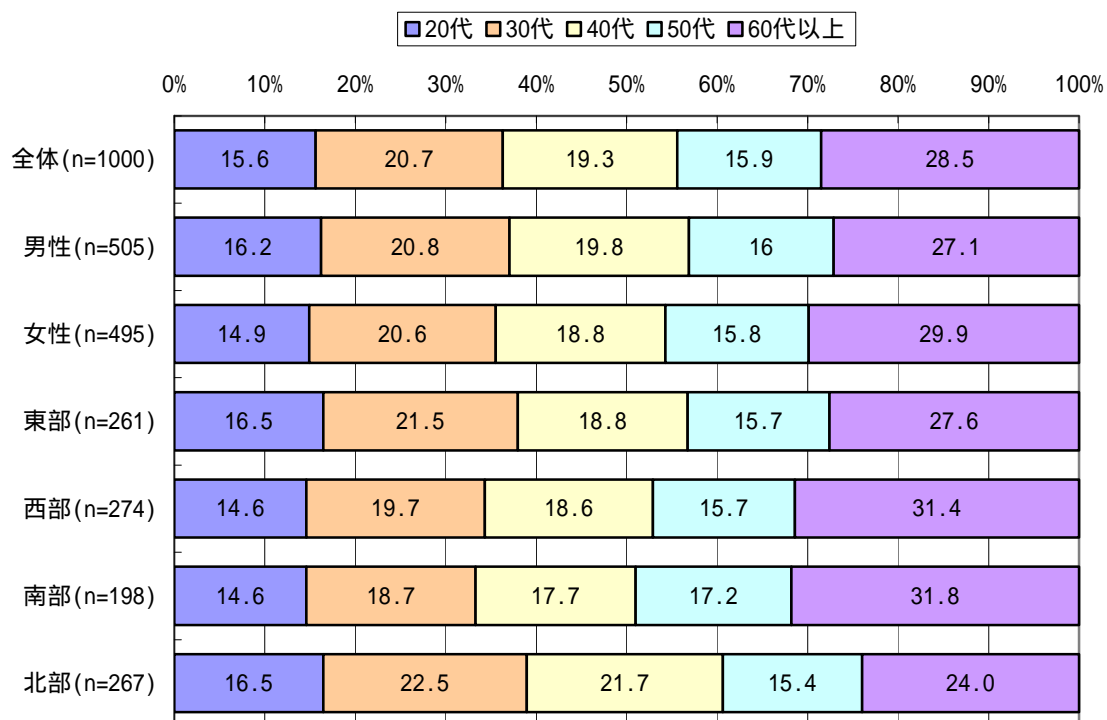


	避難場所の確保 の拡大範囲および被害程度などの情報を地図上に表したものの	省エネや節電対策の継続的な普及啓発	防災拠点(避難所)の確保 のために、太陽光発電等の再生可能エネルギー	津波、高潮、洪水などによる浸水への対策 (防潮堤、護岸等の点検、整備)	災害に強い下水道施設の整備	河川施設の防災対策	公園等のオープンスペースの確保 は市民の憩いの場として、災害時には、平常時に 避難場所や火災の延焼阻止空間等としての重要な 役割を担う	災害廃棄物(し尿・ごみ)の処理方法の検討	市内の環境中の放射線測定結果の情報提供	放射性物質による汚染への対策	その他
全体(n=1000)	67.7	24.5	41.9	30.3	37.2	13.0	30.3	17.3	16.1	20.2	1.5
男性(n=505)	66.5	28.5	41.8	31.3	34.3	16.6	29.7	17.4	16.0	16.2	1.6
女性(n=495)	68.9	20.4	42.0	29.3	40.2	9.3	30.9	17.2	16.2	24.2	1.4
20 - 29歳(n=156)	68.6	30.8	38.5	43.6	34.6	15.4	19.9	14.7	10.3	23.1	0.6
30 - 39歳(n=207)	66.7	23.7	39.6	29.5	32.9	15.0	26.1	17.9	17.9	27.5	3.4
40 - 49歳(n=193)	72.5	25.9	44.6	26.9	34.2	11.4	30.1	10.9	18.1	24.4	1.0
50 - 59歳(n=159)	67.3	21.4	40.9	28.9	40.3	13.8	35.2	18.9	19.5	12.6	1.3
60歳以上(n=285)	64.9	22.5	44.2	26.7	42.1	10.9	36.5	21.8	14.7	14.7	1.1
東部(n=261)	68.6	24.5	39.1	35.6	36.4	13.4	27.6	16.1	14.9	21.8	1.9
西部(n=274)	69.3	22.3	40.9	29.6	40.5	13.5	31.8	17.5	14.6	18.6	1.5
南部(n=198)	67.7	23.7	47.0	30.8	36.4	12.6	34.3	15.7	13.1	18.2	0.5
北部(n=267)	65.2	27.3	41.9	25.5	35.2	12.4	28.5	19.5	21.0	21.7	1.9

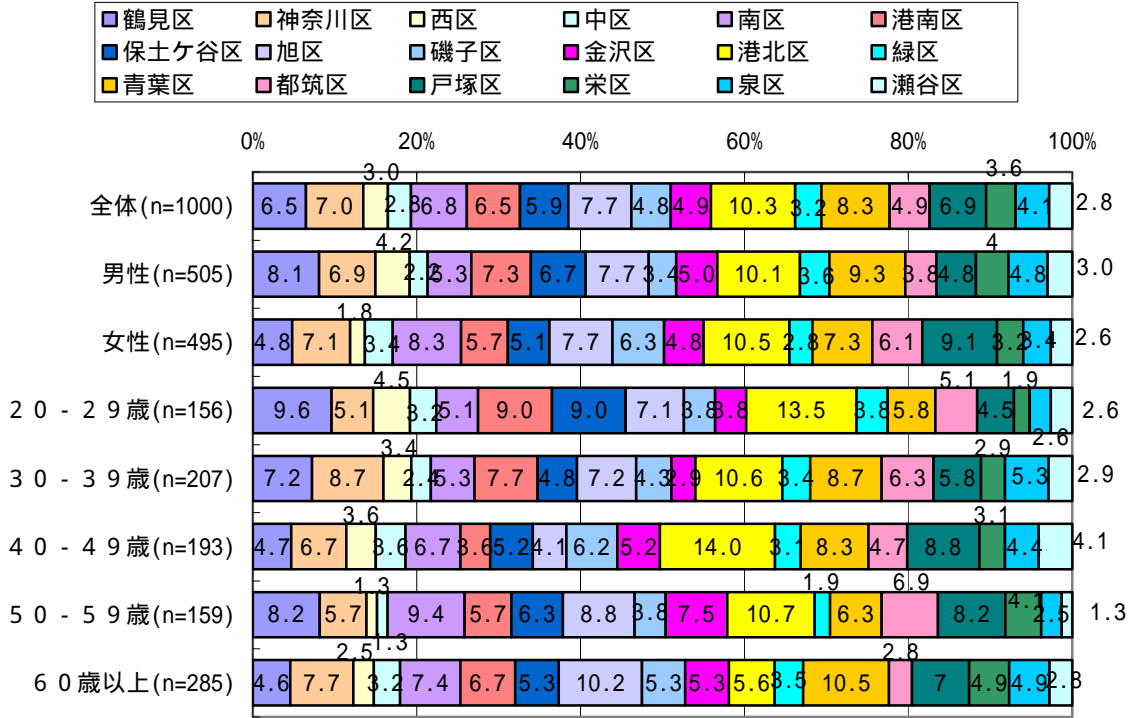
性別



年代



居住地区



職業

